
2006

[第20回]

**牛乳・乳製品の
消費動向に
関する調査**

牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

[2006]

はじめに

当協会の前身の一つである（社）全国牛乳普及協会が1987年に牛乳・乳製品の消費動向に関する調査を始めてから、今年で20回目になります。この調査は、毎年、牛乳・乳製品に関して、全国で6,000人（設定）の消費者を対象として行なうもので、酪農・乳業界にとどまらず、他の食品業界、研究者、マスコミ等、多方面の方々にも種々ご活用いただいております。

この消費動向調査は、牛乳・乳製品の飲食・購入・嗜好等に関する基本的な項目を時系列的に地域・年代に偏りなく調べ、消費の構造や動向を把握するとともに、社会経済上の新たな事象や変化に対する消費者の対応に関する調査テーマを設け、新しい消費者の意識や行動を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大方策を探るための資料を得ることを目的に、実施してきました。

昨年の調査では、牛乳の飲用量減少の要因を探るための調査を実施した結果、特に牛乳のいわゆる「止渴飲料」としての利用が減少してきて、「無糖のお茶飲料」「コーヒー（飲料）」などがかわりに飲まれていることがわかりました。さらに、今年の調査では、普段よく飲む飲み物として「牛乳」と並んでいた「コーヒー（飲料）」が「牛乳」を大きく上回る結果となりました。このことは、「止渴機能」をはじめ日常の様々なシーンでの牛乳の飲用機会が減少していることを現していると考えられます。

消費動向では、調査開始以来10%前後で推移してきた「牛乳は全く飲まない」人が14%弱と増加したことが特徴的で、消費減退の大きな要因の一つと考えられます。

食育など社会的にも食生活の重要性が高まる中で、事業に関わる多くの方々に当報告書をご一読賜り、牛乳・乳製品の消費についての理解の一助に、そして普及活動、マーケティング活動のヒントにいただければ幸いです。

2006年12月
社団法人 日本酪農乳業協会
会長 本田 浩次

目 次

調査設計

調査目的	1
本年度調査テーマ	1
調査方法	1
サンプル構成	3
主な分析軸	4

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態	5
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	5
1) 白もの牛乳類の飲用頻度	5
2) そのまま飲む頻度	7
3) 他のものと混ぜて飲む頻度	8
4) 季節による変動	9
2. 白もの牛乳類の飲用量	11
3. 白もの牛乳類の飲み方	14
4. 白もの牛乳類の飲用シーン	17
5. 白もの牛乳類の飲用理由	19
6. 白もの牛乳類の自宅外の飲用	21
1) 白もの牛乳類の自宅外の飲用頻度	21
2) 白もの牛乳類の自宅外の購入場所	22
3) 白もの牛乳類の飲料自動販売機での購入実態	23
4) 白もの牛乳類の飲料自動販売機での非購入理由	24
5) 飲料自動販売機での白もの牛乳類の購入意向	25
II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	26
1. 飲み方別飲用量の増減	26
1) そのまま飲む量の増減	26
2) 混ぜて飲む量の増減	27
3) 全体での増減	28
2. 白もの牛乳類の飲用量の減少理由	31
III 白もの牛乳類の購入実態	32
1. 白もの牛乳類の購入頻度	32

IV ふだんよく飲む飲み物.....	34
1. ふだんよく飲む飲み物.....	34
2. ふだん最もよく飲む飲み物.....	36
V 白もの牛乳類を使った料理の実態.....	38
1. 白もの牛乳類を使って作る料理.....	38
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動.....	39
3. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理.....	42
VI 乳製品の飲食実態.....	43
1. ヨーグルトの飲食状況.....	43
1) ヨーグルトの飲食頻度.....	43
2) ヨーグルトの飲食量.....	44
3) ヨーグルトのタイプ.....	45
VII 生活の中の白もの牛乳類.....	47
1. 「3-A-Day」について.....	47
1) 「3-A-Day」の認知状況.....	47
2) 「3-A-Day」の実践状況.....	48
3) 「3-A-Day」の実践意向.....	49
2. 健康・食生活について.....	52
1) 健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知.....	52
2) 健康維持のために実践していること.....	54
<付録1> 各年度のテーマとサンプル数.....	57
<付録2> 単純集計結果付き 調査票.....	59

調査設計

調査目的

『牛乳・乳製品の消費動向に関する調査』は、1987年度から2005年度まで19回にわたり、毎年全国の消費者に対し調査を実施し、牛乳・乳製品に関する購入実態、飲用実態、牛乳・乳製品に関する意識・知識などを時系列で把握してきた。今回の2006年度調査は、基本項目の調査に加え、牛乳・乳製品の料理への利用実態を調査すること等により、牛乳・乳製品の消費拡大のための資料を得ることを目的とする。

本年度調査テーマ

- 白もの牛乳類の飲用実態
- 白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識
- 白もの牛乳類の購入実態
- 白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度
- 乳製品の飲食実態
- 白もの牛乳類を使った料理の実態
- 健康や食生活に関する認識

調査方法

1. 調査方法

- ・ 留置併用訪問面接法

2. 調査項目

- ・ 白もの牛乳類の飲用頻度・飲用量
- ・ 白もの牛乳類の飲み方
- ・ 白もの牛乳類の種類
- ・ 白もの牛乳類の飲用量の増減
- ・ 白もの牛乳類の購入実態・意識
- ・ 白もの牛乳類を使った料理と料理行動
- ・ ヨーグルトの飲食状況
- ・ 健康や食生活に関する知識
- ・ 対象者の属性

3. 調査対象者

全国13歳以上の男女個人 6,000人 設定

4. 抽出方法

住民基本台帳より層化2段抽出

* 層化2段抽出法の手順は以下の通り

まず、平成12年国勢調査時の人口に基づき、地域と都市規模（各5分類）により層化する。第1次抽出単位として各層ごとに国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を抽出し、第2次抽出単位として住民登録台帳より個人を抽出する。
調査対象となる個人の抽出は、調査地点の住民登録台帳より、調査対象適格者（今回の場合は13歳以上の男女個人）を等間隔に系統抽出する。

（調査地点400地点中111地点は住民基本台帳の閲覧が許可されなかったため地図抽出で代用した）

5. 地域

全国 6,000サンプル

地域別	設定数	回収数	構成比(%)
北海道	270	181	5.2
東北	465	334	9.6
関東・甲信	2,085	1,025	29.5
東海	705	460	13.2
北陸	270	202	5.8
近畿	990	459	13.2
中国	375	261	7.5
四国	195	121	3.5
九州	645	435	12.5
計	6,000	3,478	100.0

都市規模別	設定数	回収数	構成比(%)
14大都市	1,395	572	16.4
15万以上の市	1,815	1,047	30.1
5万～15万未満の市	1,155	702	20.2
5万未満の市	390	273	7.8
郡部	1,245	884	25.4
計	6,000	3,478	100.0

6. 調査期間

2005年6月1日（木）～6月19日（月）

7. 回収状況

6,000人設定 → 3,478人有効回収（有効回収率 58.0%）

未回収数	未回収理由					
	転居	長期不在	一時不在	拒否	住所不明	その他
2,522	215	168	473	1,296	146	224

8. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

- この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、**種類別**牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

（注）この調査でいう「白もの牛乳類」とは、普通の牛乳や低脂肪乳（ローファットミルク）や機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいう。市販のコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含まない。

- 択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところ、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。
- MAと表記のあるものは複数回答である。

<調査結果の要約は「要約版」を参照>

サンプル構成

()内は%

<性別>

全体	3478 (100.0)
男性	1663 (47.8)
女性	1815 (52.2)

<結婚の有無>

全体	3478 (100.0)
未婚	852 (24.5)
既婚	2498 (71.8)
その他	123 (3.5)
無回答	5 (0.1)

<年齢>

全体	3478 (100.0)
13～15歳	136 (3.9)
16～19歳	152 (4.4)
20～24歳	168 (4.8)
25～29歳	208 (6.0)
30～34歳	275 (7.9)
35～39歳	271 (7.8)
40～44歳	259 (7.4)
45～49歳	252 (7.2)
50～54歳	274 (7.9)
55～59歳	383 (11.0)
60～64歳	274 (7.9)
65～69歳	260 (7.5)
70歳以上	566 (16.3)
平均48.6歳	

<子供の有無>

全体	3478 (100.0)
いる	2393 (68.8)
いない	1078 (31.0)
無回答	7 (0.2)

<同居家族数>

全体	3478 (100.0)
1人(ひとり暮らし)	244 (7.0)
2人	861 (24.8)
3人	791 (22.7)
4人	787 (22.6)
5人	418 (12.0)
6人	229 (6.6)
7人以上	140 (4.0)
無回答	8 (0.2)
平均3.4人	

<職業>

全体	3478 (100.0)
農林漁業	135 (3.9)
商工サービス業	163 (4.7)
自由業	141 (4.1)
内職	15 (0.4)
管理職	160 (4.6)
専門・技術職	382 (11.0)
事務職	275 (7.9)
労務職	192 (5.5)
販売・サービス職	198 (5.7)
パート・アルバイト	351 (10.1)
専業主婦	549 (15.8)
中学生	102 (2.9)
高校生	128 (3.7)
中高生以外の学生	91 (2.6)
無職	568 (16.3)
無回答	28 (0.8)

<家族構成(同居家族数「1人」を除く)>

全体	3226 (100.0)
夫婦2人	662 (20.5)
2世代世帯/親と子	1865 (57.8)
3世代世帯/親、子、孫	599 (18.6)
その他	91 (2.8)
無回答	9 (0.3)

<同居する子供(家族構成「夫婦2人」を除く)>

全体	2555 (100.0)
乳児・幼児	466 (18.2)
小学生	533 (20.9)
中学生	440 (17.2)
高校生	475 (18.6)
大学・短大・専門学校生	261 (10.2)
この中にはない	1072 (42.0)
無回答	11 (0.4)

主な分析軸

本報告書で利用した主な分析軸は次の通り

()内は%

<性・年齢別>

全体		3478 (100.0)
男 性	中学生	52 (1.5)
	10代(中学生除)	95 (2.7)
	20代	187 (5.4)
	30代	266 (7.6)
	40代	227 (6.5)
	50代	315 (9.1)
	60代	271 (7.8)
	70代以上	250 (7.2)
	男性計	1663 (47.8)
女 性	中学生	50 (1.4)
	10代(中学生除)	91 (2.6)
	20代	189 (5.4)
	30代	280 (8.1)
	40代	284 (8.2)
	50代	342 (9.8)
	60代	263 (7.6)
	70代以上	316 (9.1)
女性計	1815 (52.2)	

<白もの牛乳類飲用行動別>

全体		3478 (100.0)
飲 用 頻 度	飲用者・計	3001 (86.3)
	毎日飲用	1311 (37.7)
	週1~6日飲用	1222 (35.1)
	月に2~3日以下飲用	468 (13.5)
	非飲用者	477 (13.7)
飲 用 パ タ ー ン	そのまま&混ぜて&かけて	527 (15.2)
	そのまま&混ぜて併用	1252 (36.0)
	そのまま飲用のみ	808 (23.2)
	混ぜて飲用のみ	211 (6.1)

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

1) 白もの牛乳類の飲用頻度

コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけてたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

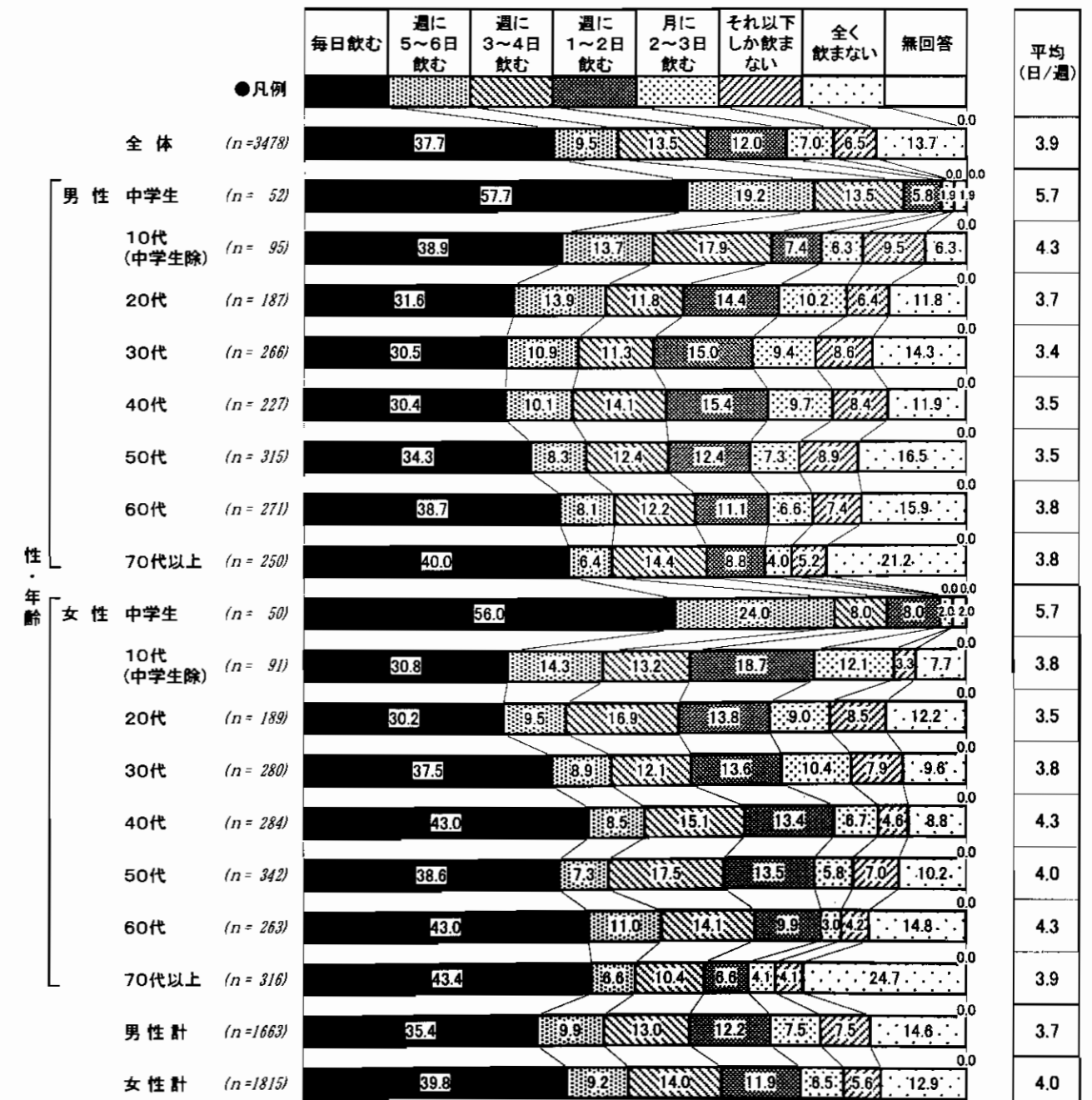
「毎日飲む」人は全体の38%である。一方「全く飲まない」という人は14%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は女性の方が40%と多い。また、女性の40代60代と、男女とも70代以上では4割をこえている。

「全く飲まない」人の割合は、男女とも年齢が高いほど高まる傾向がみられる。

週あたりの平均飲用頻度は全体で3.9日である。

図表I-1-1 性・年齢別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

図表I-1-2 時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度

	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む*	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
2006年	3478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

※斜線はデータなし

* 87~01年は「月に数回飲む」 (%)

2) そのまま飲む頻度

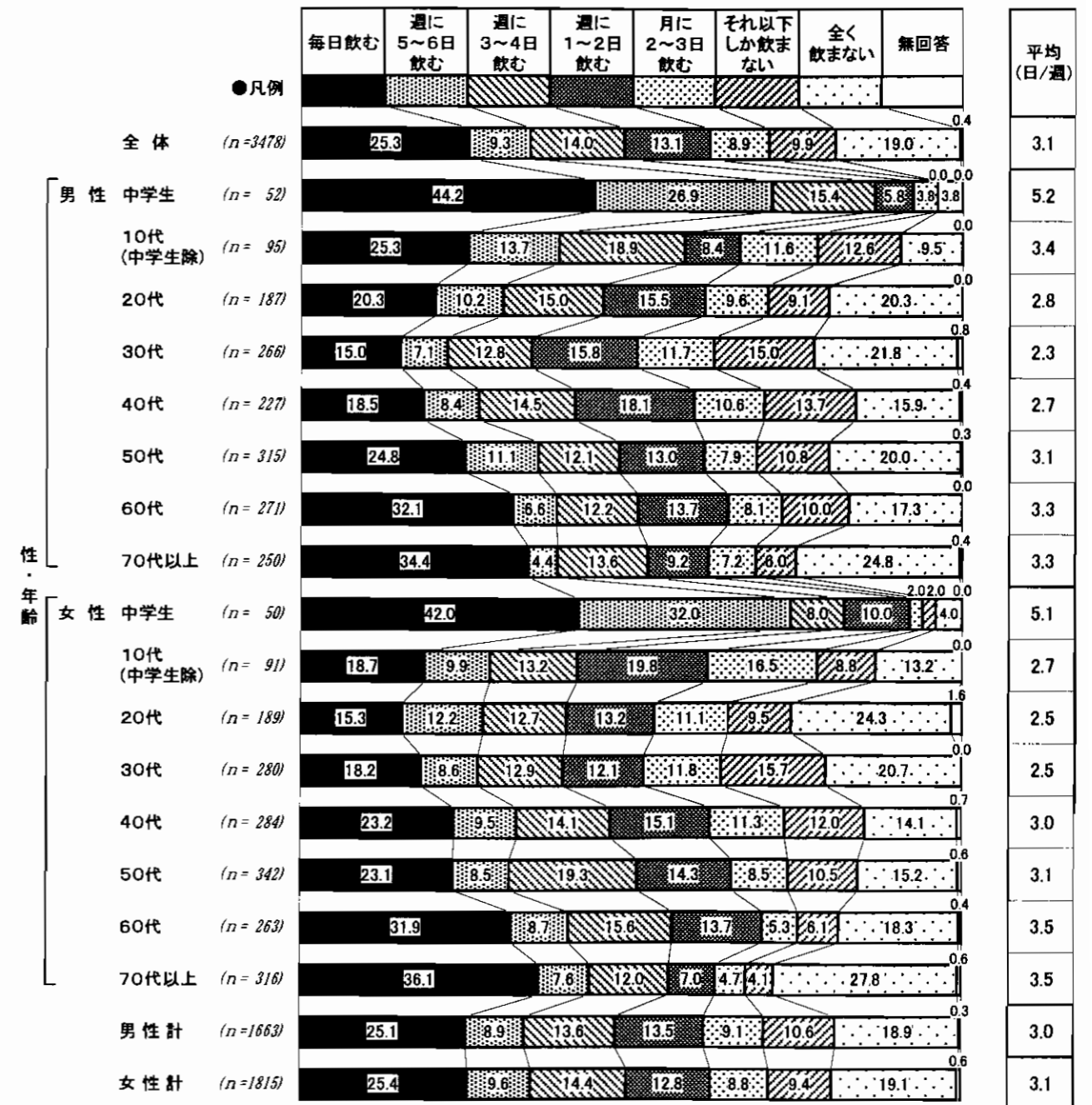
そのまま飲む飲み方で、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の25%である。一方「全く飲まない」という人は19%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人の割合は男女で違いはない。また、「毎日飲む」人は男性の30代と女性の20代が最も少なく、男女ともに中学生の層が最も多い。

「全く飲まない」人は女性の20代および男女とも70代以上の層が多めである。

図表I-1-3 性・年齢別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度：年間平均



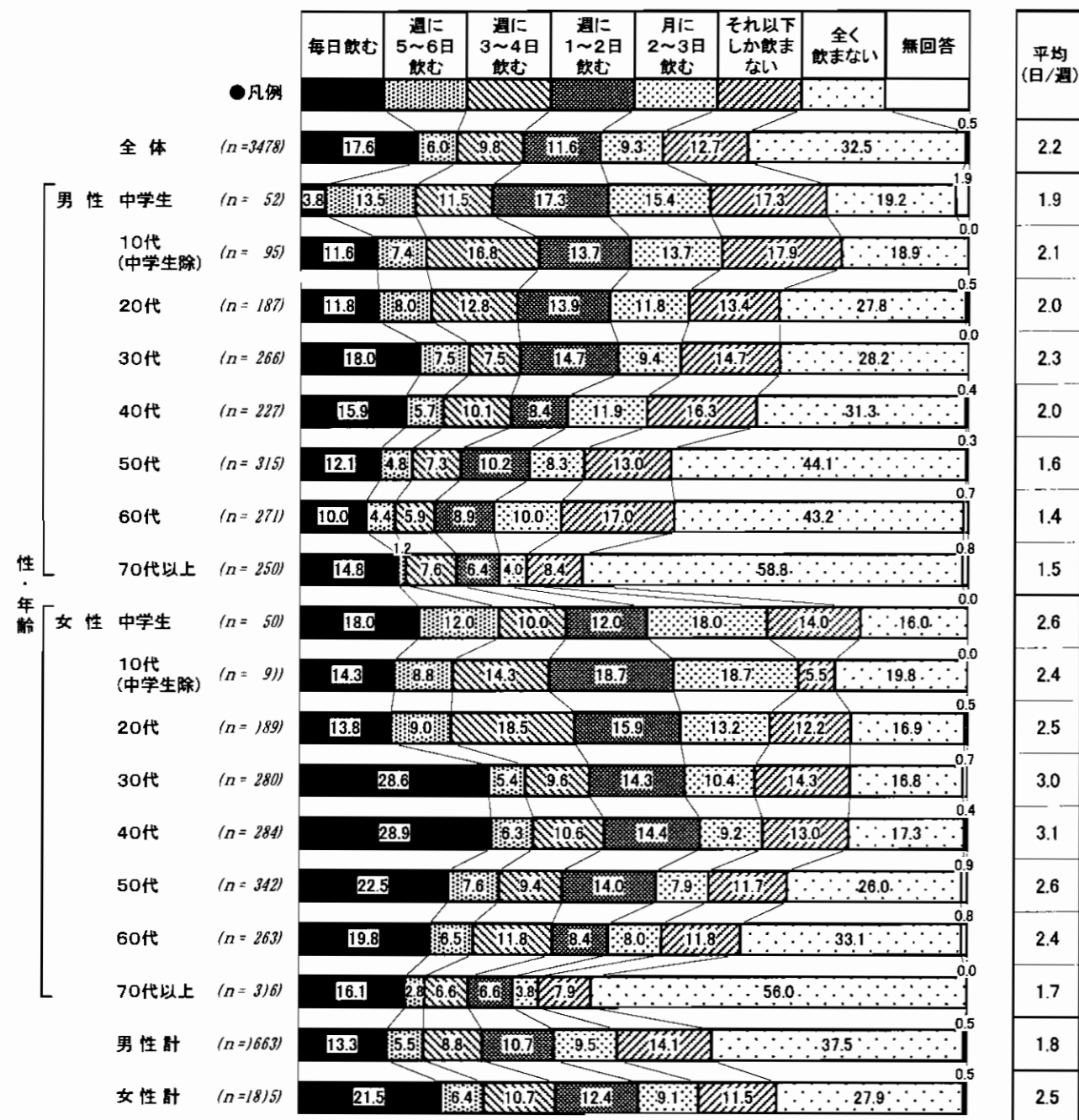
3)他のものと混ぜて飲む頻度

コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲む飲み方で、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の18%である。一方「全く飲まない」という人は33%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は男性13%、女性22%であり、女性の方が多い。「毎日飲む」人の割合は、男性では年齢別にあまり違いは見られないが、女性では30代、40代が30%弱と多くなっている。

図表I-1-4 性・年齢別 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度：年間平均

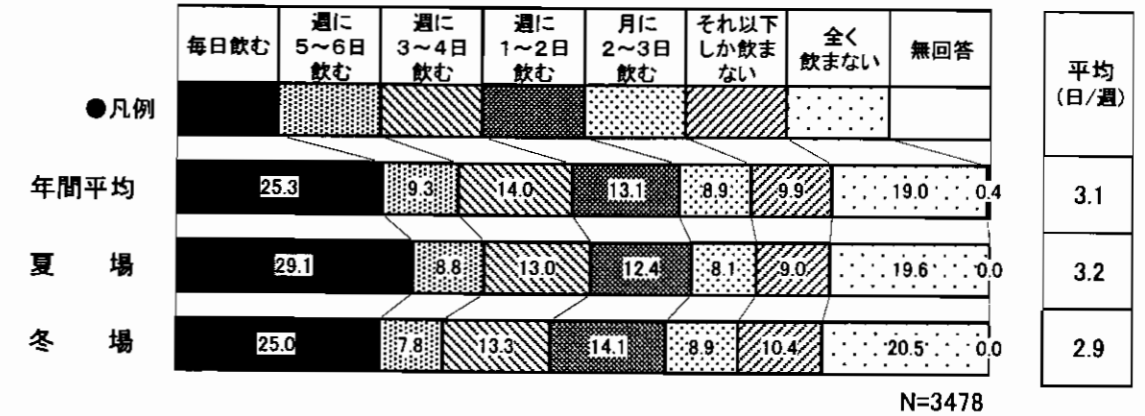


4)季節による変動

白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が29%と冬場(25%)より4ポイント多くなっている。他のものと混ぜて飲む飲み方では大きな変動はみられない。

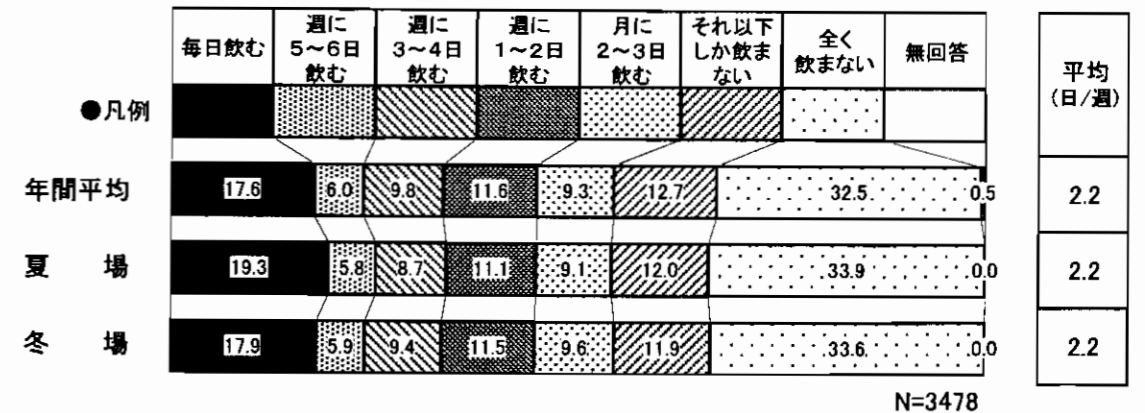
<そのまま飲む>

図表I-1-5 季節変動/飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度



<他のものと混ぜて飲む>

図表I-1-6 季節変動/飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度



飲み方別に時系列の推移をみると、そのまま飲む飲み方で「毎日飲む」人の割合は、夏場、冬場、年間平均いずれも2002年以来減少傾向がみとめられる。混ぜて飲む飲み方では著しい変化はみられない。

図表I-1-7 時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均(日/週)	
											(%)
夏場	2006年	3478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2004年	4177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
	2003年	4177	32.7	9.0	13.9	13.2	7.3	7.3	16.4	0.3	3.5
	2002年	4277	35.4	8.1	14.6	12.2	7.1	6.8	15.8	0.1	3.7
冬場	2006年	3478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2004年	4177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
	2003年	4177	27.9	8.1	14.1	15.5	8.4	8.4	17.3	0.3	3.2
	2002年	4277	29.5	8.0	14.1	14.6	8.7	8.4	16.6	0.1	3.3
年間平均	2006年	3478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2004年	4177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2
	2003年	4177	28.1	10.0	15.1	13.6	8.3	8.2	16.3	0.4	3.3
	2002年	4277	29.7	9.9	14.7	13.8	7.9	8.3	15.5	0.1	3.4

図表I-1-8 時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度

	n	毎日飲む	週に5~6日飲む	週に3~4日飲む	週に1~2日飲む	月に2~3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない	無回答	平均(日/週)	
											(%)
夏場	2006年	3478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2004年	4177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
	2003年	4177	21.6	5.9	8.5	10.5	9.9	12.1	31.3	0.2	2.4
	2002年	4277	18.7	5.7	9.1	11.6	9.8	12.5	32.4	0.3	2.2
冬場	2006年	3478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2004年	4177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
	2003年	4177	20.0	5.5	9.6	11.4	10.0	12.8	30.5	0.2	2.3
	2002年	4277	16.6	6.1	9.3	12.7	10.6	12.6	31.9	0.2	2.1
年間平均	2006年	3478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2004年	4177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3
	2003年	4177	19.7	6.2	9.8	10.7	10.7	12.8	30.0	0.2	2.3
	2002年	4277	16.2	6.3	9.6	12.3	10.8	13.5	31.2	0.2	2.1

2. 白もの牛乳類の飲用量

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを聞いた。

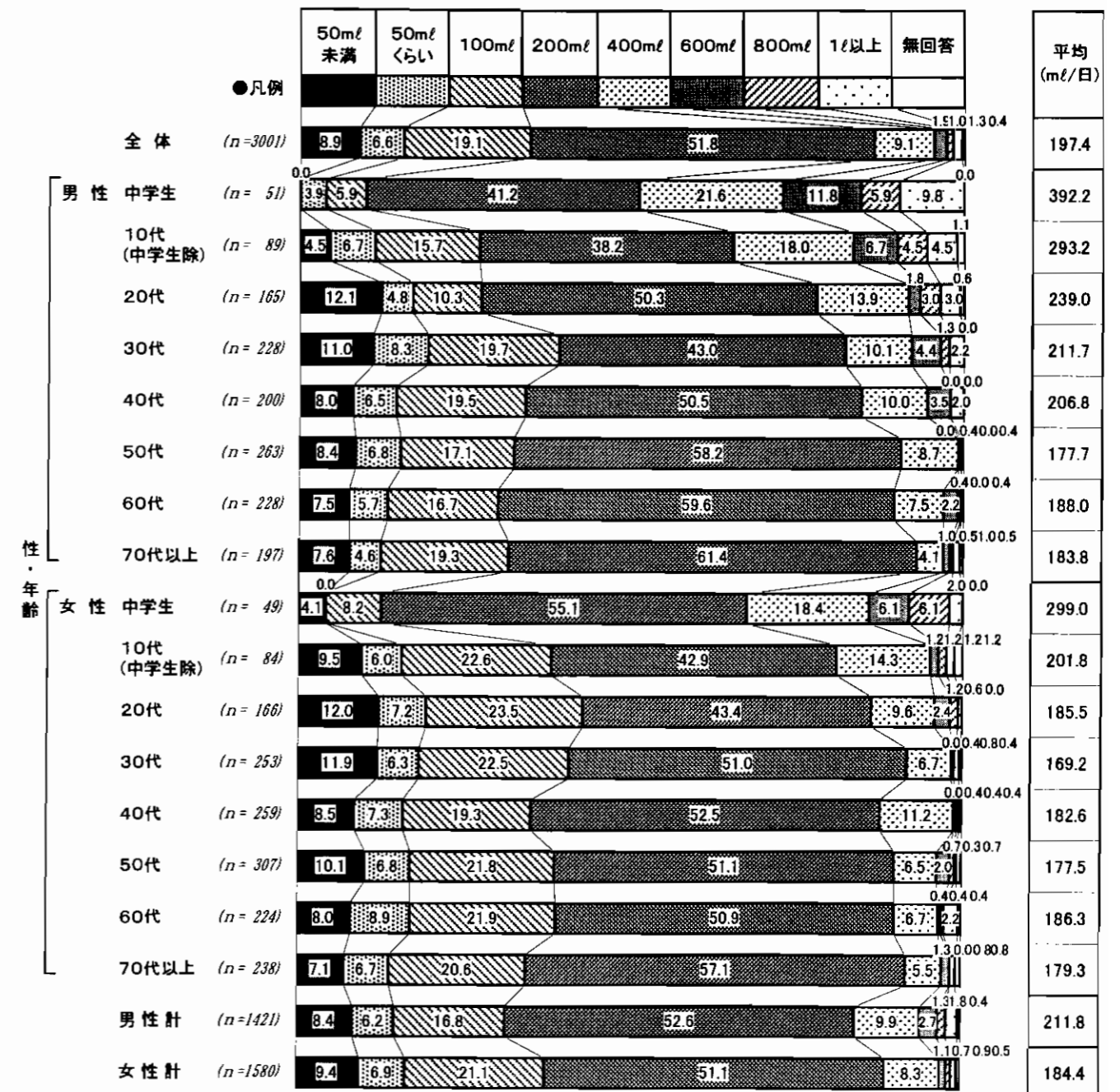
全体では、「200ml」が最も多く、白もの牛乳類飲用者の52%と過半数を占めている。

性・年齢別にみると、どの層でも「200ml」が最も多い。

参考に算出したところ、1日に飲む平均量は197mlとなる。

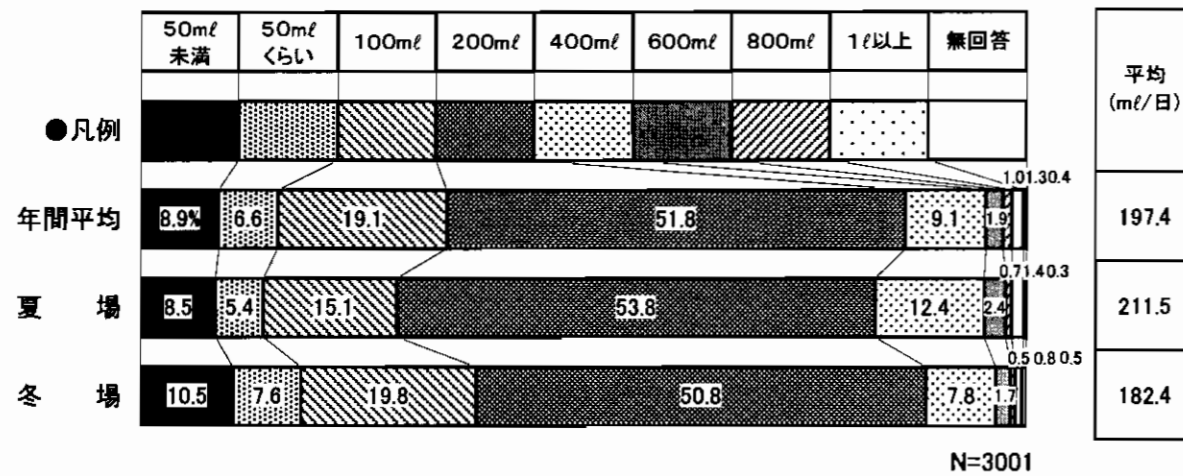
1日に飲む平均量を性別にみると、男性212ml、女性184mlとなっており、男性の方が多。また、年齢別でみると、男女ともに中学生が最も多くなっている。

図表I-2-1 性・年齢別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量：年間平均 <飲用者ベース>



白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動をみると、平均量で夏場212ml、冬場182mlとなっており、夏場が冬場より30ml多くなっている。
性・年齢別にみると、どの層でも夏場の方が冬場より多い。

図表I-2-2 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>



図表I-2-3 性・年齢別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	年間平均	夏場	冬場
全体		3001	197.4	211.5	182.4
性	中学生	51	392.2	415.7	350.0
	10代(中学生除)	89	293.2	329.6	260.3
	20代	165	239.0	253.3	220.4
	30代	228	211.7	218.2	188.6
	40代	200	206.8	220.0	192.6
	50代	263	177.7	195.6	166.7
	60代	228	188.0	206.7	177.5
	70代以上	197	183.8	195.8	184.4
	性	中学生	49	299.0	315.3
10代(中学生除)		84	201.8	214.6	179.2
20代		166	185.5	195.5	170.0
30代		253	169.2	183.4	156.8
40代		259	182.6	203.2	171.3
50代		307	177.5	187.7	160.2
60代		224	186.3	196.0	168.7
70代以上		238	179.3	189.2	168.1
男性計		1421	211.6	227.4	196.7
女性計	1580	184.4	197.2	169.5	

(ml/日)

図表I-2-4 季節変動/時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	50ml未満	50mlくらい	100ml	200ml	400ml	600ml	800ml	1ℓ以上	無回答	平均 (ml/日)
夏場	2006年	3001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
	2004年	3726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9
	2003年	3747	6.2	4.4	13.5	53.1	15.7	3.7	0.8	1.0	1.7	228.9
	2002年	3810	6.3	4.5	12.4	50.8	17.8	4.4	1.4	1.2	1.2	241.1
冬場	2006年	3001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
	2004年	3726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6
	2003年	3747	8.0	6.5	18.9	53.0	9.1	1.5	0.4	0.6	1.9	188.6
	2002年	3810	8.5	6.6	18.8	51.5	9.9	2.2	0.6	0.6	1.3	193.5
年間平均	2006年	3001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2004年	3726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2
	2003年	3747	6.5	6.0	16.5	53.3	12.0	2.2	0.7	1.1	1.8	209.2
	2002年	3810	6.9	5.5	16.6	51.5	12.5	3.3	0.9	1.5	1.3	219.2

(%)

図表I-2-5 性・年齢別/時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年	
		n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)
全体		4277	127.3	4177	141.5	4177	127.3	3896	126.9	3478	122.5
性	中学生	55	300.1	48	318.6	49	309.5	54	324.8	52	339.4
	10代(中学生除)	129	199.0	124	254.8	132	254.3	89	226.7	95	217.8
	20代	259	133.9	224	164.4	243	129.3	184	117.3	187	144.6
	30代	292	103.1	288	133.3	301	115.5	236	113.3	266	118.4
	40代	298	96.5	287	110.6	292	107.0	277	100.1	227	115.3
	50代	359	115.4	356	123.3	383	109.0	355	105.1	315	98.8
	60代	365	123.3	336	116.2	311	117.1	323	118.2	271	112.7
	70代以上	187	117.9	244	137.4	235	111.9	252	126.8	250	109.4
	性	中学生	42	183.8	54	264.2	39	217.8	46	210.7	50
10代(中学生除)		128	129.6	120	147.7	126	126.6	110	157.3	91	116.1
20代		266	112.7	294	125.6	252	118.0	234	106.8	189	114.6
30代		375	129.4	353	137.5	354	128.9	355	126.6	280	105.9
40代		395	119.1	330	141.3	369	116.4	292	137.2	284	119.1
50代		444	139.5	443	152.9	422	121.0	430	129.2	342	110.7
60代		373	136.7	376	134.7	368	134.7	373	121.5	263	124.7
70代以上		310	120.2	300	127.1	301	124.5	286	123.7	316	111.9
男性計		1944	125.6	1907	141.8	1946	128.8	1770	125.0	1663	127.5
女性計	2333	128.6	2270	141.2	2231	125.9	2126	128.5	1815	118.0	

※ 2002年は「そのまま飲む」「他のものと混ぜて飲む」「シリアルやくだものなどにかける」飲み方別飲用頻度(年間平均)と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。
2003年～2006年は飲み方を問わない日頃の飲用頻度と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。

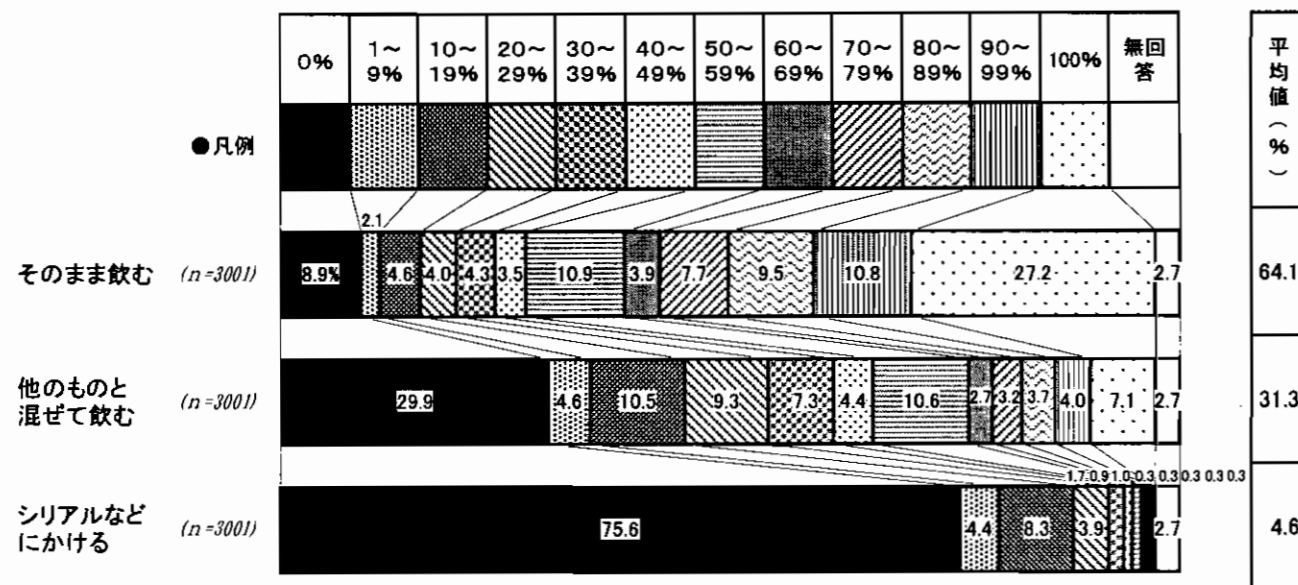
3. 白もの牛乳類の飲み方

そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるといった飲み方ごとに、白もの牛乳類の飲用量の割合を聞いた。

「そのまま飲む」割合が100%となる人は27%である。

「他のものと混ぜて飲む」ことがない人は30%であり、「シリアルなどにかける」ことのない人は76%を占める。

図表I-3-1 問5 白もの牛乳の飲み方：年間平均 <飲用者ベース>



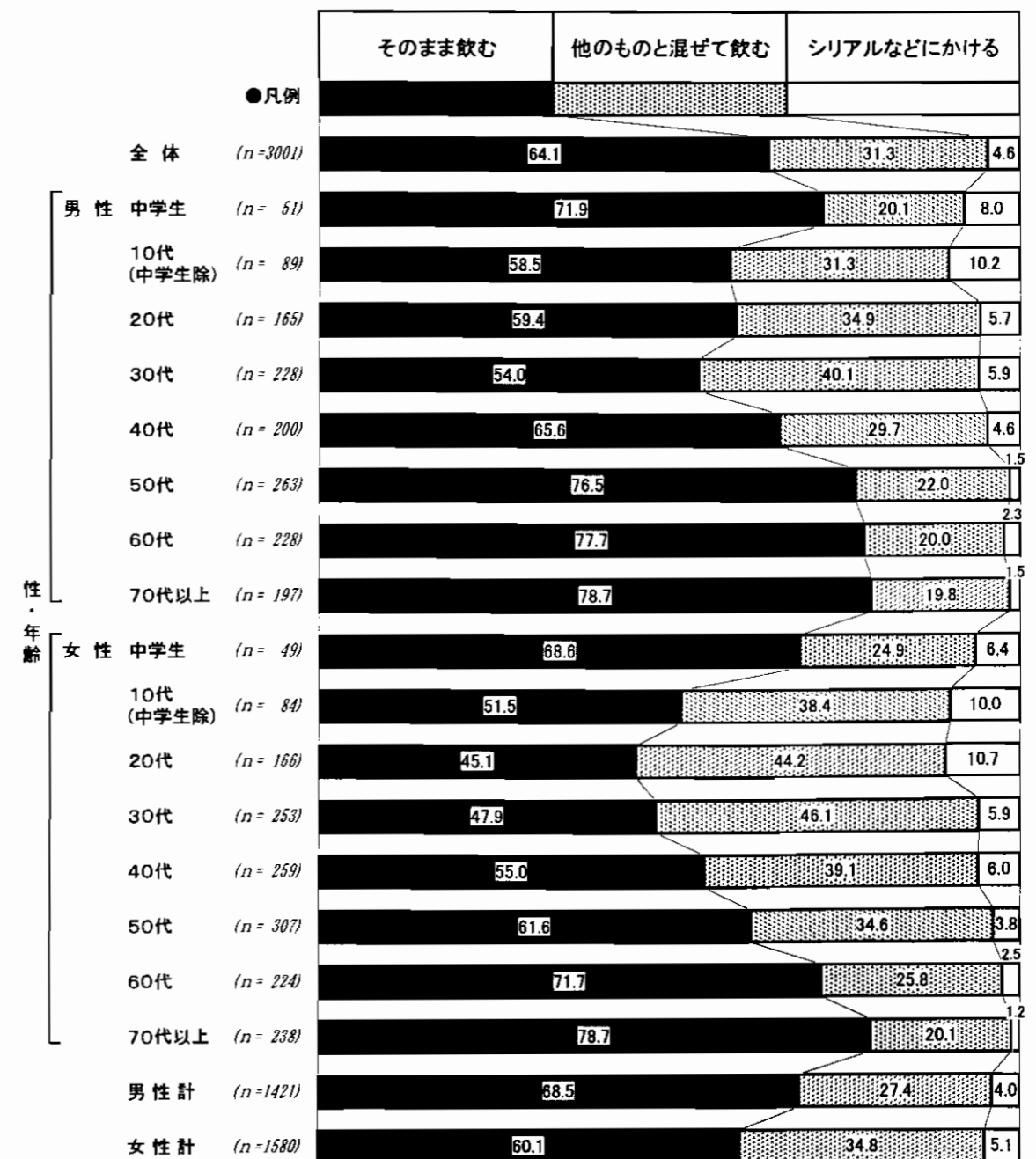
そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、シリアルなどにかけるなど飲み方ごとの飲用量の割合の平均値をみる。

全体でみると、「そのまま飲む」が64%を占め、「他のものと混ぜて飲む」が31%、「シリアルなどにかける」が5%となっている。

性別で比べると、「そのまま飲む」の割合は男性69%、女性60%と男性の方が高い。

性・年齢別では、「そのまま飲む」の割合は男性の中学生および50代以上、女性の60代以上で70%以上と高い。一方、男性の30代、女性の20代、30代は「他のものと混ぜて飲む」が4割台と他の世代に比較して多くなっている。特に、女性の20代、30代では「そのまま飲む」割合と「他のものと混ぜて飲む」割合がほぼ等しい。

図表I-3-2 性・年齢別 問5 白もの牛乳の飲み方別割合：年間平均 <飲用者ベース>



飲用シーンのトップである「のどがかわいたとき」は、2002年に比べ2005年は大幅ダウンしたが、2005年から2006年もわずかながら減少している。

図表I-4-2 時系列 問6 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

	n	朝起きぬけに	朝食をとりながら	朝食後	朝食がわりに	昼食時	夕食時	おやつや間食時	夜食時	風呂上がり	夜寝る前	のどがかわいたとき	ちよつとおなががすいたとき	勉強や仕事をしながら	レジャーやスポーツ時	くつろいでいる時	乗り物での移動中	来客時	その他
2006年	3001	12.1	40.4	13.8	6.7	15.0	6.7	35.7	3.7	26.7	14.1	41.2	13.8	4.6	2.3	21.4	2.0	2.9	2.7
2005年	3497	11.6	41.6	13.5	6.4	15.3	6.6	37.0	4.5	26.9	14.5	43.0	14.1	4.3	1.9	21.1	2.1	2.9	2.3
2002年	3810	17.2	46.8	18.0	11.3	18.8	8.1	43.3	6.0	38.5	18.7	53.3	20.8	6.4	4.2	25.1	2.8	3.6	2.3

(%)

5. 白もの牛乳類の飲用理由

白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を聞いた。

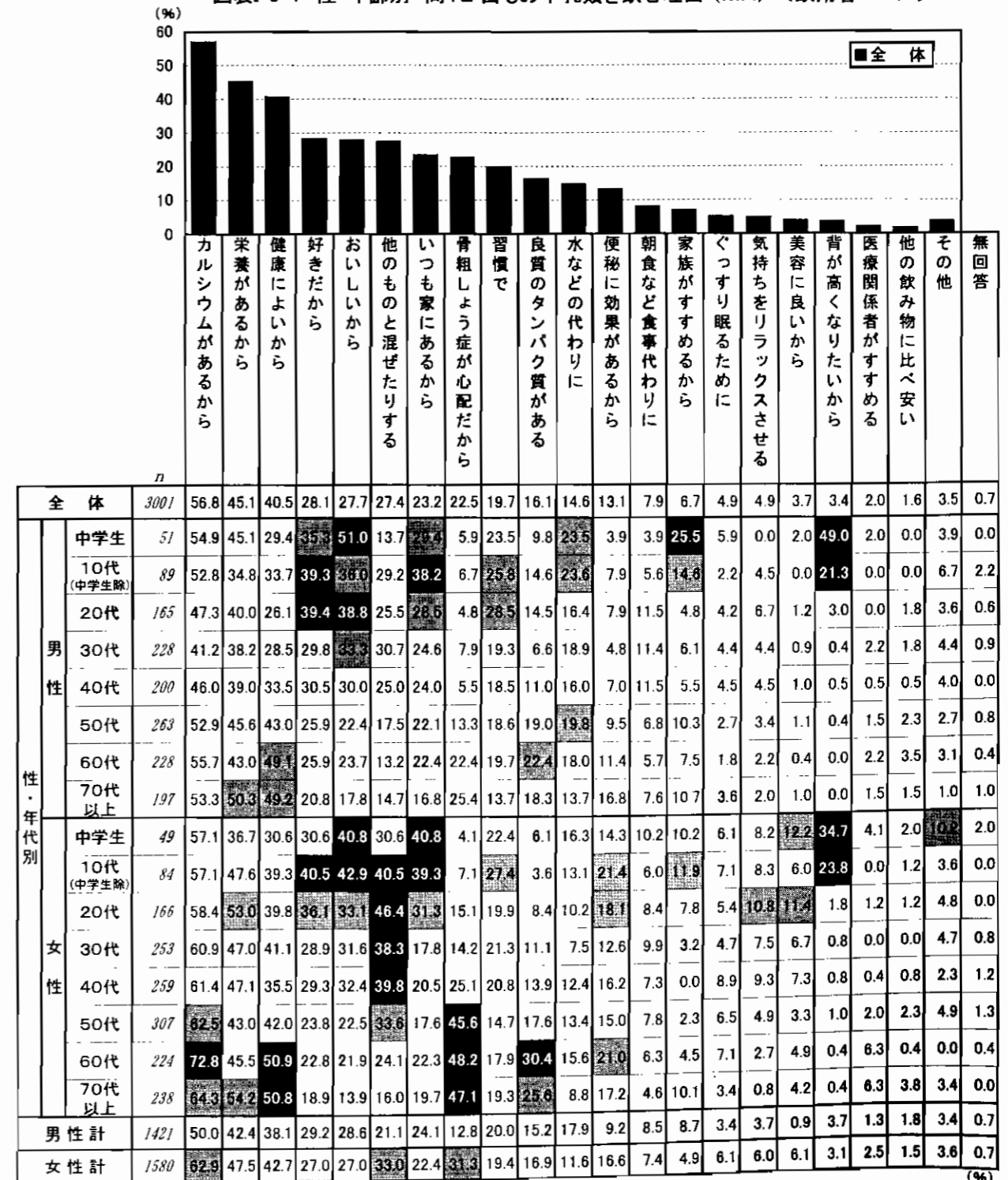
全体では、「カルシウムがあるから (57%)」「栄養があるから (45%)」「健康によいから (41%)」の順が多い。

性・年齢別にみると、中学生を含む10代、20代の男性で、「好きだから」「おいしいから」「いつも家にあるから」飲んでいる比率が他の層より高い。また、男性中学生では「水などの代わりに」「家族がすすめるから」も全体より5~10ポイント以上高い。男女とも中学生を含む10代では「背が高くなりたから」という理由も多い。

男女とも60代、70代以上では「健康によいから」という理由が多い。

女性の中学生を除く10代~40代の層では「他のものと混ぜたりする」割合が4割前後と他の層に比べて高くなっている。また、50代~70代以上の女性では「骨粗しょう症が心配だから」を理由とする比率が高い。またこの層では「カルシウムがあるから」とする比率も比較的高くなっている。

図表I-5-1 性・年齢別 問12 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



■ 全体より5ポイント以上高い
■ 全体より10ポイント以上高い

「白もの牛乳類を飲む理由」の推移をみる。

2005年に比べて2006年では、「他のものと混ぜたりする」「家族がすすめるから」の項目では微増している。

図表I-5-2 時系列 問12 白もの牛乳類を飲む理由 (MA)

年	n	カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	好きだから	おいしいから	他のものと混ぜたりする	いつも家にあるから	骨粗しょう症が心配だから	習慣で	良質のタンパク質がある	水などの代わりに	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	ぐっすり眠るために	気持ちをリラックスさせる	美容に良いから	背が高くなりたいたいから	医療関係者がすすめる	他の飲み物に比べ安い	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	無回答
		2006年	3001	56.8	45.1	40.5	28.1	27.7	27.4	23.2	22.5	19.7	16.1	14.6	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.7	3.4	2.0	1.6				3.5
2005年	3497	55.4	42.6	41.6	28.5	27.6	24.9	21.3	23.3	19.4	16.8	16.6	13.1	7.9	4.8	4.9	5.3	3.8	3.1	1.9	1.6				2.1	1.3	
2002年	3810	60.6	49.2	45.9	29.7	29.9	25.7	26.9	27.3	20.0	20.8	19.4	14.9	7.9	5.3	5.0	3.9	4.1	3.7	1.8	2.0				2.1	1.1	
2000年	4171	61.2	49.2		30.9	34.9		33.3	28.5	19.0	20.7	21.5	18.1	10.5	9.2	5.1	4.9	5.2		2.5		4.8			2.7		
1999年	4476	54.8	45.1		29.2	32.9		31.4	25.1	18.0	19.1	20.6	17.9	9.7	7.7	5.3	5.2	4.7		2.2		5.2			2.4	10.6	0.0
1997年	4547	55.4	41.0		23.5	24.4		27.8	24.1	13.1	15.2	17.3	16.0	8.1	7.6			3.1				3.6			3.3	11.1	0.1
1996年	4706	50.3	40.7		23.3	22.2		19.9	19.3	15.5		17.3		7.9	5.7										3.2	10.4	0.1
1995年	4668	51.5	45.3		22.0	20.6		20.6	16.1	18.1		16.9		8.3	4.6			4.6	4.6	1.6	2.2	2.8			2.6	11.7	1.3
1994年	4617	58.7	53.9		26.5	26.5		31.0		14.3		13.4		8.6	6.5			5.7	5.7	2.5	2.8	4.5			2.9	13.4	0.1
1993年	4553	59.2	58.2		27.9	28.0		34.3		16.2		12.7		9.4	6.2			9.2	7.1	2.9	4.0	5.2			2.2	12.8	0.3
1992年	4651	51.3	52.8		28.2	25.2		30.3		14.7		14.5		8.5	6.3			4.9	5.5	2.7	2.3	3.7	2.1	2.1	13.7	0.3	
1991年	4714	50.1	54.3		28.2	25.5		31.1		14.0		15.4		8.3	6.0			5.6	6.3	2.9	2.0	5.1	2.8	2.0	12.5	0.3	
1990年	4691	54.3	58.3		26.6	23.0		30.7		13.5		14.2		8.4	5.7			7.7	5.9	2.7	2.1	4.1	2.5	2.0	12.8	0.3	
1989年	4579	46.9	54.9		26.0	22.1		29.6		12.1		14.0		8.8	5.5			6.9	4.7	3.0	2.2	3.9	2.2	1.7	15.4	0.6	
1988年	4604	44.4	55.7		25.9	23.0		29.7		11.5		14.0		9.2	6.2			9.0	6.6	2.4	2.8	5.3	2.4	1.6	15.4	0.9	
1987年	4664	38.4	53.4		27.5	23.7		27.4		14.7		18.2		9.1	5.1			8.6	5.5	2.0	2.5	4.8	3.2	1.6	16.1	1.2	

※斜線はデータなし
 ※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

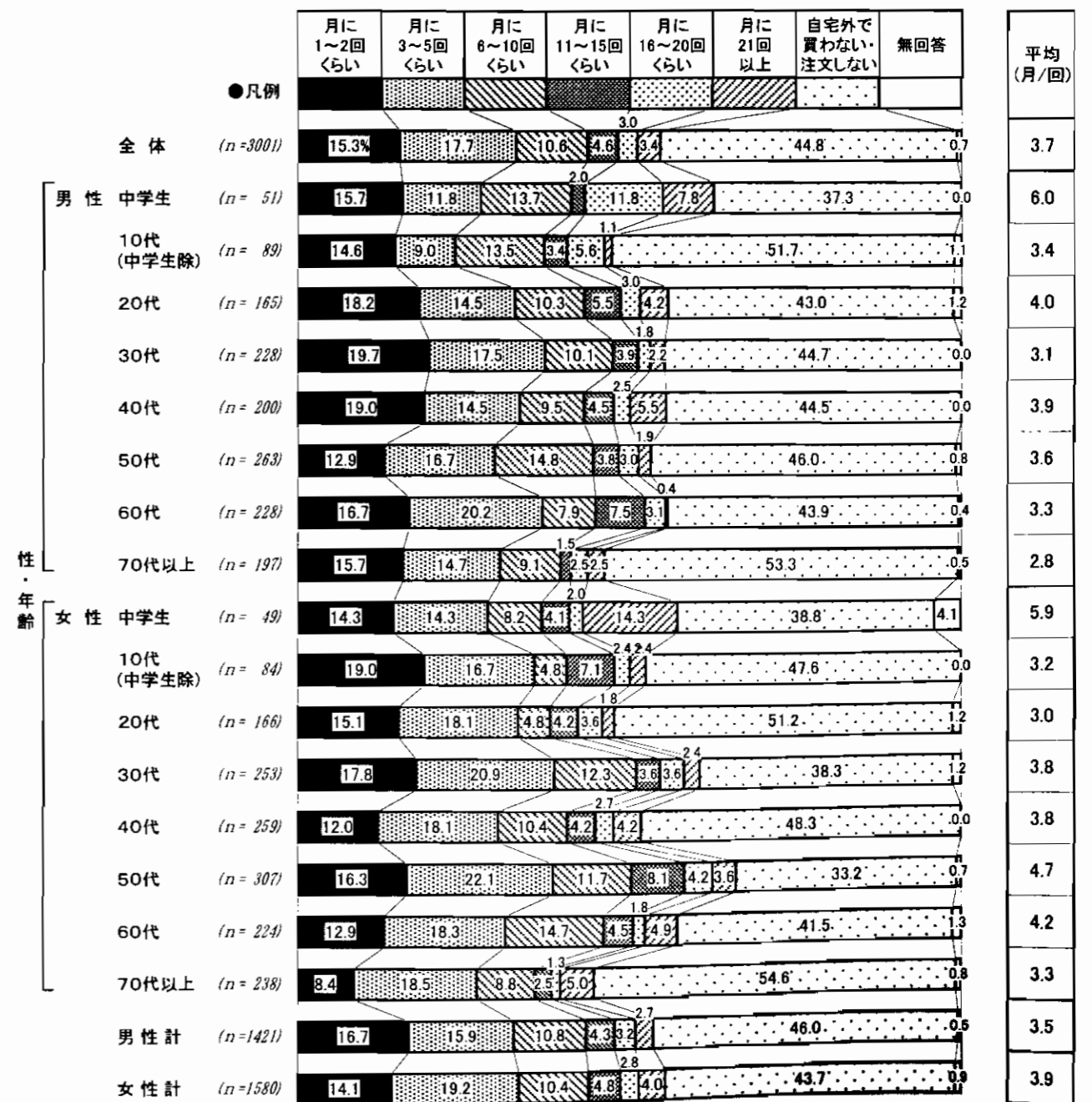
6. 白もの牛乳類の自宅外の飲用

1) 白もの牛乳類の自宅外の飲用頻度

白もの牛乳類を飲む人に、自宅外での飲用頻度について聞いた。全体では「自宅外で買わない・注文しない」が45%を占め、「月に3~5回くらい」が18%、次いで「月に1~2回くらい」が15%となっている。

性・年齢別にみると、すべての層で「自宅外で買わない・注文しない」が4割前後から5割強を占める。

図表I-6-1 性・年齢別 問7 白もの牛乳類の自宅外での購入、注文頻度 <飲用者ベース>

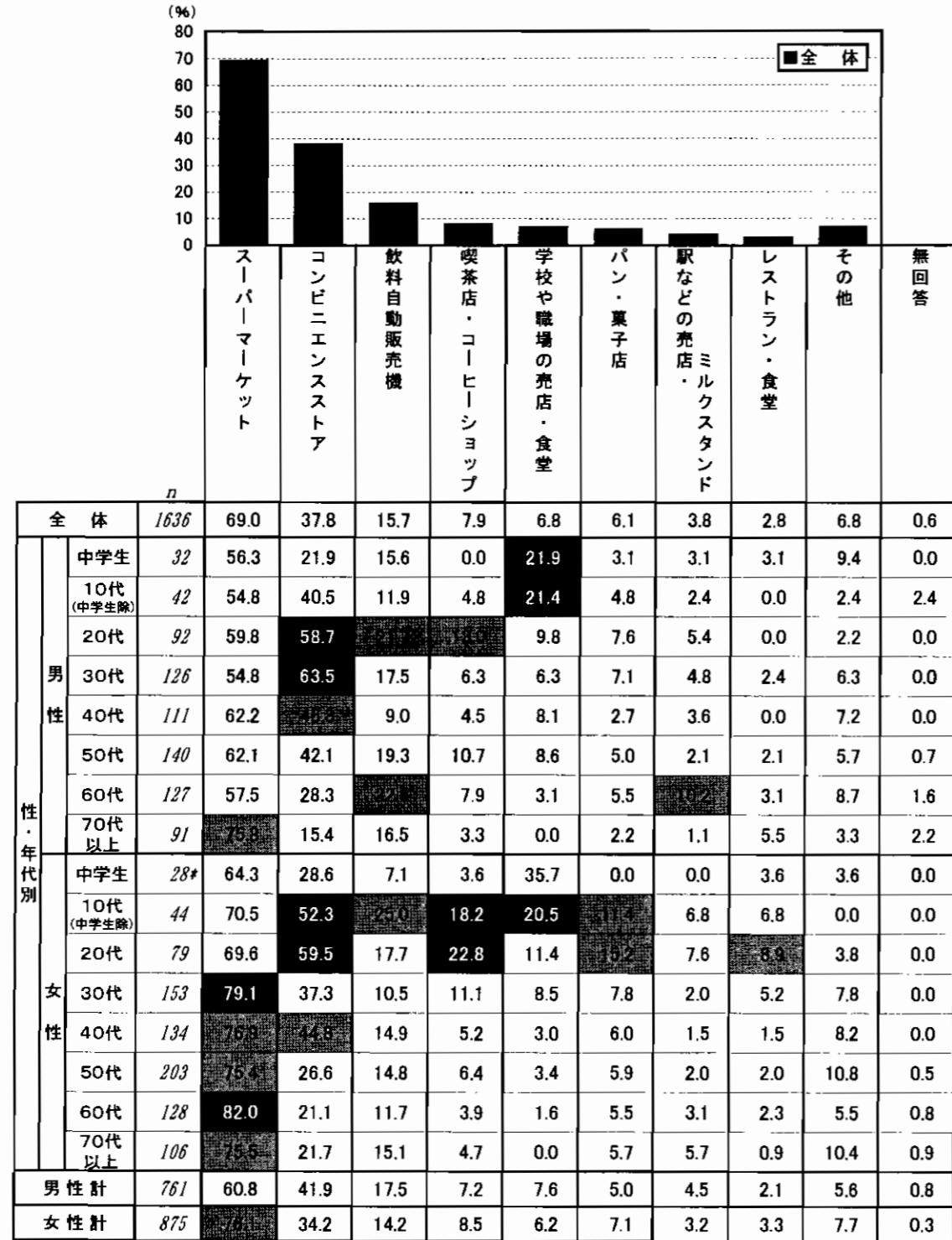


2) 白もの牛乳類の自宅外の購入場所

自宅外で白もの牛乳類を買ったり注文したりして飲む人に、白もの牛乳類の自宅外での購入場所を聞いた。

全体では「スーパーマーケット」が70%近くを占め、次に「コンビニエンスストア」の38%、「飲料自動販売機」の16%などとなっている。

図表I-6-2 性・年齢別 問8 自宅以外で白もの牛乳類を購入、注文する場所(MA)
 <自宅以外で白もの牛乳類を購入、注文する人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

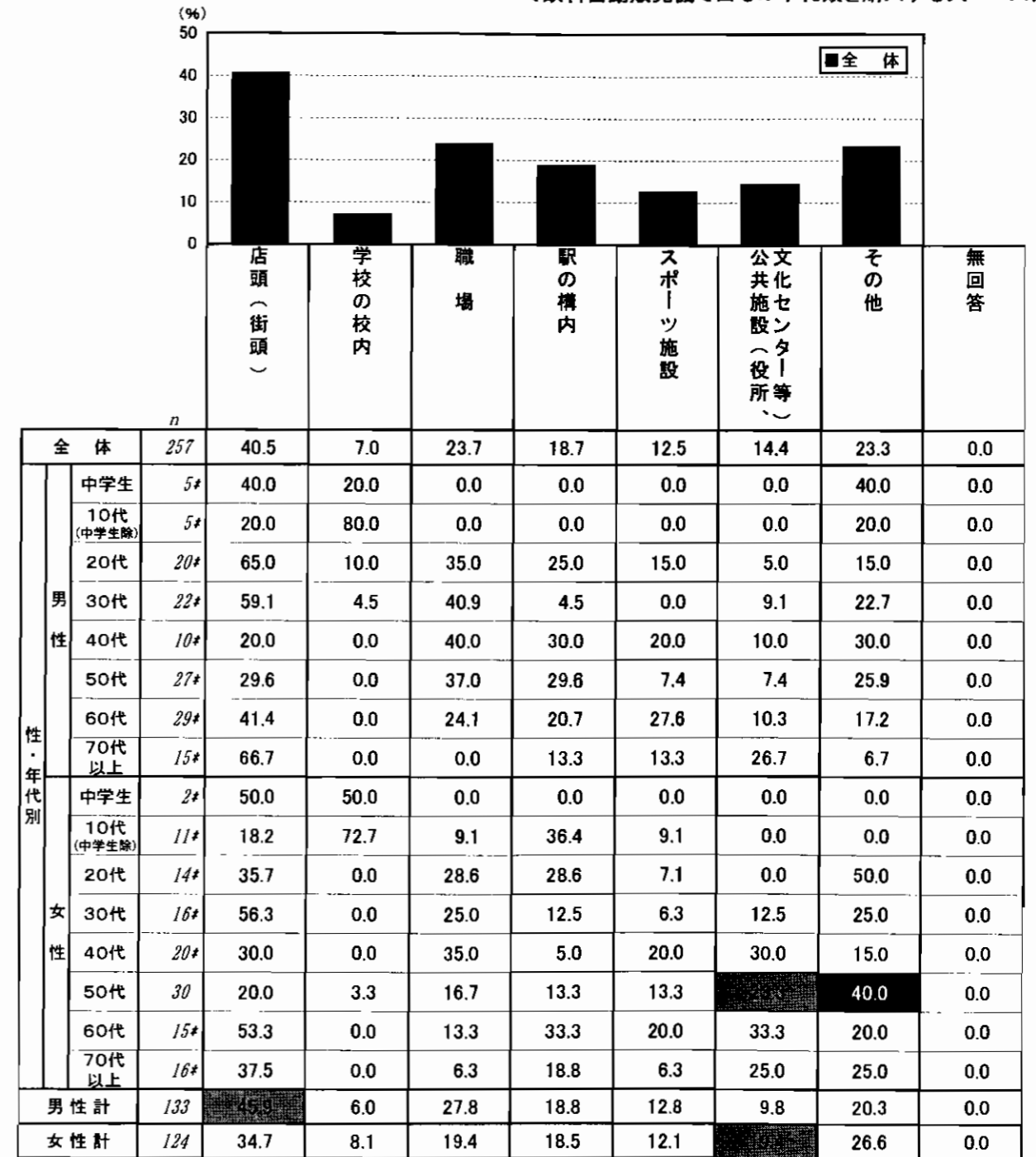
3) 白もの牛乳類の飲料自動販売機での購入実態

白もの牛乳類を飲料自動販売機で購入する人にどのような場所にある飲料自動販売機で買って飲むのかを聞いた。

全体では「店頭」が41%、次いで「職場」が24%となっている。

性別にみると、男性は「店頭」が46%、「職場」が28%とそれぞれ10ポイント前後女性より高いのに比べ、女性は「公共施設」が19%と、男性より10ポイント近く高い。

図表I-6-3 性・年齢別 問9 飲料自動販売機で白もの牛乳類を購入する場所(MA)
 <飲料自動販売機で白もの牛乳類を購入する人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

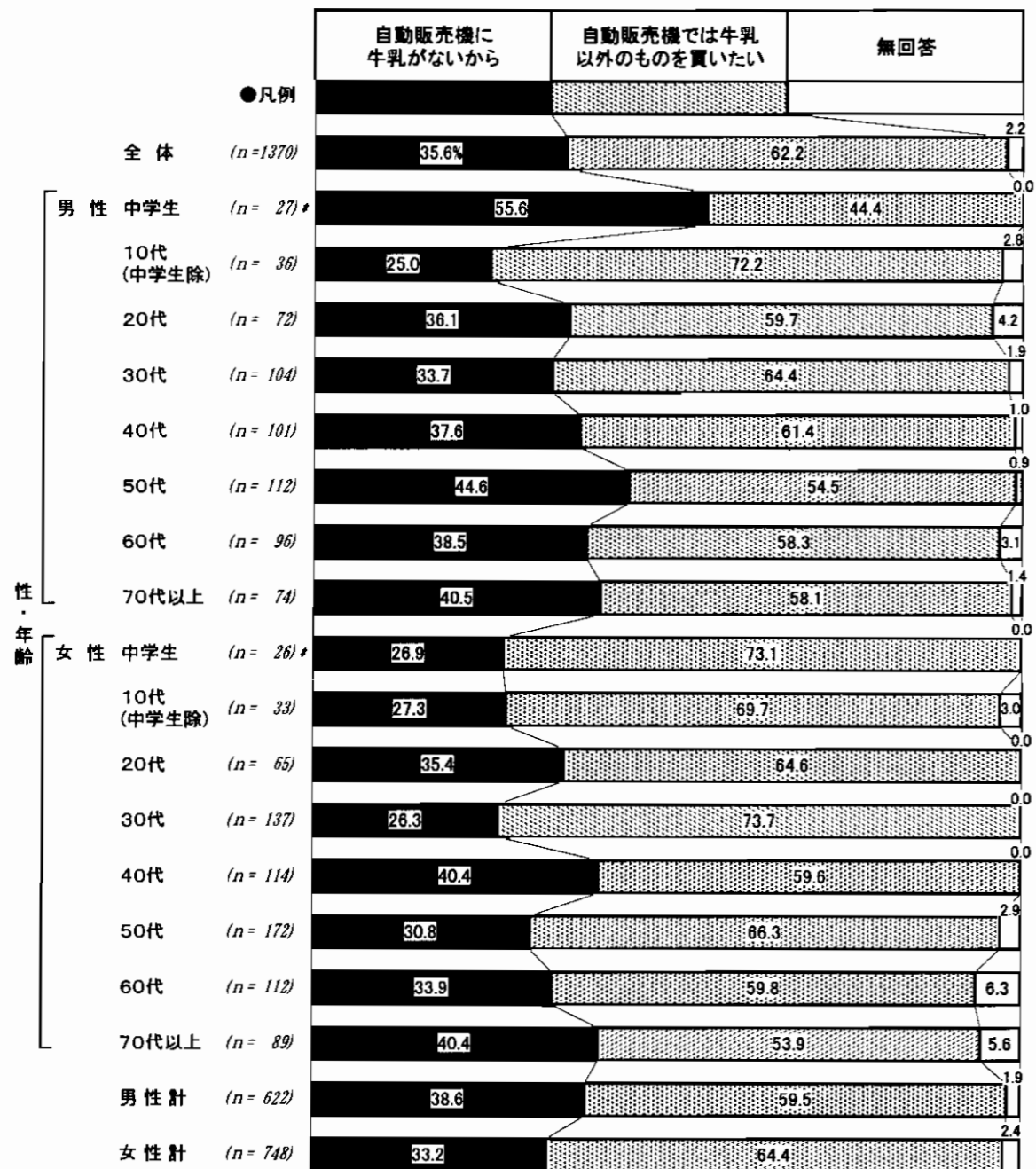
4) 白もの牛乳類の飲料自動販売機での非購入理由

飲料自動販売機で白もの牛乳類を買わない人に買わない理由を聞いた。

全体では62%が「自動販売機では牛乳以外のものを買いたい」と答え、36%が「自動販売機に牛乳がないから」と答えた。

性・年齢別にみると、母数が少ないため参考値だが男性中学生のみ「自動販売機に牛乳がないから」が「自動販売機では牛乳以外のものを買いたい」を上回っている。他の層では「自動販売機では牛乳以外のものを買いたい」が「自動販売機に牛乳がないから」を大きく上回っている。

図表I-6-4 性・年齢別 問10 飲料自動販売機で白もの牛乳類を買わない理由
 <飲料自動販売機で白もの牛乳類を購入しない人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

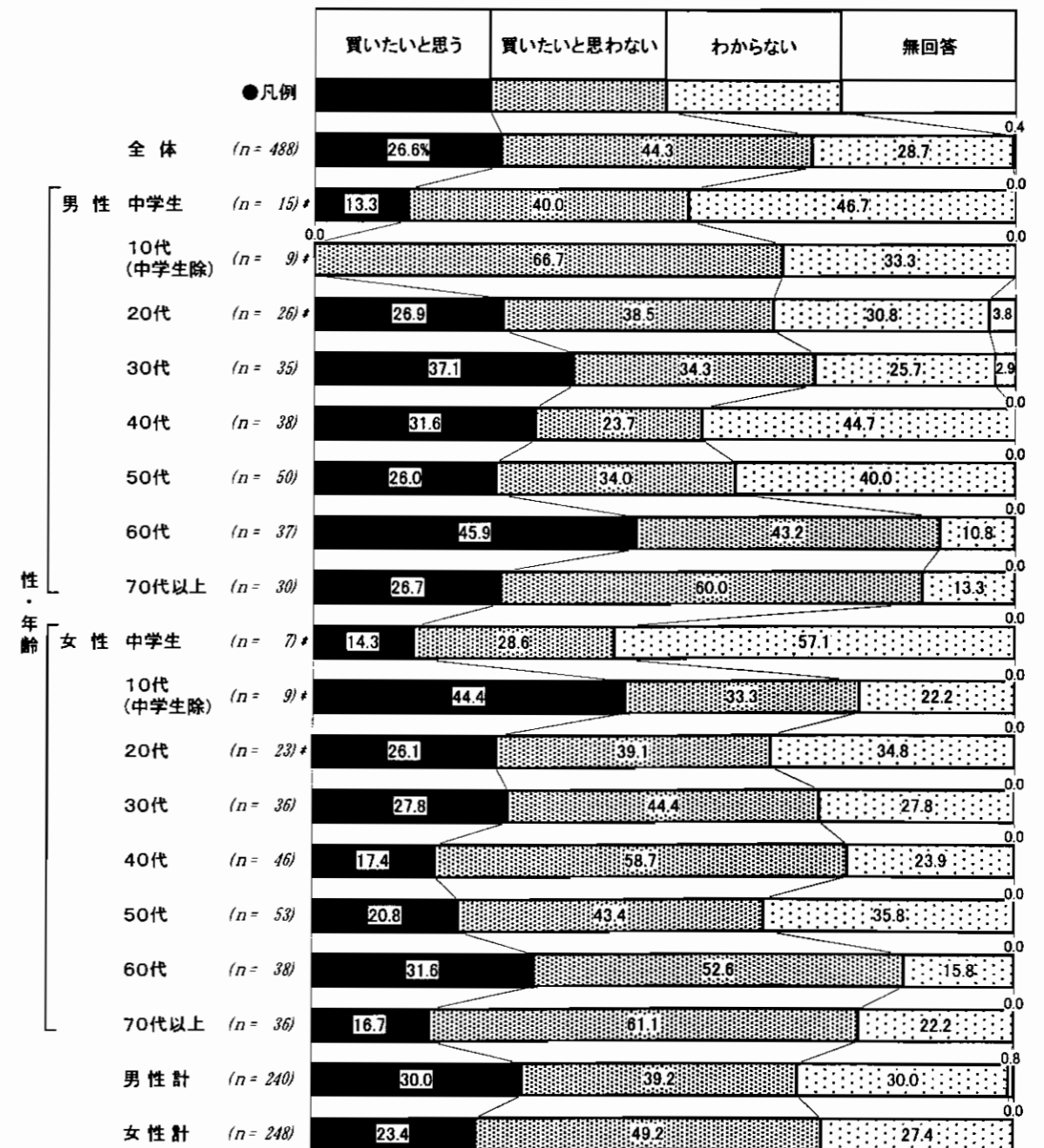
5) 飲料自動販売機での白もの牛乳類の購入意向

牛乳がないから飲料自動販売機で白もの牛乳類を購入しないと答えた人に、もし飲料自動販売機に牛乳があれば買いたいかを聞いた。

全体では27%が「買いたいと思う」と答え、「買いたいと思わない」の44%を大きく下回っている。「わからない」という人も29%みられる。

性・年齢別にみると、男女とも「買いたいと思わない」が多いが、男性は女性より「買いたいと思う」がやや多い。

図表I-6-5 性・年齢別 問11 飲料自動販売機での白もの牛乳類の購入意向
 <飲料自動販売機に白もの牛乳類がないので購入しない人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

1. 飲み方別飲用量の増減

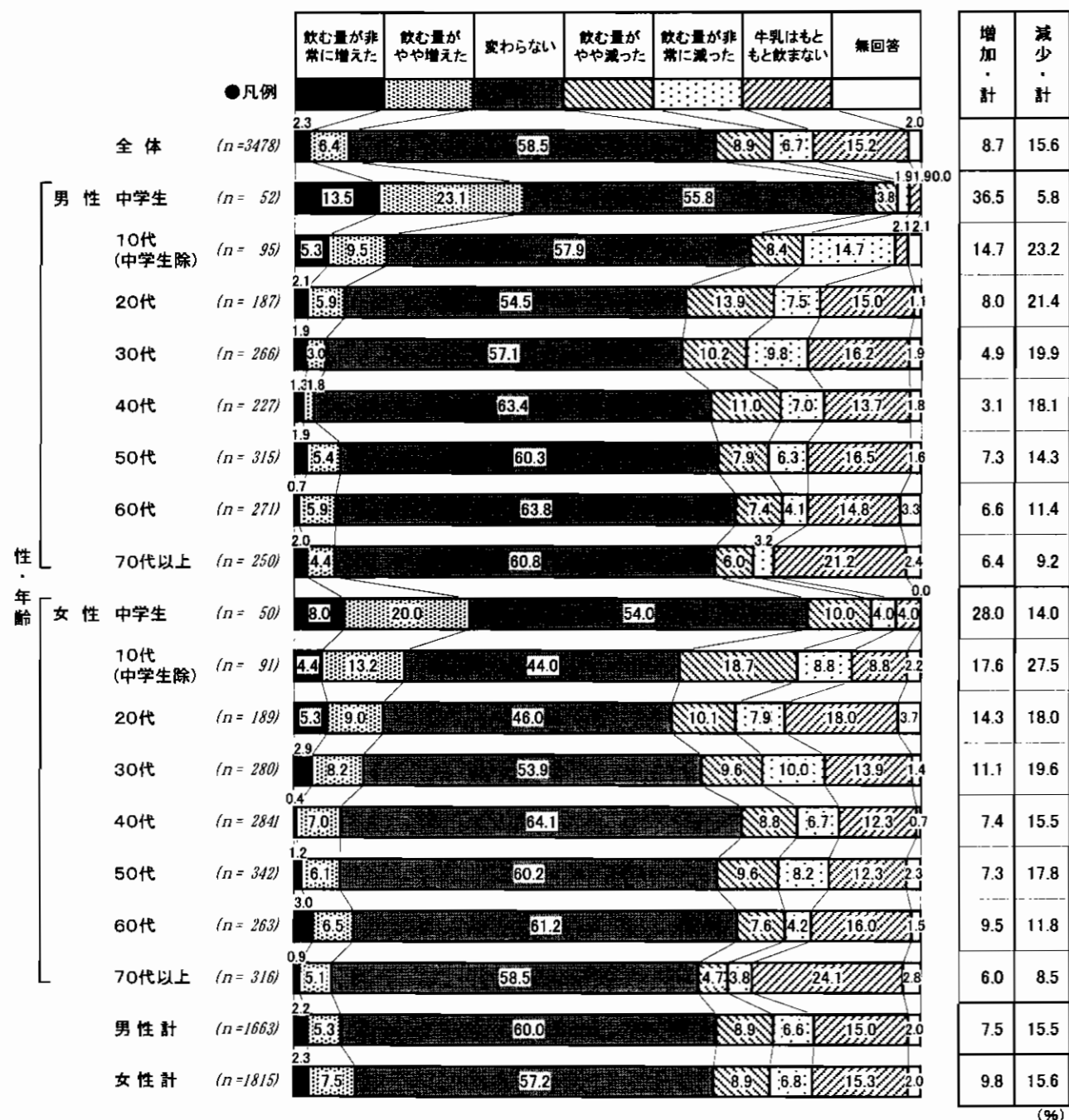
この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて聞いた。

1) そのまま飲む量の増減

そのまま飲む場合に「飲む量が減った」（「飲む量が非常に減った」+「飲む量がやや減った」）と答えた人は16%と、「飲む量が増えた」（「飲む量が非常に増えた」+「飲む量がやや増えた」）と答えた人9%を7ポイント上回っている。

「飲む量が非常に減った」に注目して性・年齢別にみると、男性の中学生を除く10代が15%で最も多い。

図表II-1-1 性・年齢別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合

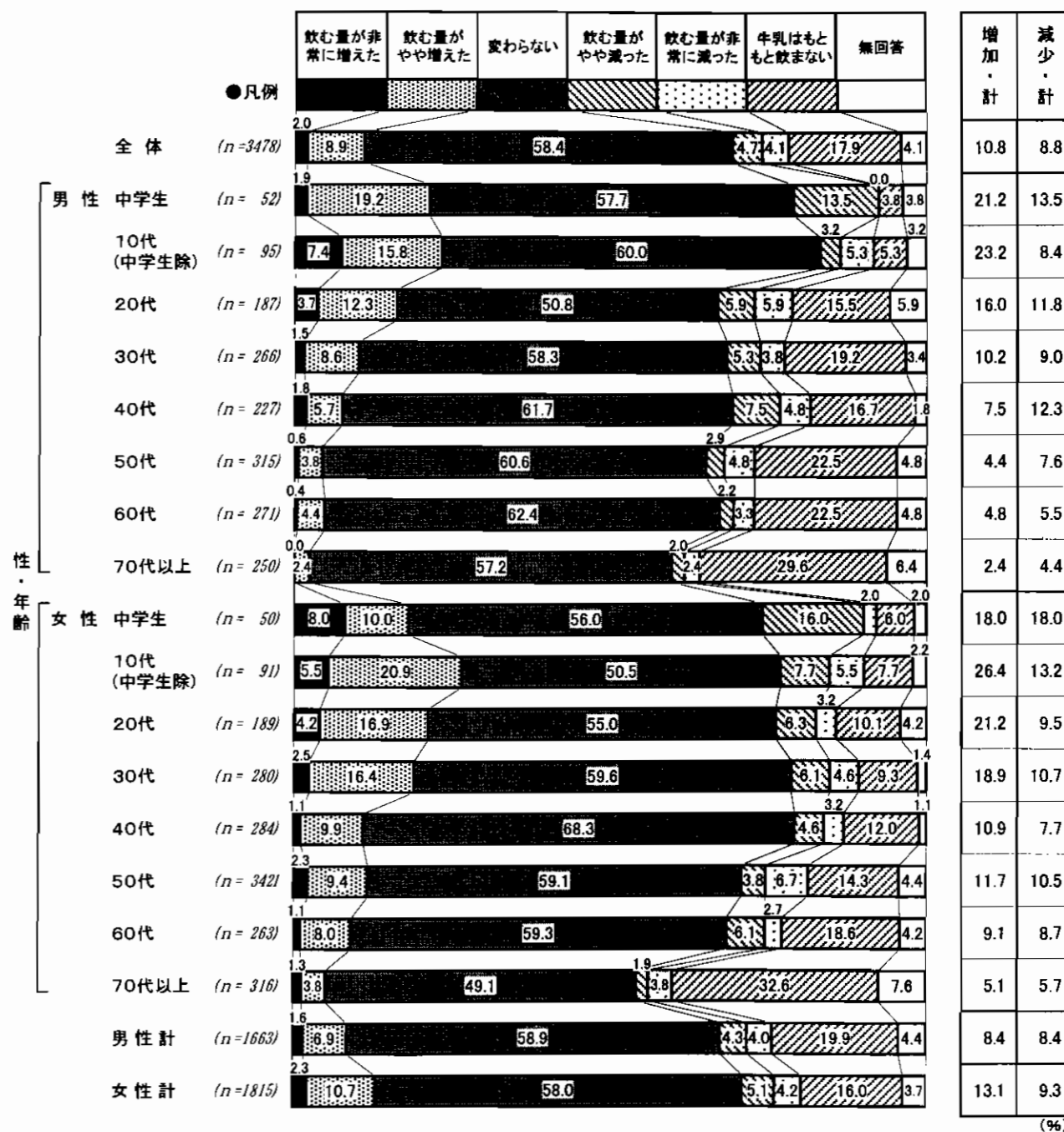


2) 混ぜて飲む量の増減

他のものと混ぜて飲む場合に、「飲む量が増えた」と答えた人は11%、「減った」と答えた人は9%で、そのまま飲む場合とは異なり、増加が減少を上回っている。

性・年齢別にみると、「飲む量が増えた」と感じている人は、女性の中学生を除く10代で26%と他の層と比較して多くなっている。また、女性の20代、男性の中学生、男性の中学生を除く10代でも2割以上が「飲む量が増えた」としている。

図表II-1-2 性・年齢別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合

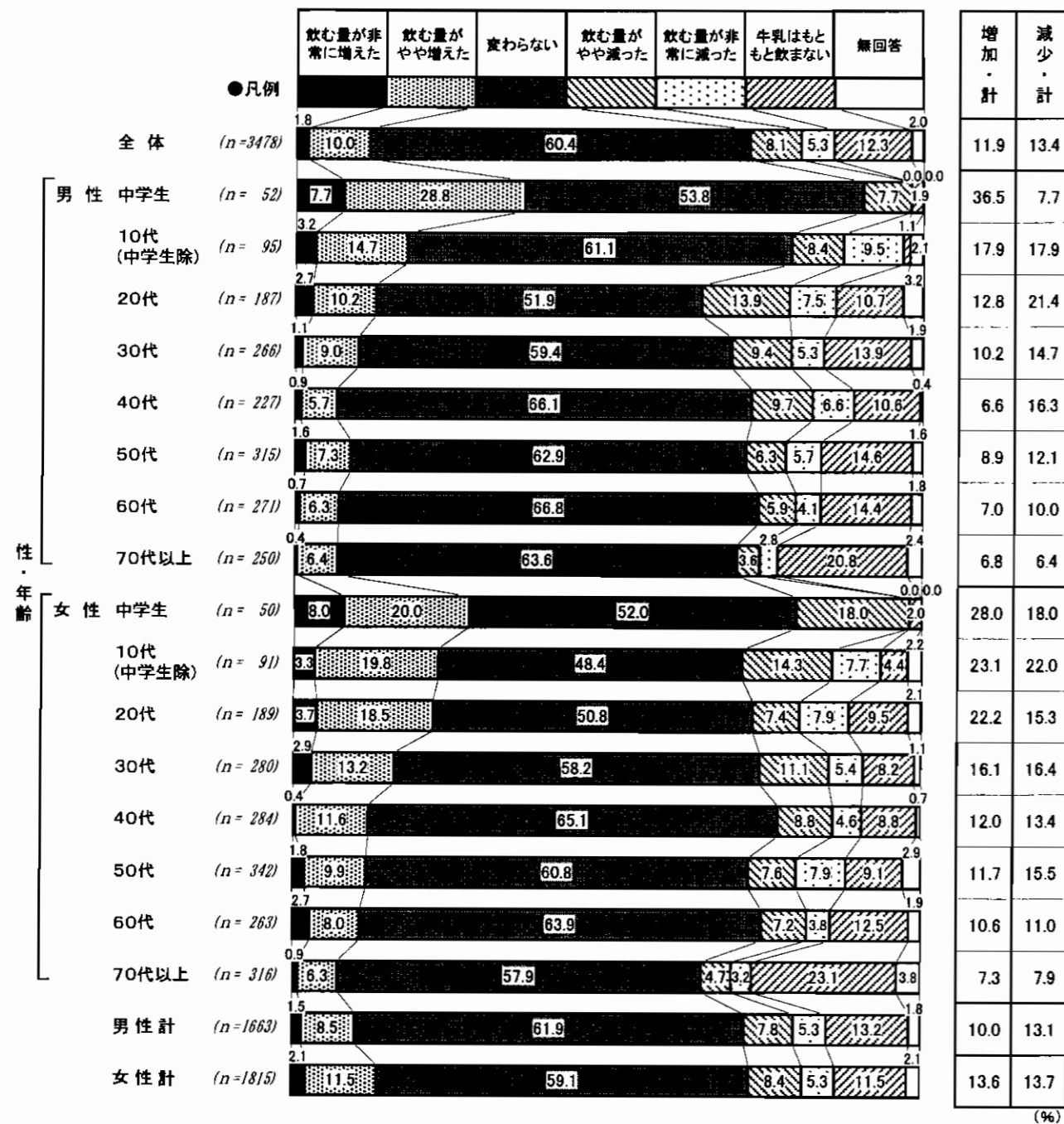


3)全体での増減

牛乳飲用全体では、「飲む量が増えた」と答えた人は12%、「飲む量が減った」と答えた人は13%でほぼ差はない。

性・年齢別にみると、「増えた」と感じている人は男性中学生で4割弱、女性の中学生で3割弱と多い。一方、男性の20代から60代のそれぞれの年代で「減った」と感じている人が「増えた」と感じている人を上回っている。特に、男性の20代では、2割以上が「減った」と感じている。女性では、40代、50代で「減った」と感じている人が「増えた」と感じている人よりやや多い。

図表II-1-3 性・年齢別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3)全体

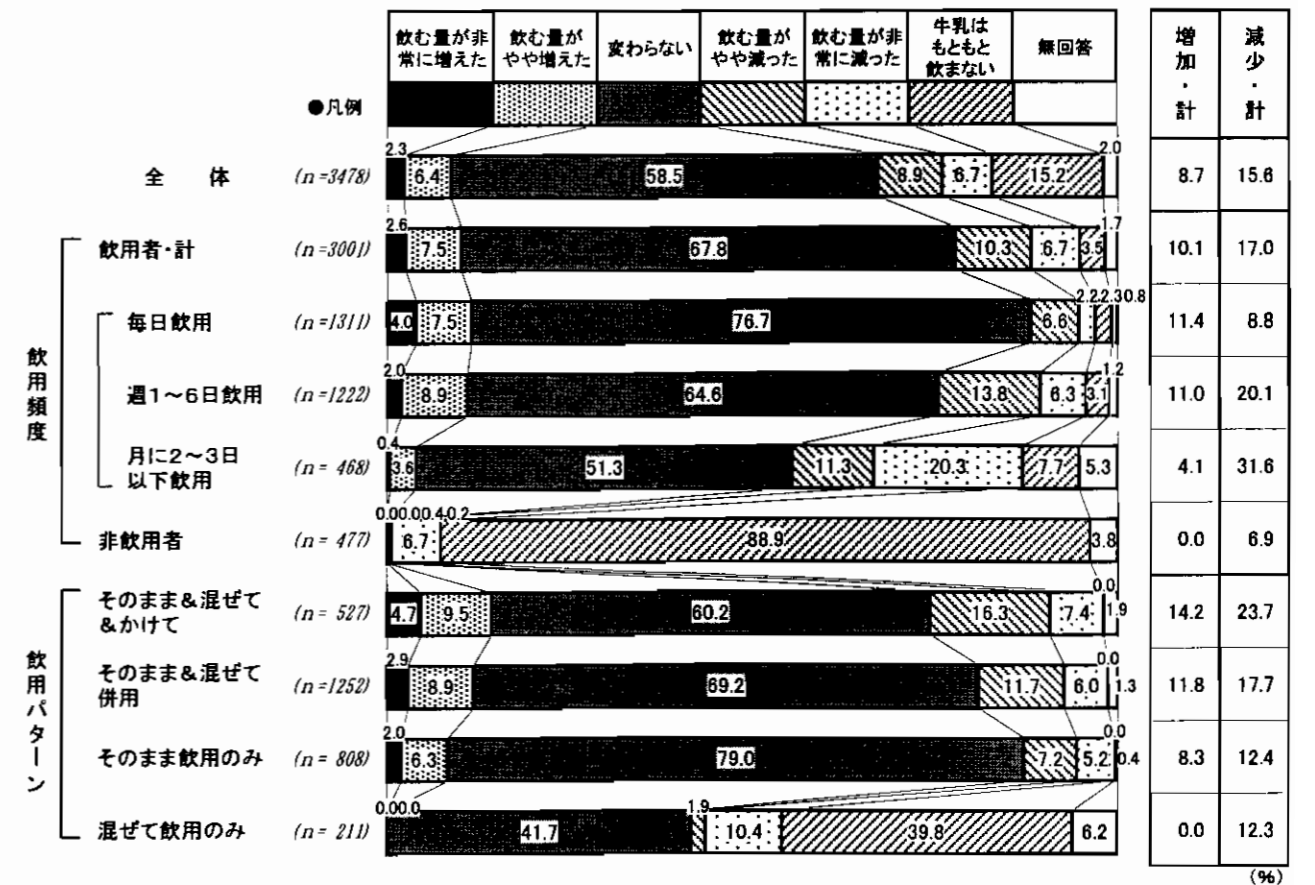


白もの牛乳類飲用行動別に、飲用量増減の感じ方をみる。

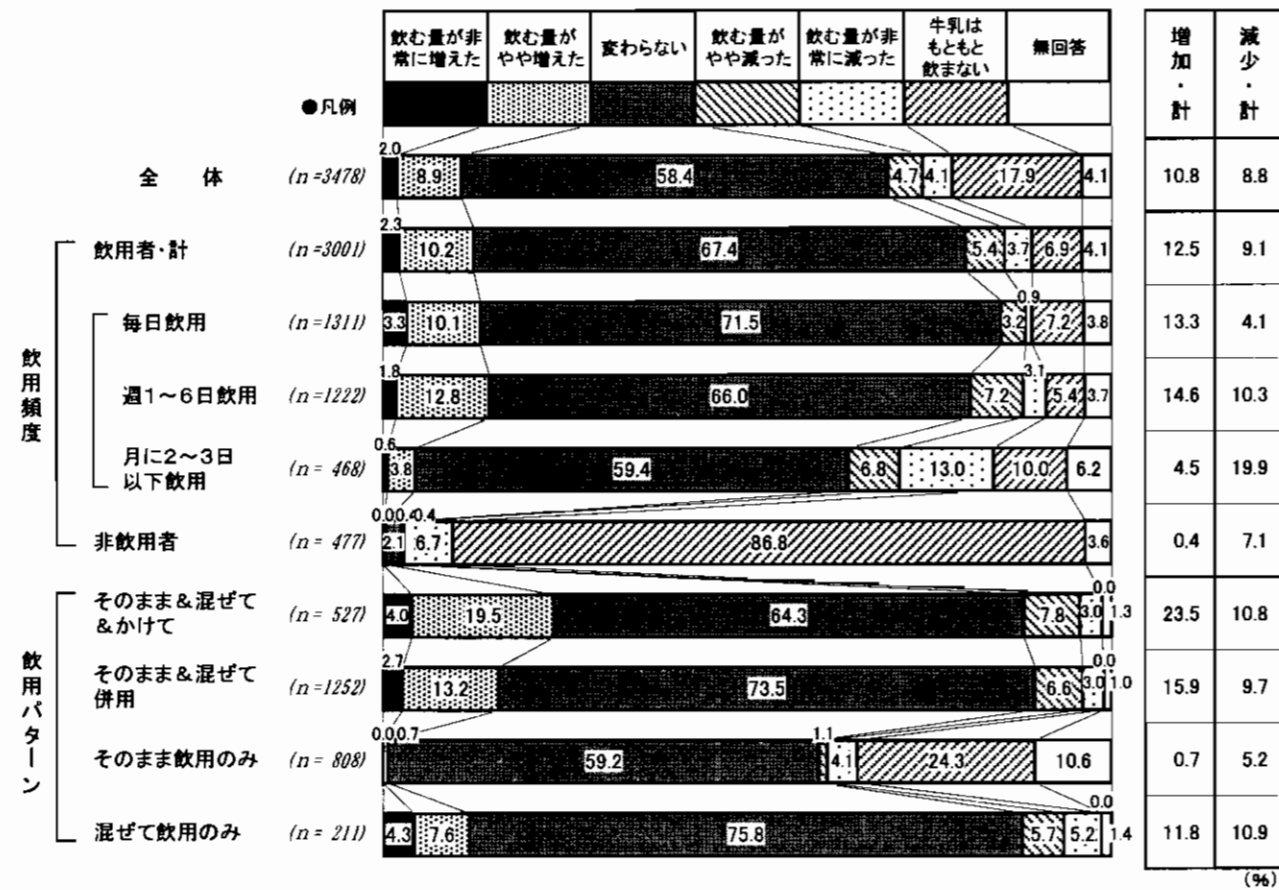
毎日飲用する人はいずれの飲み方も増加が減少を上回るが（混ぜて飲む飲み方で顕著）、週に1～6日飲用する人はそのまま飲む飲み方は減少が増加を上回るが、混ぜて飲む飲み方では増加したと感じている人のほうがやや多い。

飲用パターン別にみると、そのまま飲む量に関しては、4つのパターン共通に減少したと感じている人のほうが多い。一方、混ぜて飲む量については、そのまま飲用のみのパターンを除き増加したと感じる人のほうが多い。全体では「そのまま&混ぜて&かけて」、「そのまま&混ぜて併用」で増加したと感じる人のほうが多い。

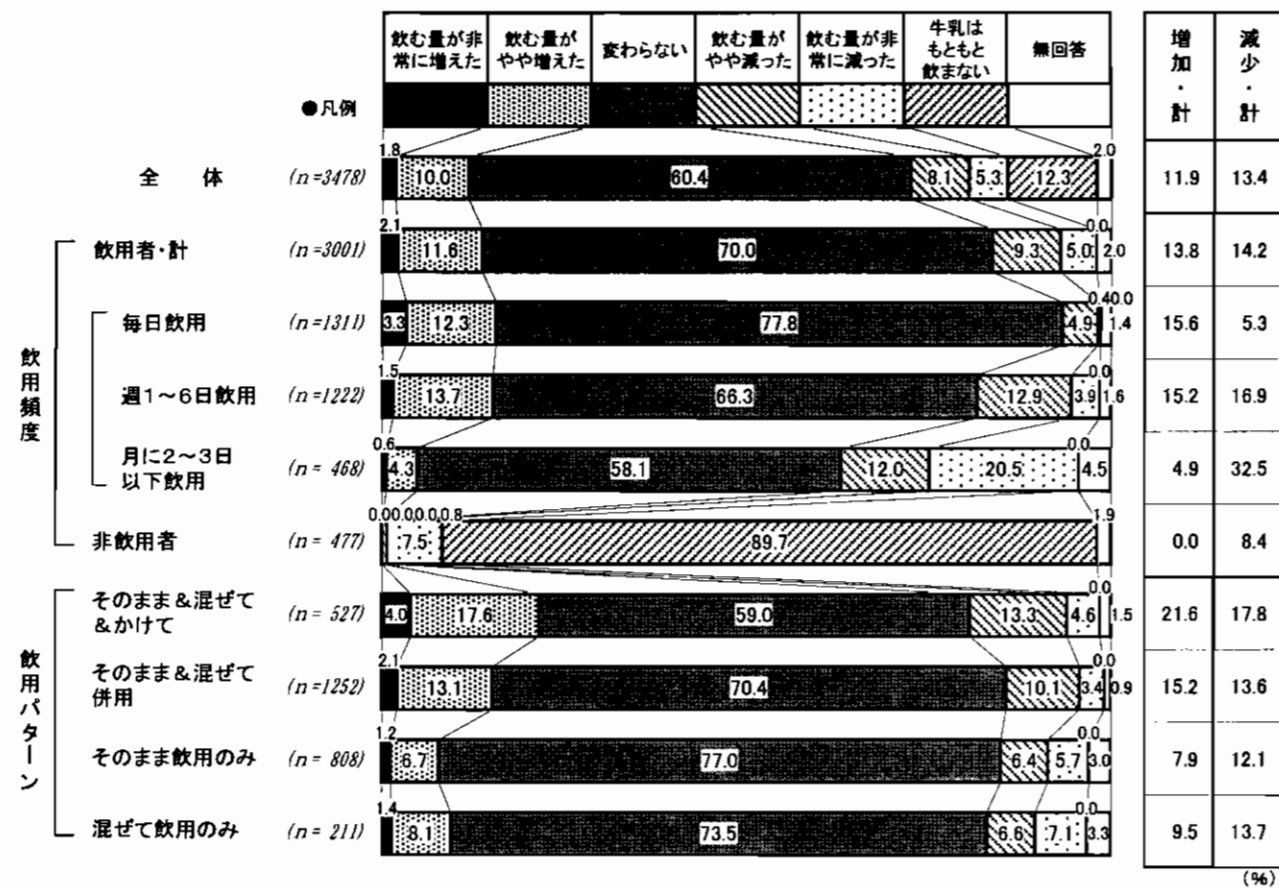
図表II-1-4 飲用行動別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1)そのまま飲む場合



図表II-1-5 飲用行動別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減(2)混ぜて飲む場合



図表II-1-6 飲用行動別 問13 白もの牛乳類の飲用量の増減(3)全体



2. 白もの牛乳類の飲用量の減少理由

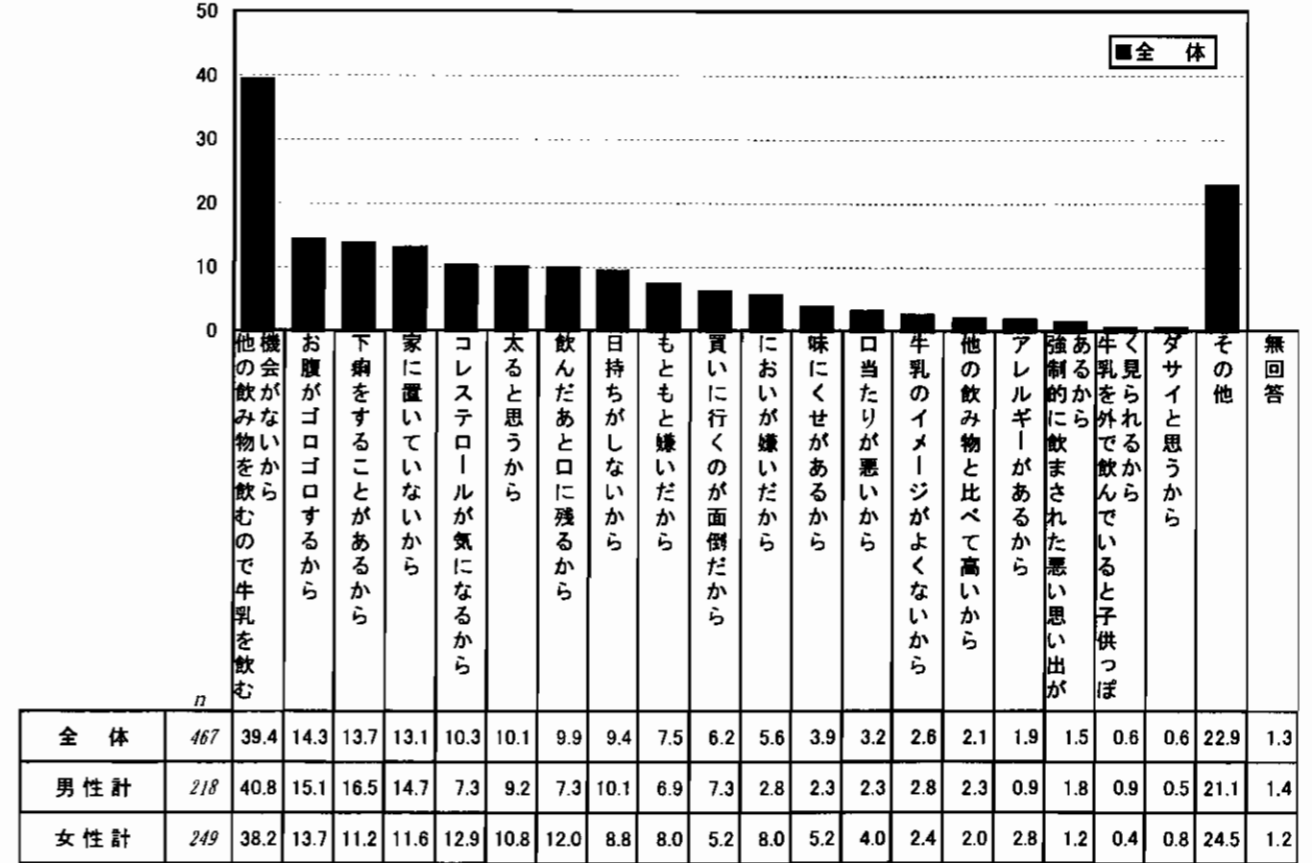
白もの牛乳類を飲む量が全体として減ったと感じている人に、この1年間に飲む量が減った理由を聞いた。最も多い理由は、「他の飲み物を飲むので牛乳を飲む機会が少ないから」(39%)である。

男女とも「他の飲み物を飲む」が圧倒的に多いが、これ以外の理由では、「下痢をすることがあるから」「お腹がゴロゴロするから」は男性の方が多く、「コレステロールが気になるから」「太ると思うから」「飲んだあと口に残るから」は女性の方が多くなっている。

2005年の結果と比べてみると、「他の飲み物を飲むので牛乳を飲む機会が少ないから」と答えた人の割合が6ポイント減少している一方、「太ると思うから」とした人の割合は2ポイント上昇している。

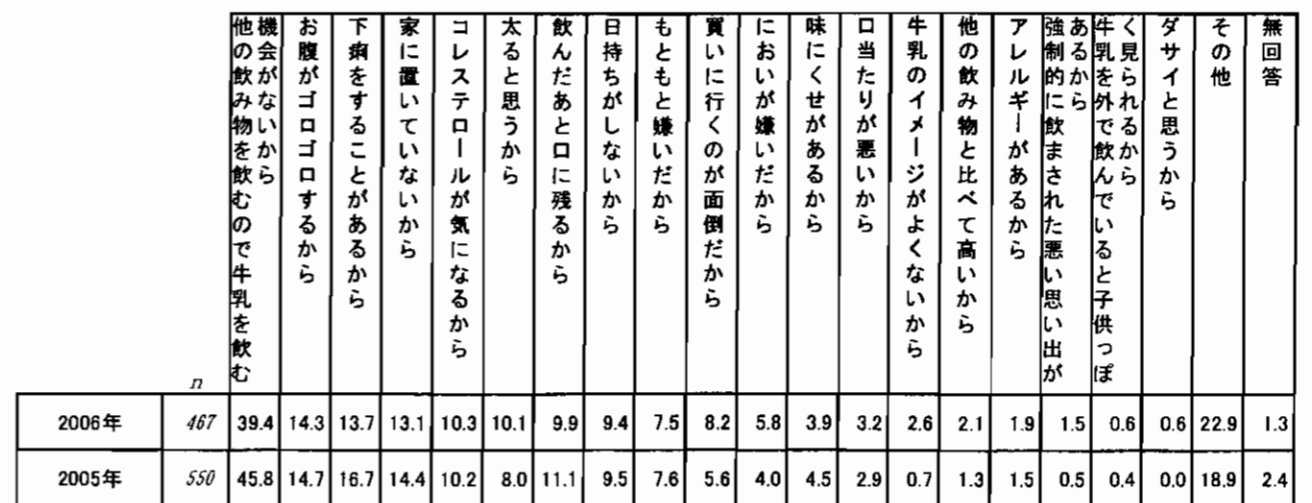
図表II-2-1 性別 問14 白もの牛乳類の飲用量が減った理由(MA)

<飲用量が減ったと感じる人ベース>



図表II-2-2 時系列 問14 白もの牛乳類の飲用量が減った理由(MA)

<飲用量が減ったと感じる人ベース>



Ⅲ 白もの牛乳類の購入実態

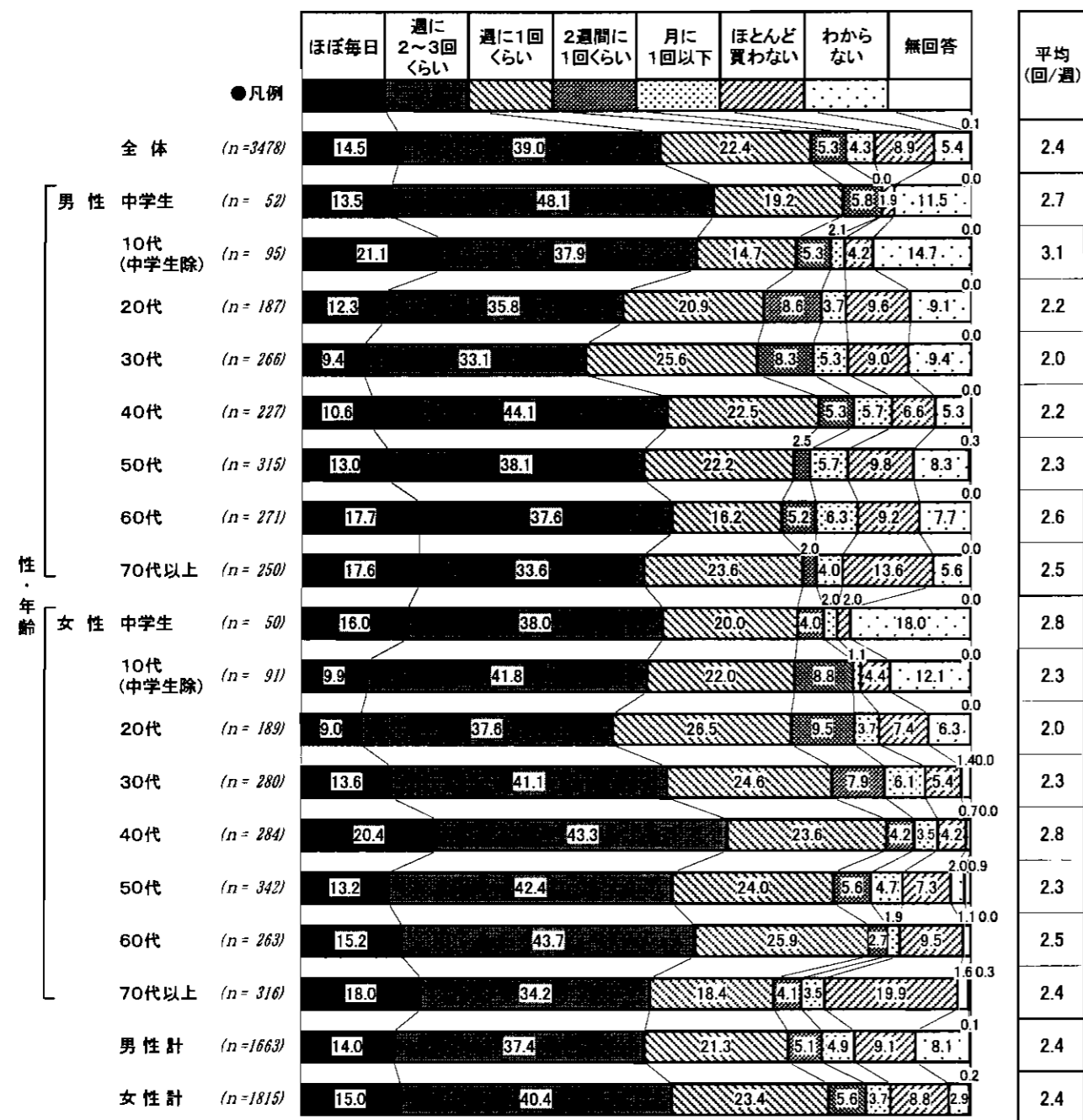
1. 白もの牛乳類の購入頻度

世帯として白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入するかを聞いた。

「ほぼ毎日」が15%、「週に2～3回くらい」が39%で最も多く、「週に1回くらい」が22%となっている。

男性の中学生を含む10代と、女性の40代では、「ほぼ毎日」「週に2～3回くらい」白もの牛乳類を購入する比率が60%前後にのぼり、他の層と比較して最も多い。

図表Ⅲ-1-1 性・年齢別 問17 白もの牛乳類を購入する頻度



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の購入頻度の推移をみる。

図表Ⅲ-1-2 時系列 問17 白もの牛乳類を購入する頻度

年	n	ほぼ毎日	週に2～3回くらい	週に1回くらい	2週間に1回くらい	月に1回以下	ほとんど買わない	無回答
2006年	3478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5
2005年	3896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1
2004年	4177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4
2001年	4778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7
2000年	4632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5
1999年	4476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1
1998年	4472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3
1997年	4547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3
1996年	4706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4
1995年	4668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7
1994年	4617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3
1993年	4553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7
1992年	4651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0
1991年	4714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6
1990年	4691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7
1989年	4579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0
1988年	4604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5

※2001年までは主婦役割主担当者が回答
 ※2004年、2005年、2006年の無回答は、「わからない」+「無回答」

(%)

IV ふだんよく飲む飲み物

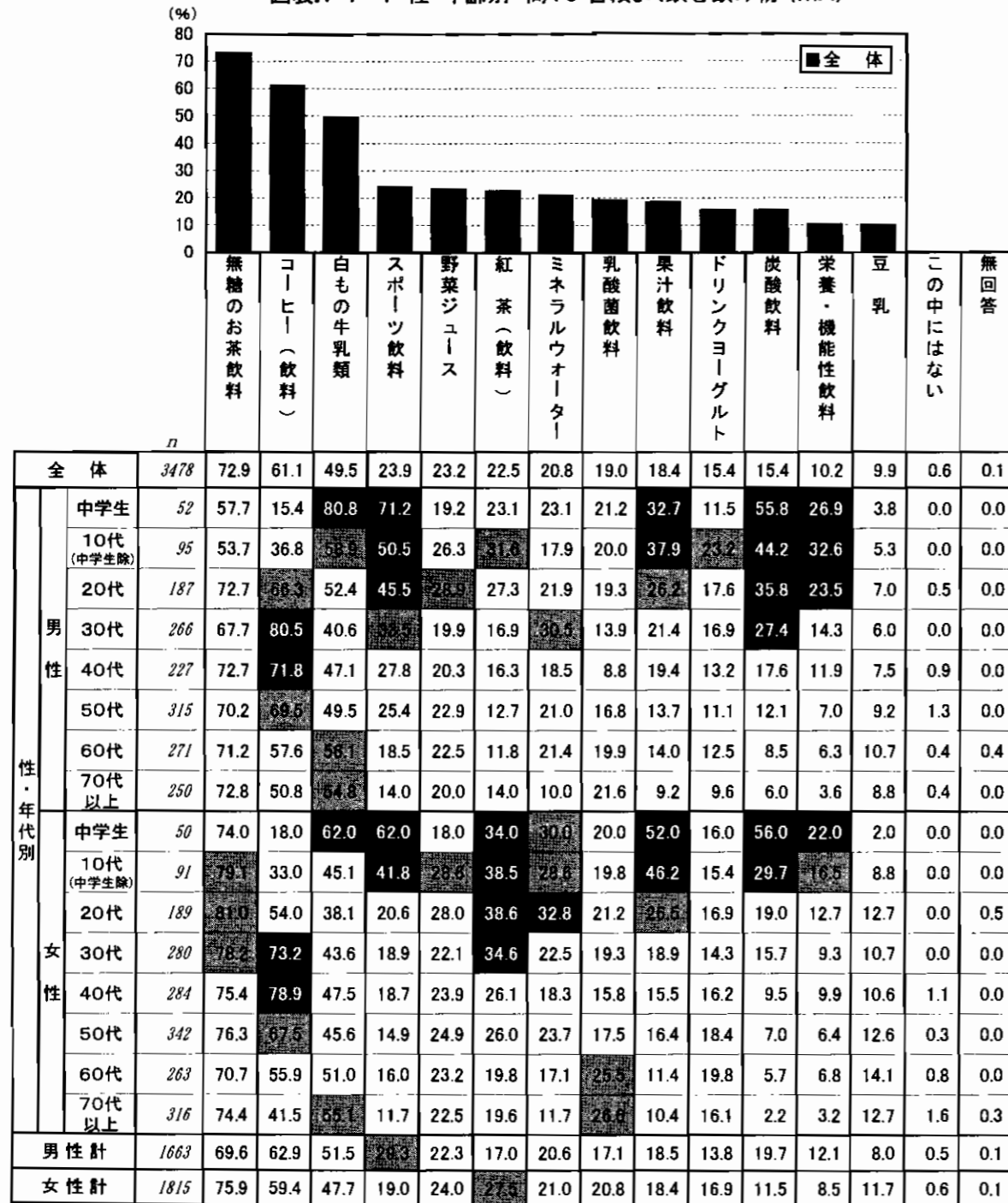
1. ふだんよく飲む飲み物

ふだんよく飲む飲み物の種類を聞いた。

全体では「無糖のお茶飲料」が73%と、他の飲料物に比べ最も高く、次いで「コーヒー（飲料）」の61%、「白もの牛乳類」の50%となっている。

性・年齢別にみると、女性は男性よりも「紅茶（飲料）」の比率が10ポイント以上高い。一方、「スポーツ飲料」は男性の飲用率が女性に比べ10ポイント以上高い。男女ともに30代、40代は「コーヒー（飲料）」の飲用率が全体より10ポイント以上高く、また男女中学生では「白もの牛乳類」「スポーツ飲料」「果汁飲料」「炭酸飲料」「栄養・機能性飲料」が全体より10ポイント以上高い。

図表IV-1-1 性・年齢別 問15 普段よく飲む飲み物 (MA)



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

下の表は、「白もの牛乳類」「コーヒー（飲料）」「無糖のお茶飲料」をふだんよく飲む人が、他に何をよく飲んでいるかをみたものである。

「白もの牛乳類」「コーヒー（飲料）」「無糖のお茶飲料」それぞれをよく飲む人の併飲状況を比較すると、「白もの牛乳類」をよく飲む人では、「コーヒー（飲料）」と「無糖のお茶飲料」を6割以上が飲んでいる。「白もの牛乳類」をよく飲む人は、「コーヒー（飲料）」や「無糖のお茶飲料」をよく飲む人に比べ、「スポーツ飲料」「野菜ジュース」「ドリンクヨーグルト」の併飲が若干多めで、「紅茶（飲料）」の併飲が少なめである。

「コーヒー（飲料）」「無糖のお茶飲料」をふだんよく飲む人の「白もの牛乳類」との併飲は5割以下である。「コーヒー（飲料）」と「無糖のお茶飲料」の併飲状況はほぼ同じである。

図表IV-1-2 問15 普段よく飲む飲み物上位3項目の併飲状況 (MA)

	n	無糖のお茶飲料	コーヒー（飲料）」	白もの牛乳類	スポーツ飲料	野菜ジュース	紅茶（飲料）」	ミネラルウォーター	乳酸菌飲料	果汁飲料	ドリンクヨーグルト	炭酸飲料	栄養・機能性飲料	豆乳	この中にはない	無回答
全体	3478	72.9	61.1	49.5	23.9	23.2	22.5	20.8	19.0	18.4	15.4	15.4	10.2	9.9	0.6	0.1
白もの牛乳類	1721	69.8	60.1	100.0	26.1	25.5	20.9	19.9	20.7	18.9	18.0	14.2	10.5	11.8	-	-
コーヒー（飲料）」	2125	71.6	100.0	48.7	24.9	22.8	25.2	21.0	19.1	18.5	15.9	16.2	11.3	9.6	-	-
無糖のお茶飲料	2535	100.0	60.0	47.4	23.2	24.3	25.2	21.2	19.4	19.9	16.1	15.1	10.9	10.1	-	-

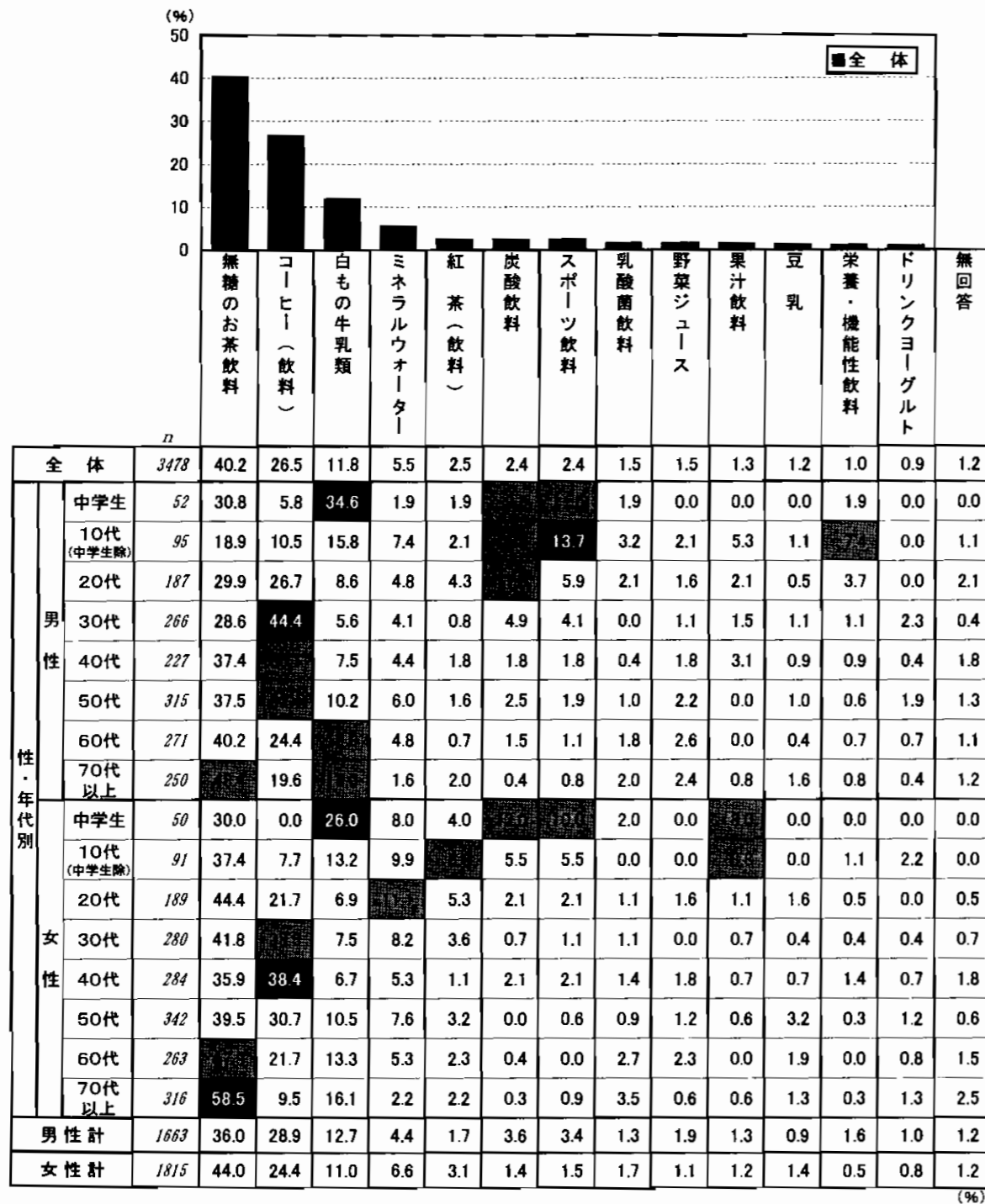
2. ふだん最もよく飲む飲み物

ふだんよく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを聞いた。

全体では「無糖のお茶飲料」が40%、次いで「コーヒー（飲料）」の27%となっている。

性・年齢別にみると、60代女性、70代以上男女の「無糖のお茶飲料」の比率は、全体より5～10ポイント以上高い。一方、「コーヒー（飲料）」は男女ともに30代、40代と男性の50代の割合が高く、3割以上となっている。男女ともに中学生は「白もの牛乳類」の割合が他の層より高い。

図表IV-2-1 性・年齢別 問16 最もよく飲む飲み物



■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

参考に、普段よく飲む飲み物を2002年、2005年と比べると、2002年、2005年は「白もの牛乳類」と並んでいた「コーヒー（飲料）」が、今回は「白もの牛乳類」を上回っている。

図表IV-2-2 時系列 問15 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2006年	3478	49.5	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3896	64.0	22.7		27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1		29.4	0.4	0.1
2002年	4277	67.9	19.5		28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9		30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし
 ※02年、05年は、06年とは質問形式が異なる

(%)

図表IV-2-3 時系列 問16 最もよく飲む飲み物

	n	白もの牛乳類	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2006年	3478	11.8	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3877	15.4	0.6		0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3		4.8	0.1
2002年	4259	15.2	0.5		1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8		2.5	0.5

※斜線はデータなし
 ※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース
 ※02年、05年は、06年とは質問形式が異なる

(%)

V 白もの牛乳類を使った料理の実態

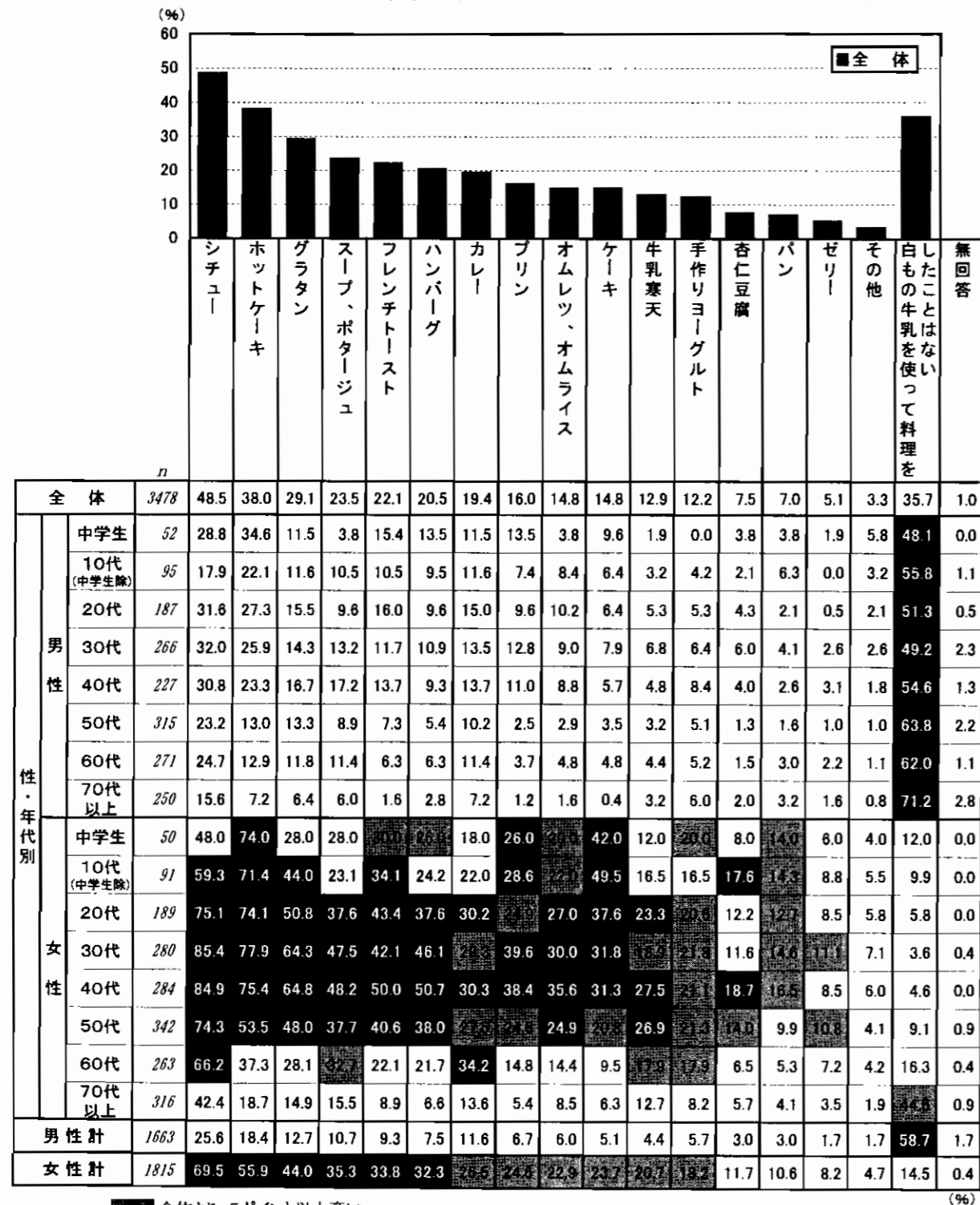
1. 白もの牛乳類を使って作る料理

白もの牛乳類を使って作ったことがある料理やデザート・お菓子を聞いた。

全体では「シチュー」が49%、次いで「ホットケーキ」38%、「グラタン」29%となっている。

女性では、「シチュー」70%、「ホットケーキ」56%、「グラタン」44%で、「スープ、ポタージュ」「フレンチトースト」「ハンバーグ」が3割強で続く。女性の8割強が白もの牛乳類を使った料理の経験者である。男性では、白もの牛乳類を使った料理の経験者は4割ほどである。

図表V-1 性・年齢別 問18 白もの牛乳類を使った料理の経験(MA)



■ 全体より5ポイント以上高い
■ 全体より10ポイント以上高い

2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

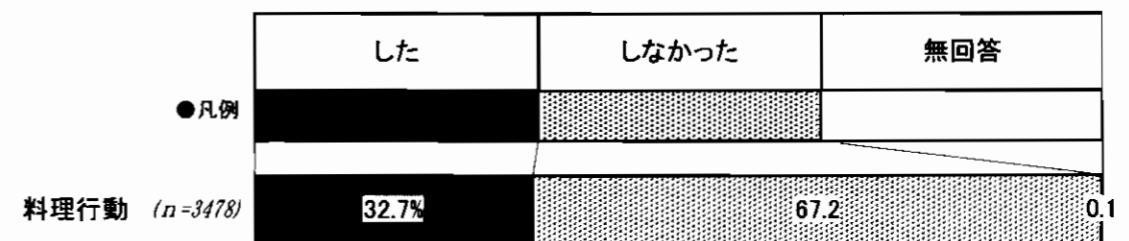
白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを聞いた。次に、料理を作ったと回答した人には、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を聞いた。

全体では、白もの牛乳類を使って料理をした比率は33%である。

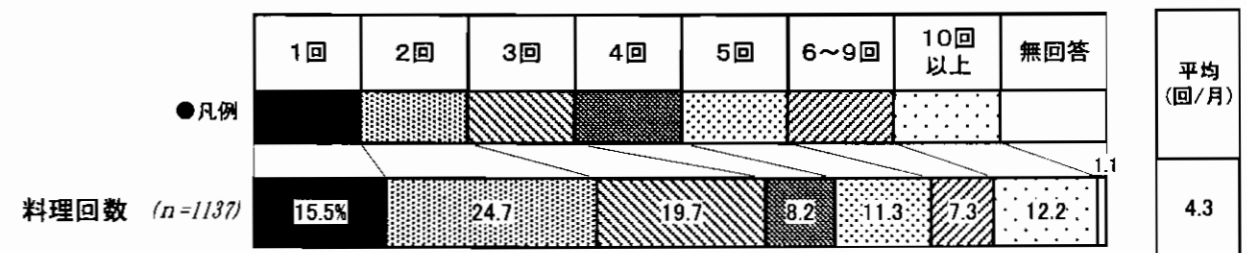
料理回数は「2回」(25%)とする人が最も多く、「3回」(20%)「1回」(16%)と続く。平均料理回数は4.3回である。

白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ(200cc)」とする人が25%で最も多く、次いで「1ℓ以上」が21%である。平均使用量は435mlである。

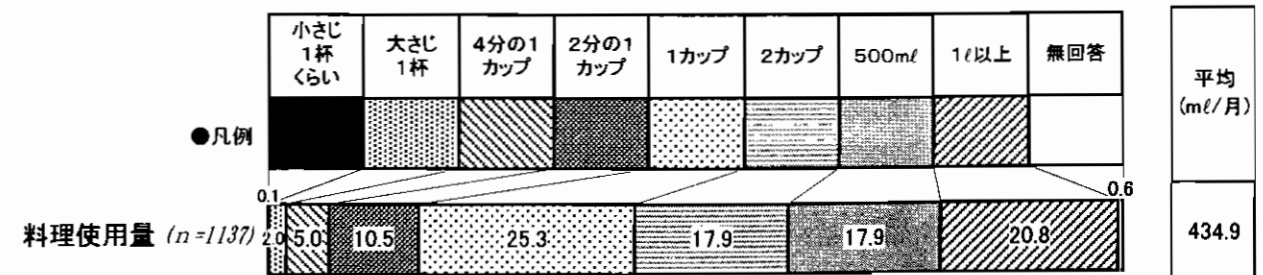
図表V-2-1 問19 白もの牛乳類を使った料理行動



図表V-2-2 問19-1 白もの牛乳類の料理回数 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

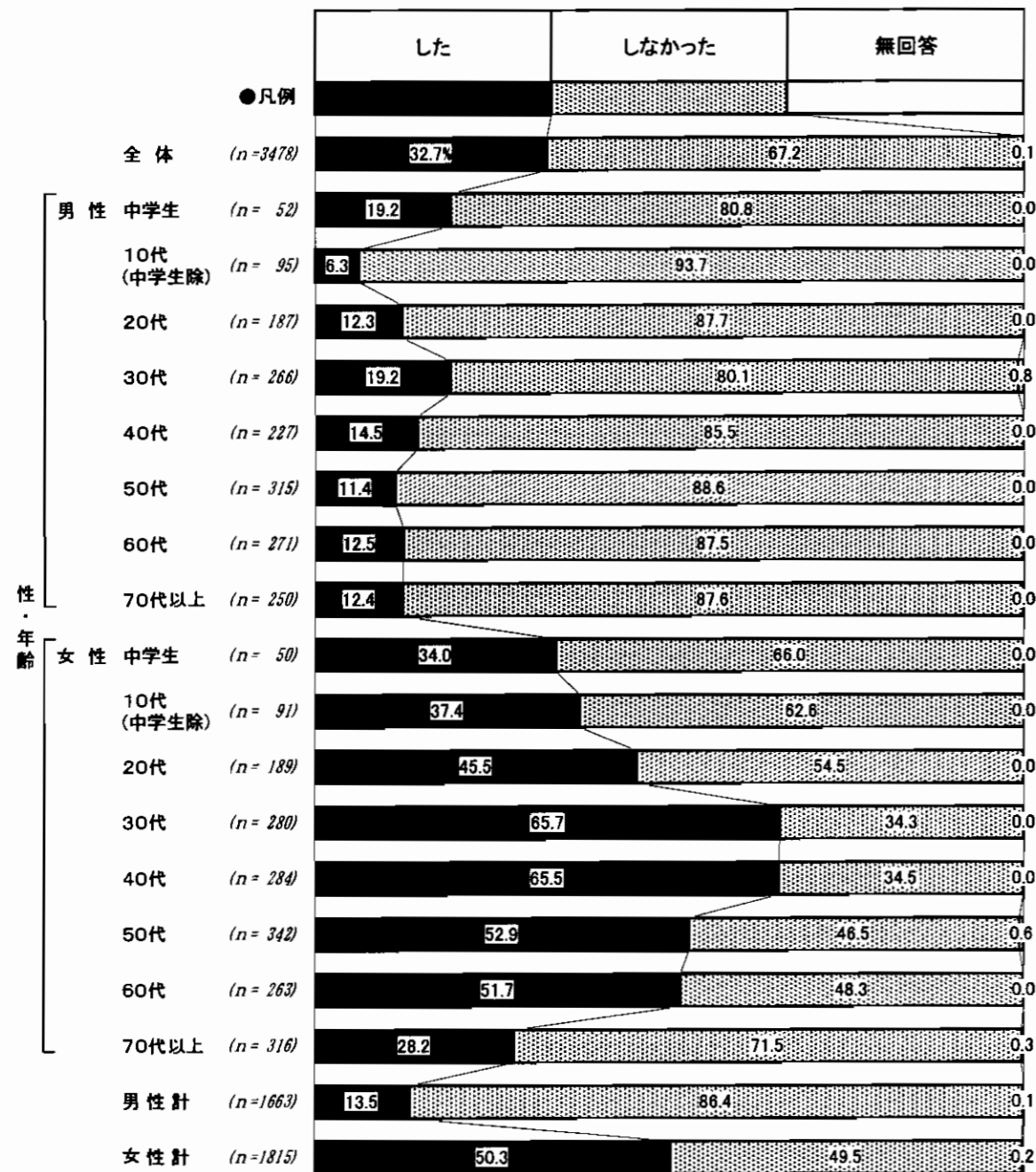


図表V-2-3 問19-3 白もの牛乳類の料理使用量 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



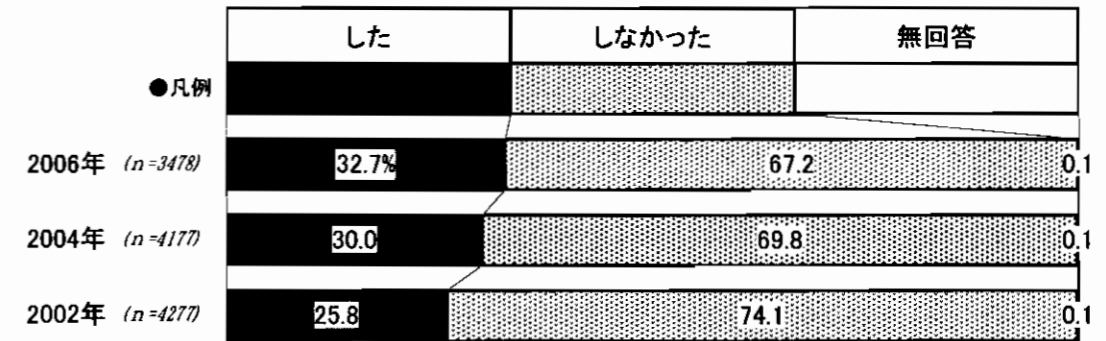
調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使った料理をした割合を性・年齢別にみると、男性では中学生と30代で約20%と比較的高く、女性では50%が料理をしており、なかでも30代、40代では66%と高い。

図表V-2-4 性・年齢別 問19 白もの牛乳類を使った料理行動



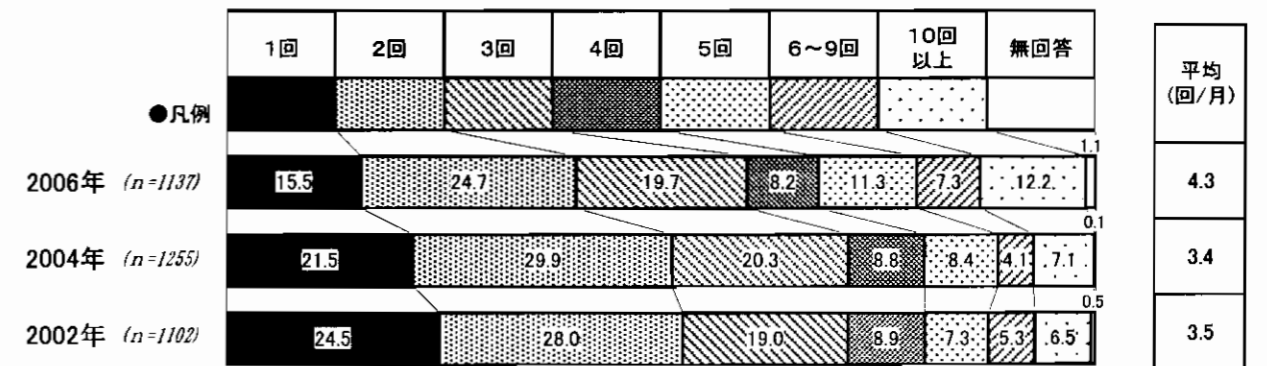
2004年と比較すると、白もの牛乳類を使った料理の調査時点1ヶ月間の実施率、料理実施者ベースの料理回数、牛乳使用量はいずれも増加している。

図表V-2-5 時系列 問19 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動



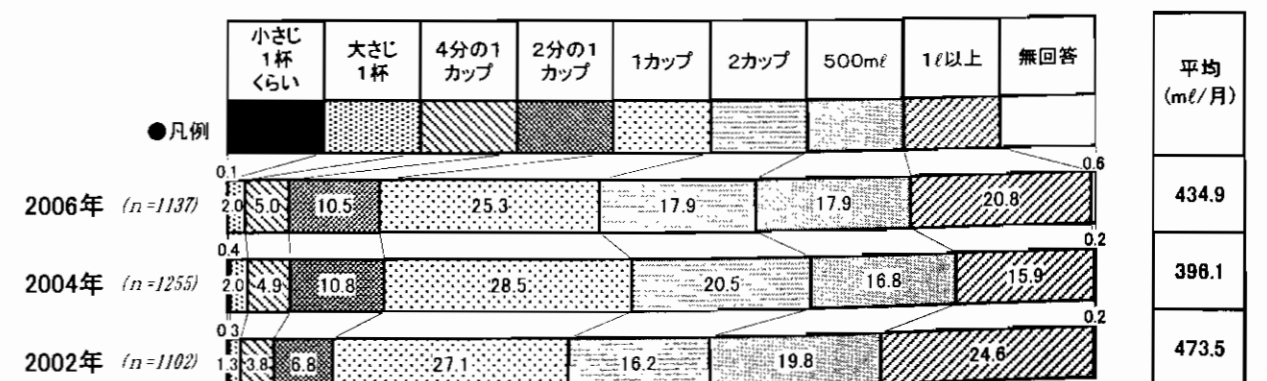
図表V-2-6 時系列 問19-1 白もの牛乳類の料理回数

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



図表V-2-7 時系列 問19-3 白もの牛乳類の料理使用量

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

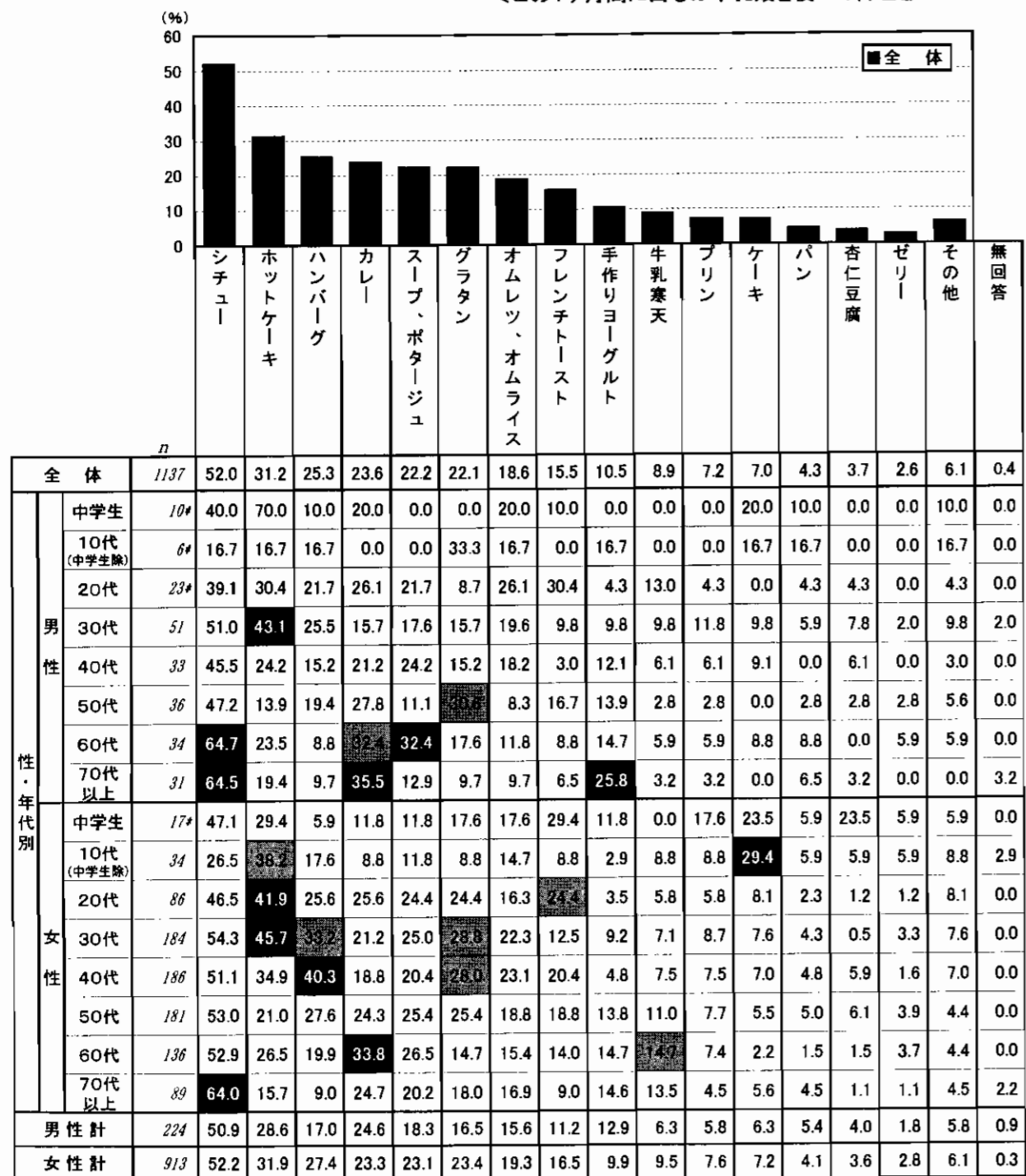


3. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理

調査時点の1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人にその種類を聞いた。

全体では「シチュー」が52%、「ホットケーキ」が31%、「ハンバーグ」が25%となっている。

図表V-3 性・年齢別 問19-2 この1ヶ月の牛乳を使った料理(MA)
 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。
 n(サンプル数)が30以上の場合、
 ■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

VI 乳製品の飲食実態

1. ヨーグルトの飲食状況

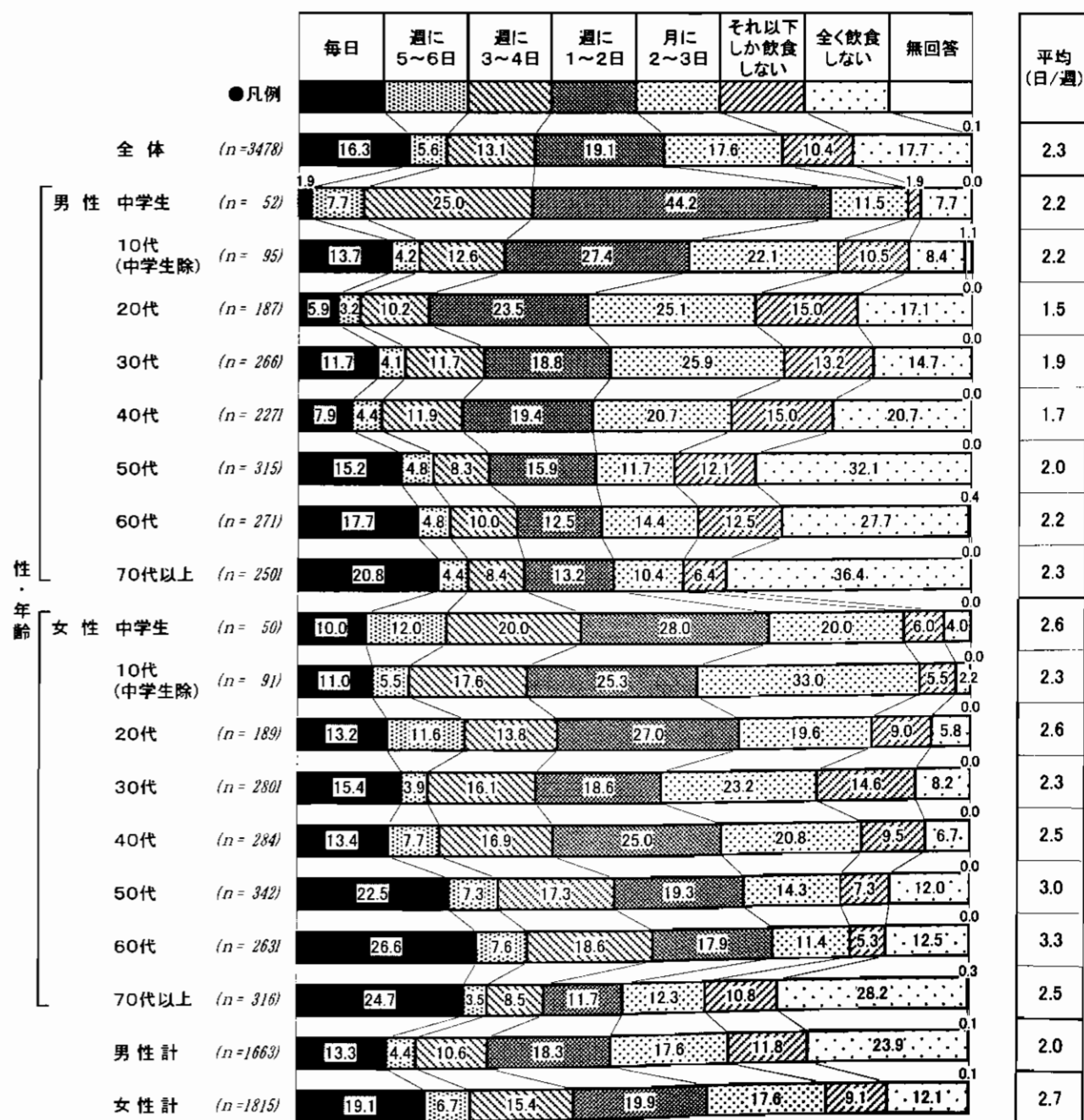
1) ヨーグルトの飲食頻度

日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを聞いた。

「毎日」食べる人は16%であり、週に1日以上食べる人は約4割を占める。一方「全く食べない」という人は18%である。

性・年齢別にみると、女性の50代、60代、男女ともに70代以上で「毎日」食べる比率が2割強と他の層に比べて高い。

図表VI-1-1 性・年齢別 問20 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度



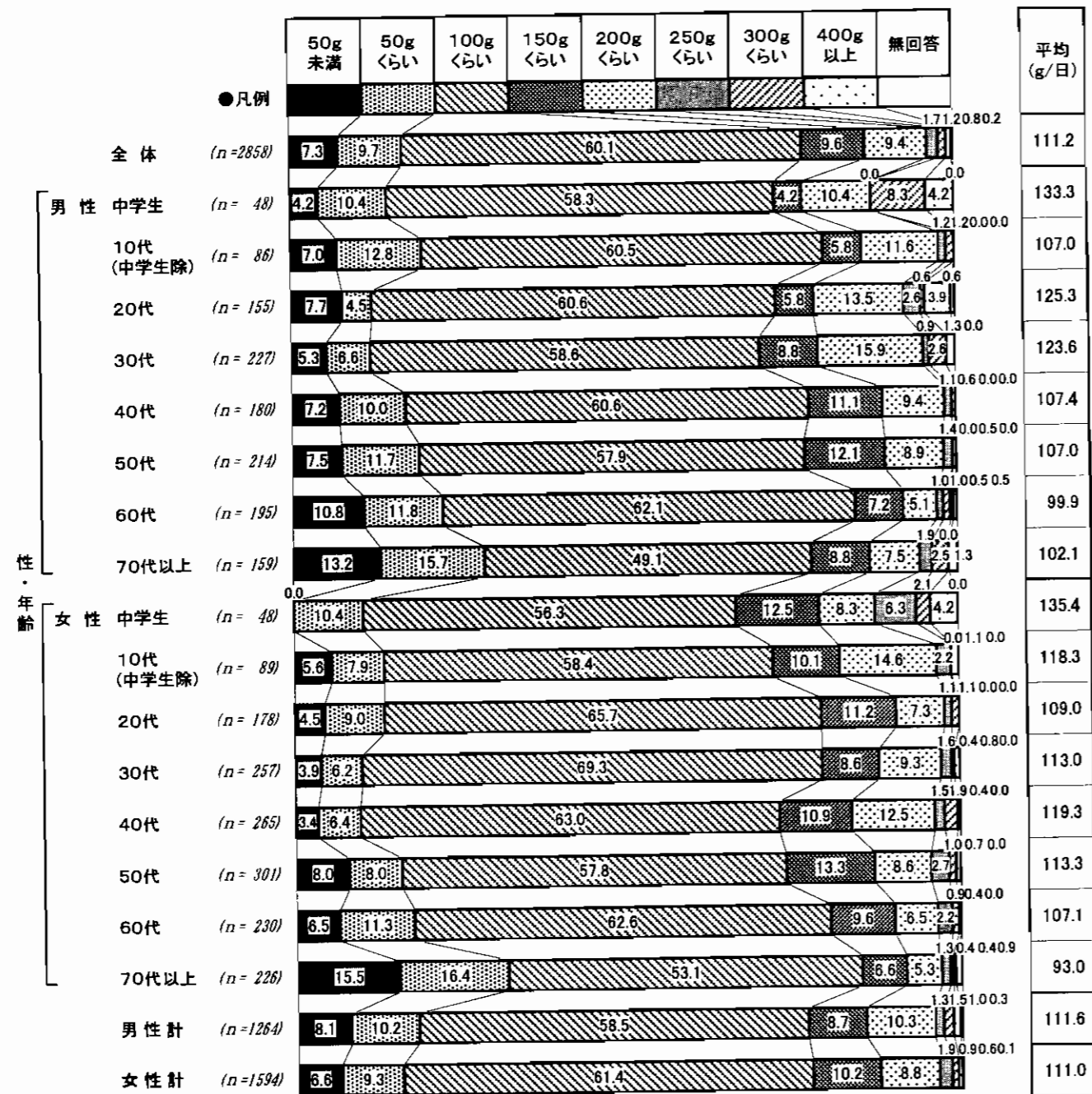
2) ヨーグルトの飲食量

ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食量を聞いた。

全体では「100gくらい」と答えた人が60%を占め、平均では一日に合計111gとなっている。

性・年齢別にみると、男女とも中学生の平均飲食量が他の層に比べて多く、特に女性の中学生では135gと最も多い。

図表VI-1-2 性・年齢別 問21 ヨーグルトを飲食するとき1日に飲食する量 <飲食者ベース>



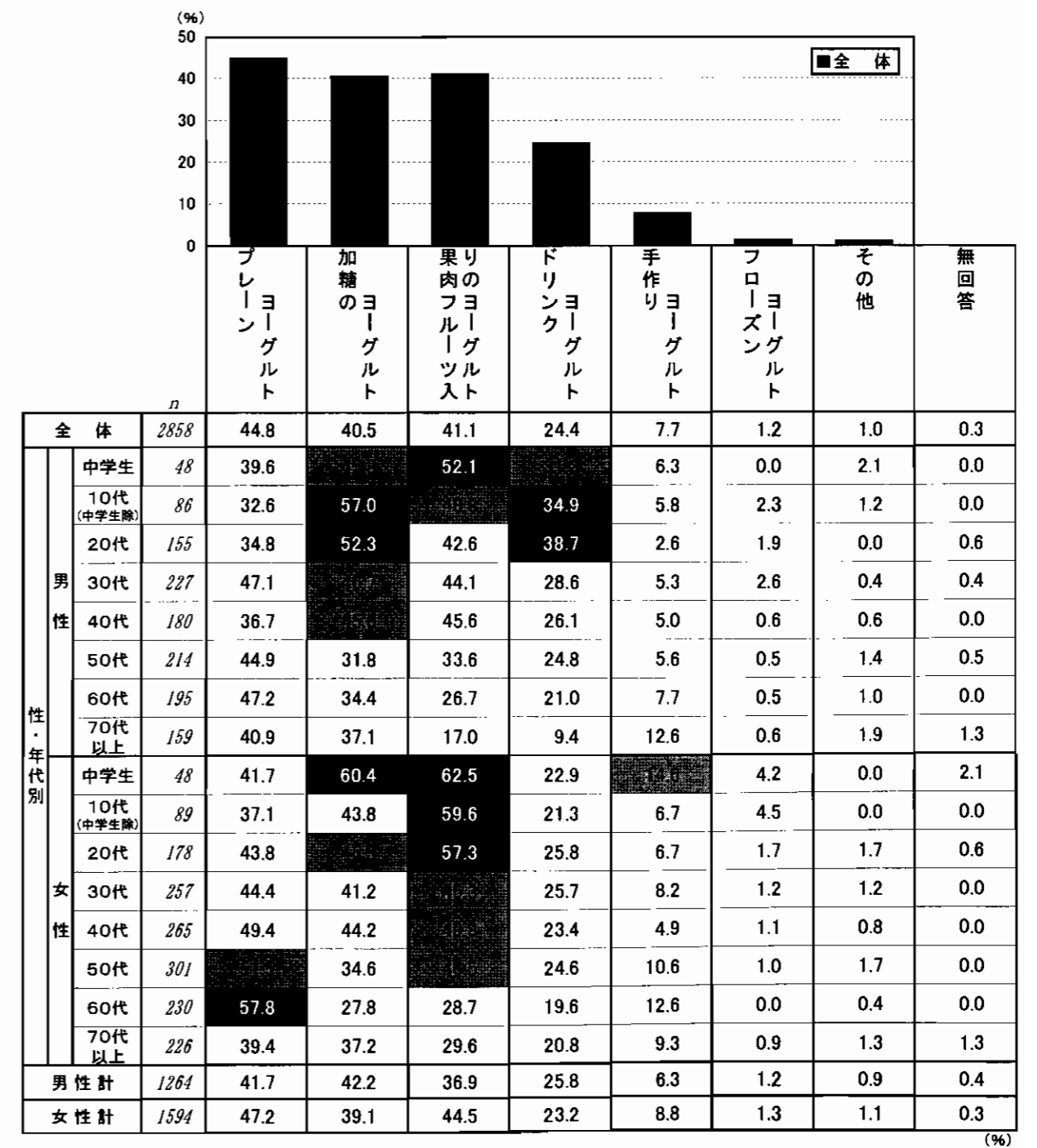
3) ヨーグルトのタイプ

ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを聞いた。

「プレーンヨーグルト」（45%）が最も多く、次いで「果肉フルーツ入りのヨーグルト」（41%）「加糖のヨーグルト」（41%）の順に多い。

性・年齢別にみると、男性の中学生を含む10代から40代まで「加糖のヨーグルト」の飲食が多く、女性の中学生を含む10代から50代では「果肉フルーツ入りのヨーグルト」の飲食が多い。50代60代女性の「プレーンヨーグルト」の割合は5割以上で他の年代層より比較的多い。

図表VI-1-3 性・年齢別 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



■ 全体より5ポイント以上高い
■ 全体より10ポイント以上高い

2005年に比べ2006年のヨーグルトの飲食頻度は、「全く飲食しない」人が3ポイント増加している。
ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量の変化はほとんどみられない。

飲食するヨーグルトのタイプは、2005年に比べ「果肉フルーツ入りヨーグルト」が5ポイントほど減少している。

図表VI-1-4 時系列 問20 日頃ヨーグルトを飲食する頻度

	n	毎日 食べ/飲む	週に5~6日 食べる/飲む	週に3~4日 食べる/飲む	週に1~2日 食べる/飲む	月に2~3日 食べる/飲む	それ以下しか 飲食しない	全く 飲食しない	無回答
2006年	3478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1
2005年	3896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1

(%)

図表VI-1-5 時系列 問21 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量 <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	50g未満	50gくらい	100gくらい	150gくらい	200gくらい	250gくらい	300gくらい	400g以上	無回答
2006年	2858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2
2005年	3324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2

(%)

図表VI-1-6 時系列 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	プレーン ヨーグルト	加糖の ヨーグルト	果肉フルー ツ入りのヨー グルト	ドリンク ヨーグルト	手作り ヨーグルト	フローズン ヨーグルト	その他	無回答
2006年	2858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2
2003年	3492	44.7	45.4	45.2	26.8	17.5		1.1	0.2
1997年	3686	46.4	44.7	39.4	41.0			1.4	0.6

※斜線はデータなし

(%)

VII 生活の中の白もの牛乳類

1. 「3-A-Day」について

1) 「3-A-Day」の認知状況

「3-A-Day」についての説明文を読んでもらい、認知や実践状況を聞いた。

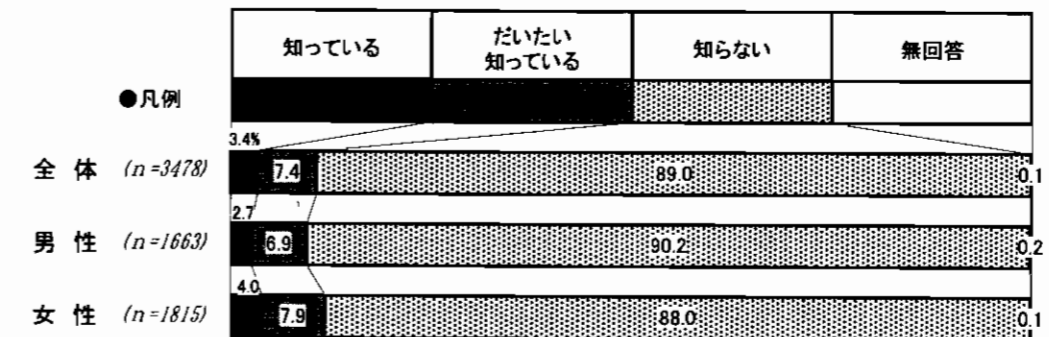
「3-A-Day」を「知っている」(3%) および「だいたい知っている」(7%) を合わせた認知率は10%ほどとなっている。

性別による差はほとんどない。

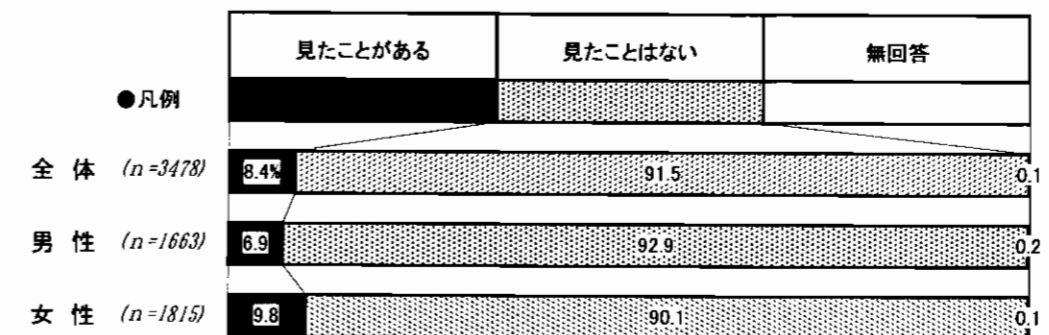
「3-A-Day」のロゴマークを「見たことがある」人は8%である。

ロゴマークを見たことがある人に認知経路を聞いたところ、「牛乳・乳製品のパッケージ」が44%と最も高く、「新聞」「テレビ」および「パンフレット・小冊子」が2割以上で続く。

図表VII-1-1 性別 問24 「3-A-Day」認知状況



図表VII-1-2 性別 問25 広告などでの「3-A-Day」のロゴマーク視認状況



図表VII-1-3 性別 問26 「3-A-Day」のロゴマークの認知経路 (MA)

<ロゴマーク視認経験者ベース>

	n	テレビ	新聞	雑誌	パンフレット・小冊子	ホームページ	牛乳・乳製品の パッケージ	牛乳売場の 小型液晶テレビ	電車の 車内広告	駅の看板	無回答
全体	292	21.2	24.3	17.5	21.2	2.1	44.2	7.9	5.8	1.0	1.7
男性	115	22.6	30.4	19.1	20.0	2.6	35.7	6.1	7.0	0.9	1.7
女性	177	20.3	20.3	16.4	22.0	1.7	49.7	9.0	5.1	1.1	1.7

(%)

【説明文】

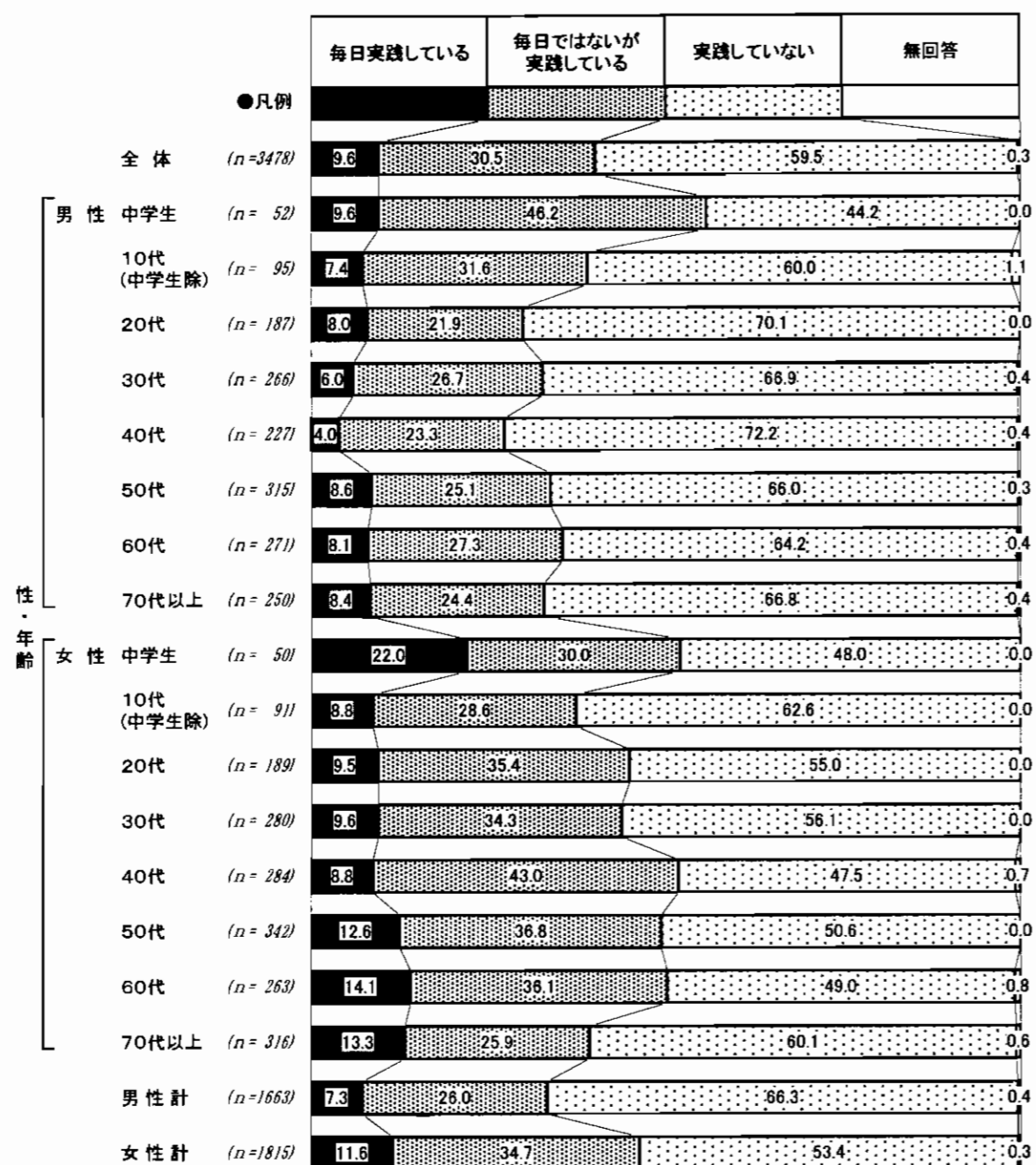
「3-A-Day」。
これまでの食事に牛乳やヨーグルト、チーズなどをちょっと加える。
たったそれだけのことで、これまで不足がちだったいろいろな栄養を少ないエネルギーで補うことができるのです。
ルールは簡単、牛乳・ヨーグルト・チーズの中から1日に3回、または3品、食生活に取り入れるだけ。
難しく考える必要はありません。
たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。
とにかく1品でも加えれば、それだけで充分効果的です。
毎日3回、または3品、気軽な新習慣。ちょっと続けてみてください。
あなたのからだ、きっとよくなりますよ。

2) 「3-A-Day」の実践状況

「3-A-Day」の実践状況については、ふだんの食生活で「毎日実践している」が10%みられる。

性・年齢別にみると、女性は「毎日実践している」「毎日ではないが実践している」を合わせると半数近くが実践しており、男性より実践割合が10ポイント以上高い。特に、男女ともに中学生、女性の40代～60代の実践割合が他の年代と比べて高い。

図表VII-1-4 性・年齢別 問27 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況

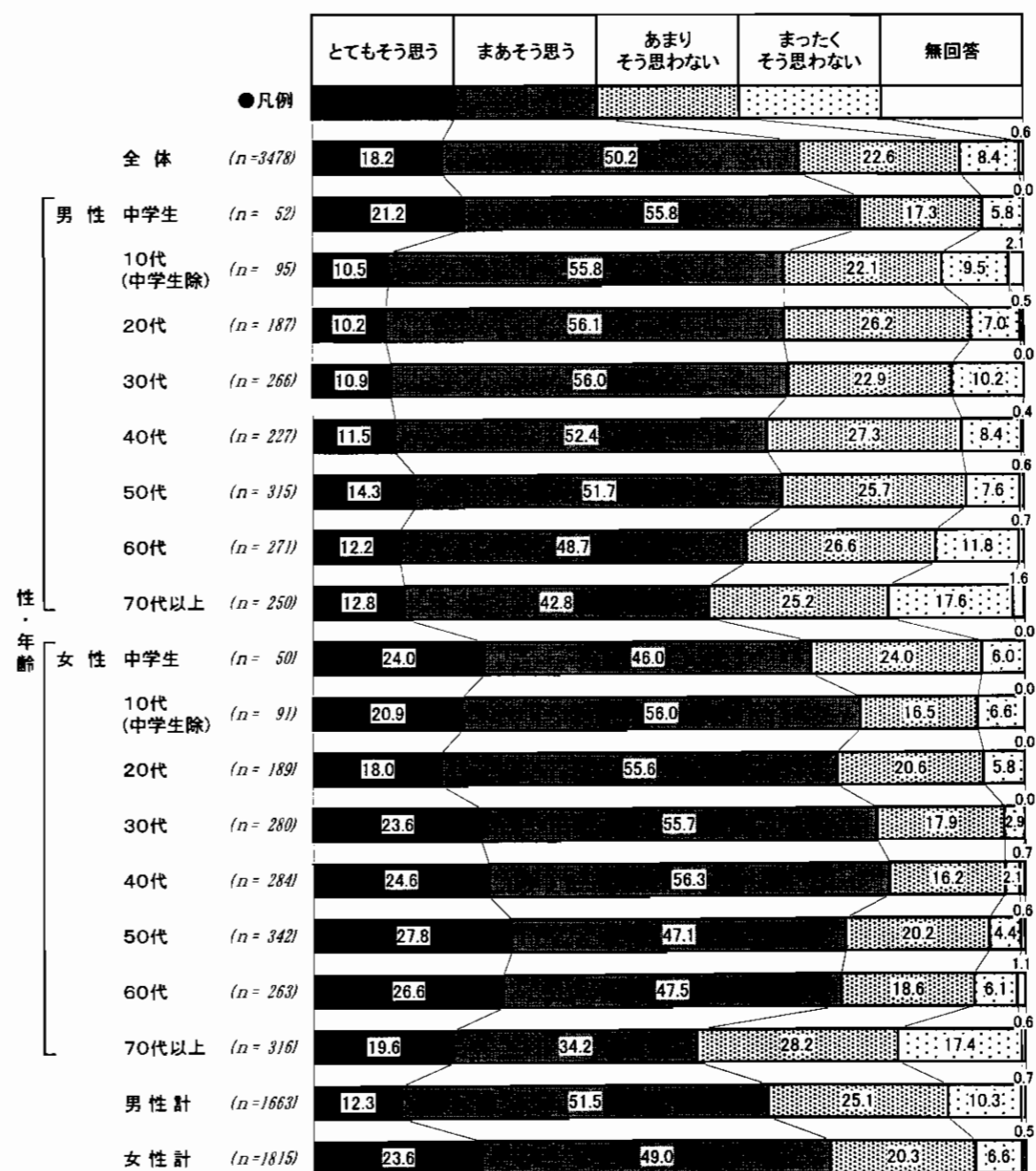


3) 「3-A-Day」の実践意向

「3-A-Day」を実践してみようと思うかどうかについては、「とてもそう思う」(18%)「まあそう思う」(50%)合わせて7割弱が実践意向を持っている。

性・年齢別では、女性は男性と比較して「とてもそう思う」割合が10ポイントほど高く、「まあそう思う」との合計で7割強を占める。女性の中学生を含む10代～60代と、男性中学生の実践意向は7割を超え、他の年代と比較して高くなっている。

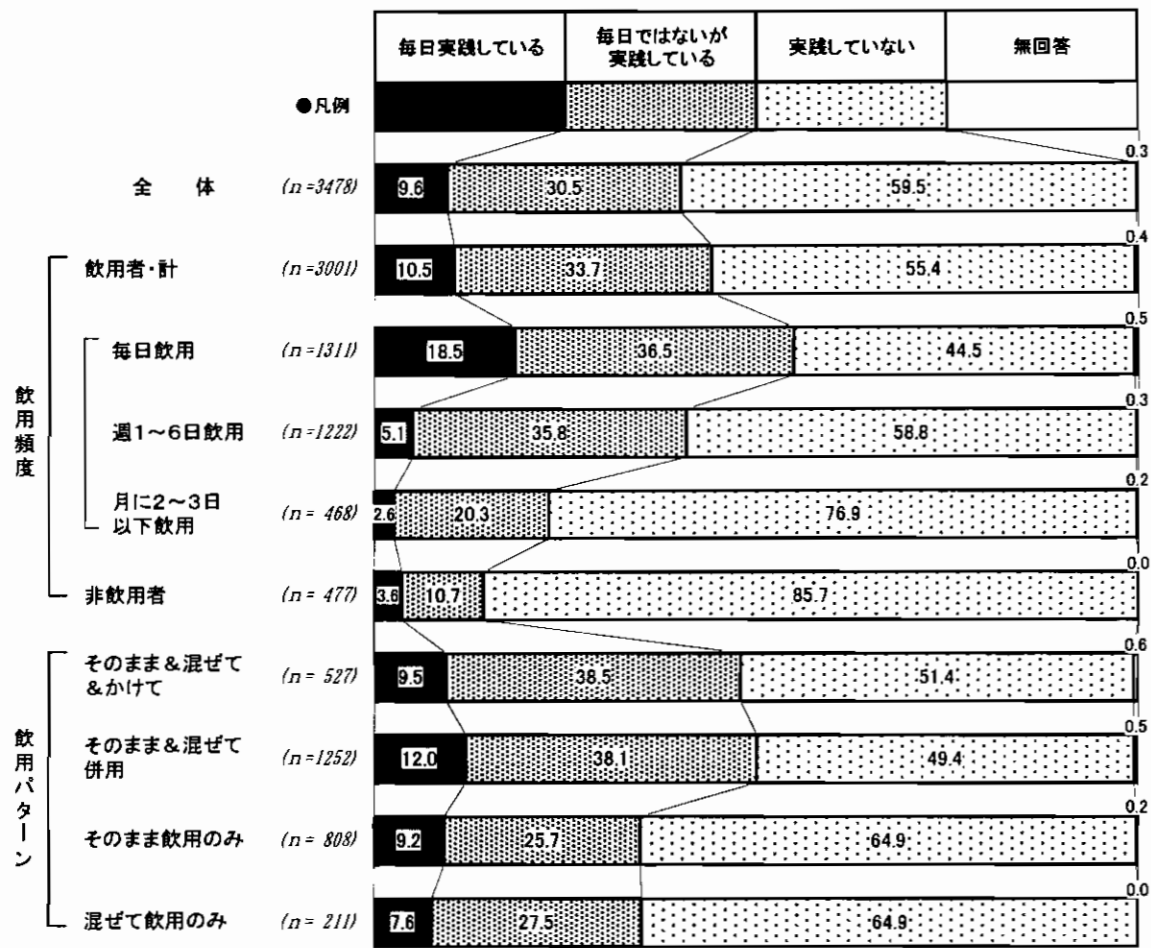
図表VII-1-5 性・年齢別 問28 「3-A-Day」実践意向



白もの牛乳類の飲用行動別にみた飲用頻度別では、毎日飲用している人は「毎日実践している」が19%、「毎日ではないが実践している」が37%で、合わせて5割以上が実践している。飲用頻度が高いほど実践している割合が高い。

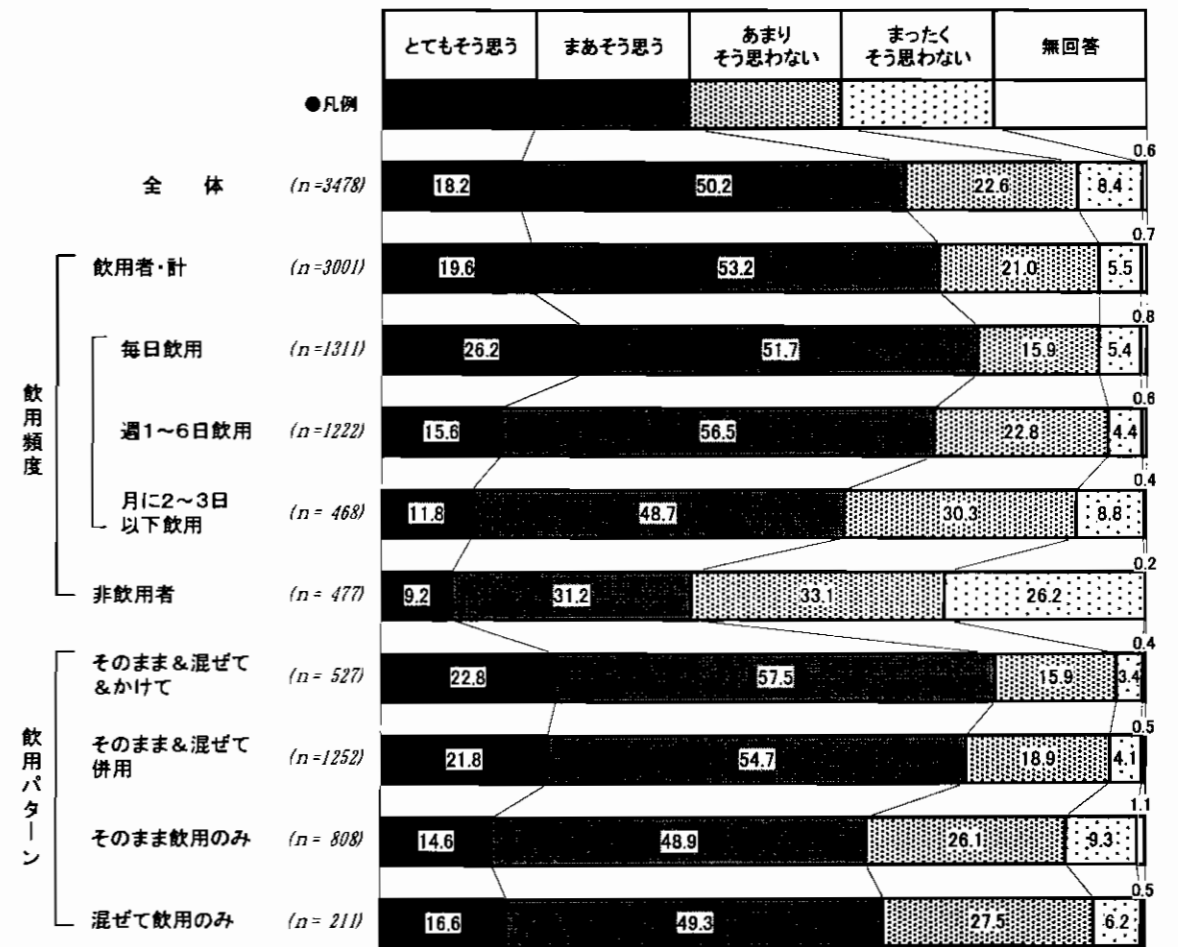
飲用パターン別では、飲み方を併用している人のほうが「毎日ではないが実践している」を含めた実践割合が高い。

図表VII-1-6 飲用行動別 問27 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況



白もの牛乳類の飲用行動別にみると、実践状況同様、飲用頻度が高いほど実践意向が高く、多様な飲み方をしている人ほど実践意向が高い傾向がみられる。

図表VII-1-7 飲用行動別 問28 「3-A-Day」実践意向



2. 健康・食生活について

1) 健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知

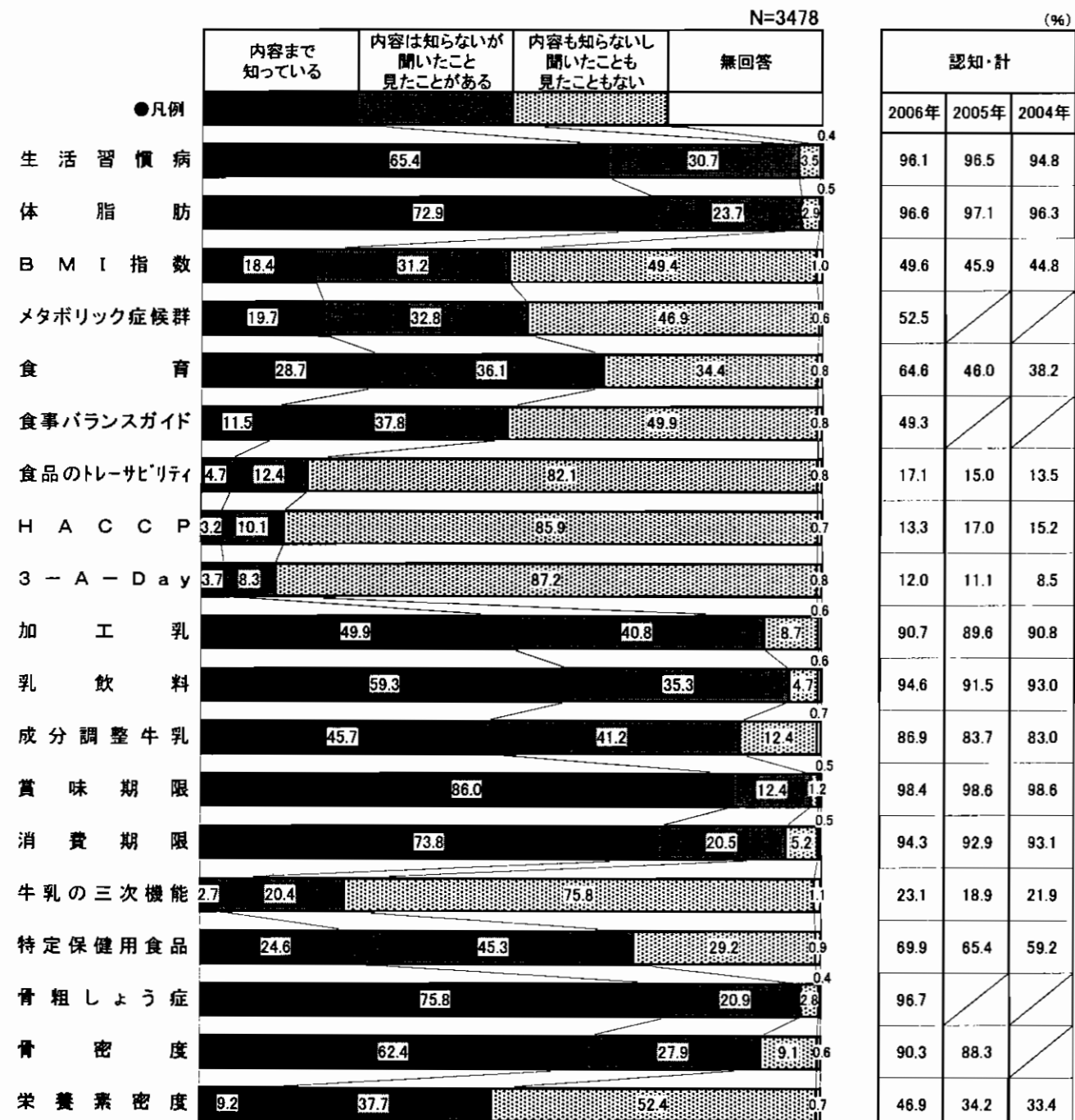
健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知について「内容まで知っている」「内容は知らないが聞いたこと見たことがある」「内容も知らないし聞いたことも見たこともない」の3段階で聞いた。

5割以上の方が内容まで知っているのは、「賞味期限」「消費期限」「骨粗しょう症」「体脂肪」「生活習慣病」「骨密度」「乳飲料」の7項目である。

見聞きした程度まで含めた認知レベルでみると、「骨粗しょう症」の認知度は9割を超えており、「メタボリック症候群」「食事バランスガイド」の認知度も5割前後に達する。

2004年、2005年と比べると、「食育」の認知度が年々高くなっていることがわかる。

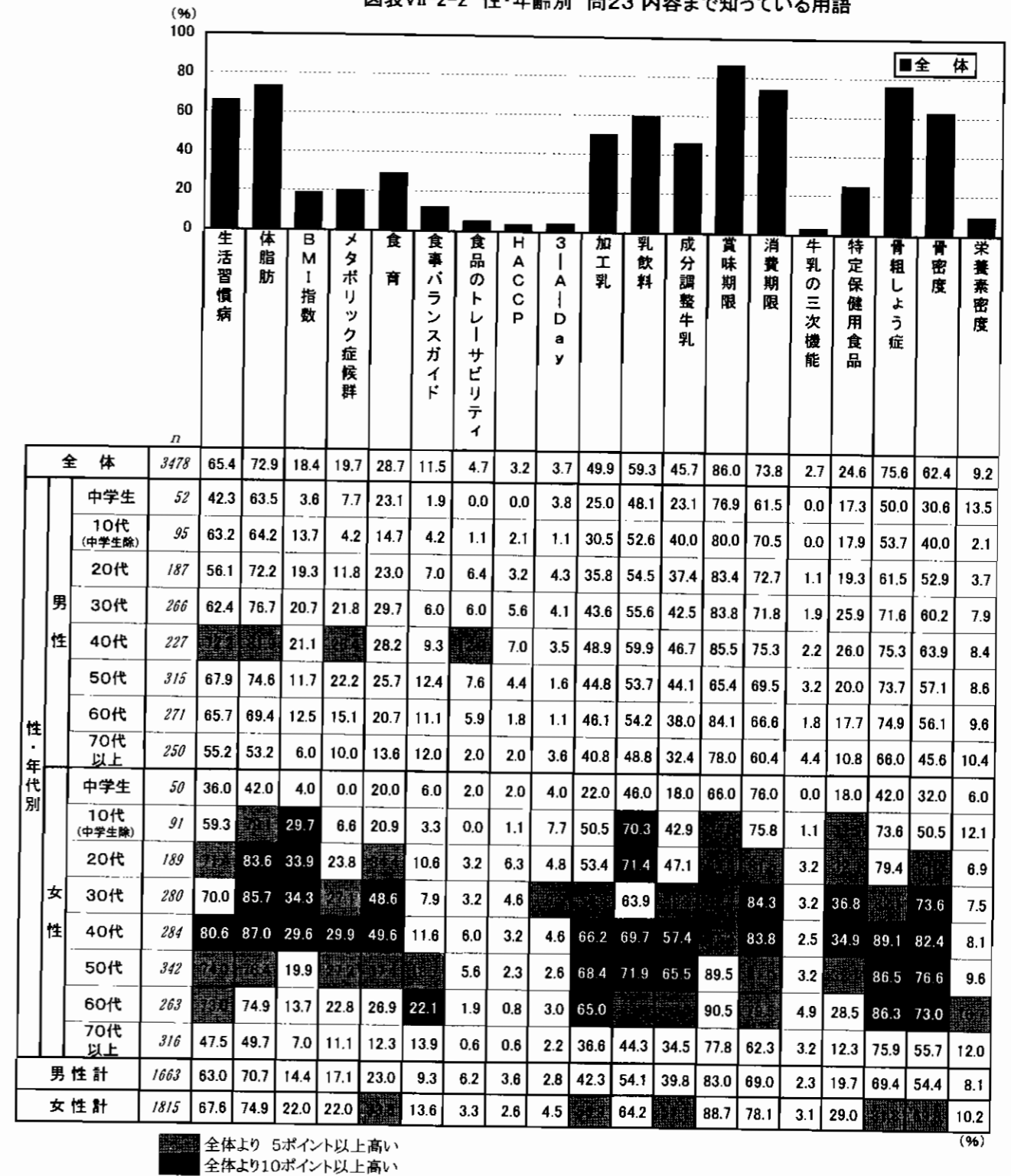
図表VII-2-1 問23 認知している用語



N=3478 N=3896 N=4177

健康・食生活に関する「ことば・用語」を「内容まで知っている」割合は、「賞味期限」(86%)が最も高く、次いで「骨粗しょう症」(76%)、「消費期限」(74%)、「体脂肪」(73%)とつづく。性・年齢別にみると、女性の40代で用語の認知率が高い。

図表VII-2-2 性・年齢別 問23 内容まで知っている用語



■ 全体より5ポイント以上高い
■ 全体より10ポイント以上高い

2) 健康維持のために実践していること

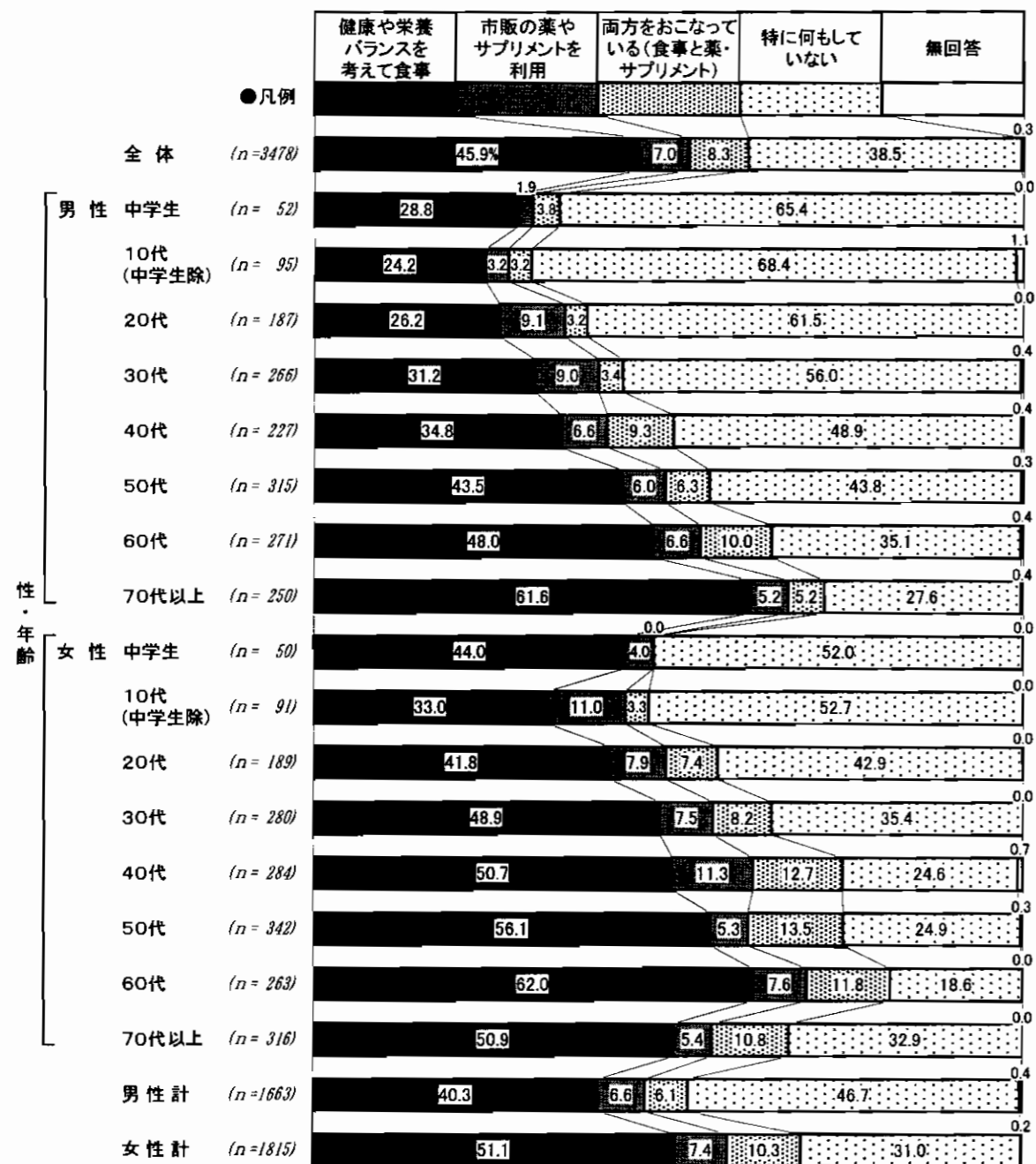
健康維持のために実践していることについて聞いた。

全体では46%が「健康や栄養バランスを考えて食事」をすると答え、「市販の薬やサプリメントを利用」する人は7%である。「食事」と「薬・サプリメント」の併用は8%である。

性・年齢別にみると、年齢が高いほど「健康や栄養バランスを考えて食事」する割合が高い傾向がみられ、女性の60代、男性の70代以上で6割を超える。「市販の薬やサプリメントを利用」が最も高いのは女性の中学生を除く10代と40代で11%である。

「食事」と「薬・サプリメント」の併用は女性の40代、50代が他の層より比較的多い。

図表VII-2-3 性・年齢別 問29 健康維持、体力づくりのために実践していること



時系列で見ると、2002年に比べて「健康や栄養バランスを考えて食事」の割合は4ポイント減少し、「市販の薬やサプリメントを利用」は2ポイント上昇している。また、「食事」「薬・サプリメント」の併用は2ポイント減少している。

図表VII-2-4 時系列 問29 健康維持、体力づくりのために実践していること

	n	健康や栄養バランスを考えて食事 (%)	市販の薬やサプリメントを利用 (%)	両方をおこなっている(食事と薬・サプリメント) (%)	特に何もしていない (%)	無回答 (%)
2006年	3478	45.9	7.0	8.3	38.5	0.3
2002年	4277	49.5	5.4	10.0	34.4	0.7

(%)

<付録1>
各年度のテーマとサンプル数

年 度	サンプル数	テ ー マ
1987 年度	4,664	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の消費動向の研究 ・有識者から牛乳消費拡大のためのアイデアを収集
1988 年度	4,604	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の表示に関する知識と評価 ・牛乳・乳製品の種類に関する知識と度合い
1989 年度	4,579	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の種類の多様化への対応 ・各種宅配牛乳の利用実態と意見 ・スポーツと牛乳・乳製品のかかわり
1990 年度	4,691	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツと栄養に関する知識 ・輸入乳製品の利用実態と意見
1991 年度	4,714	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳と購買場面での選択基準の再度検証 ・飲用場面別の牛乳の競合商品 ・牛乳に関する知識と飲用量の関係
1992 年度	4,651	<ul style="list-style-type: none"> ・果汁100%ジュースとの競合関係の変化 ・家庭外での牛乳の飲用場面拡大のための方向性
1993 年度	4,553	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と購買行動の関係 ・牛乳の伸び悩みがどのような方向にいくか ・果汁100%ジュースの行方
1994 年度	4,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーンエイジャーの女の子への訴求方法 ・骨粗しょう症予防と牛乳の結びつき ・購買時点での牛乳の課題 (特売の利用状況、宅配の利用理由)
1995 年度	4,668	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳をとりまくライフスタイルを明らかにする ・「牛乳は太る」のイメージの解明を ・骨粗しょう症予防とカルシウム、牛乳の関係を明確に
1996 年度	4,706	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルと牛乳との関係 ・消費実感としての牛乳の需要量の変化 ・色々な牛乳商品の飲用・購入実態 ・骨粗しょう症とカルシウム、牛乳の関係について ・1987年から1996年の10年間の変化をみる
1997 年度	4,547	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳飲用量の変化とその理由 ・牛乳とチーズ・ヨーグルトの消費量 ・牛乳と他の飲料 ・健康意識と牛乳 ・現在の家族の姿と健康
1998 年度	4,472	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を1日2回以上飲んでもらうための方策 ・牛乳の飲用機会を増やすための訴求ポイント ・家庭でのしつけのあり方と牛乳飲用 ・健全なダイエットのための牛乳の役割 ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳販売店からの宅配利用 ・牛乳普及のための有効な広告チャネル ・牛乳容器のあり方 ・昨今の不況の影響 ・単身世帯、一人暮らしを支える牛乳 ・国産ナチュラルチーズの振興策
1999 年度	4,476	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・白もの牛乳類と他の飲み物のイメージ ・自宅外での牛乳乳製品の飲食・購入 ・白もの牛乳類の料理利用 ・白もの牛乳類、料理についての情報源 ・バター(油脂類)の使い方 ・家庭での牛乳乳製品の常備 ・白もの牛乳類のための冷蔵庫の中のスペース ・メーカーやブランドについて

年 度	サンプル数	テ ー マ
2000 年度	4,632	<ul style="list-style-type: none"> ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳・乳製品と他の食品のイメージ ・自宅外での牛乳・乳製品の飲食・購入 ・牛乳・乳製品の好き・嫌い ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・小学生以下の牛乳の飲用 ・家庭での牛乳・乳製品の常備 ・牛乳の容器について ・牛乳と栄養に関する健康意識
2001 年度	4,778	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・自宅外での牛乳の飲食・購入 ・牛乳・乳製品と他の飲料のおいしさ ・牛乳・乳製品についての知識 ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・ヨーグルト・チーズの食頻度 ・家庭での牛乳・乳製品の常備実態 ・健康などへの関心 ・白もの牛乳類の購入場所 ・牛乳容器の表示 ・食中毒事故と飲用／購入態度の変化
2002 年度	4,277	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会 ・白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・牛乳容器の表示と切欠きについて ・BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化
2003 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類を飲用したい場所 ・白もの牛乳類と一緒に食べる食べ物 ・白もの牛乳類の飲用量の増減とその理由・きっかけ ・白もの牛乳類の購入・宅配に関する意識 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・乳製品・肉類の産地意識 ・健康と食生活に関する認識と情報源
2004 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類と混ぜて飲むもの ・白もの牛乳類の飲用量の増減 ・牛乳を飲んでおなかの調子が悪くなる状況 ・白もの牛乳類の購入量と購入意識 ・牛乳を使った料理の実態 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料のイメージと飲用シーン
2005 年度	3,896	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（宅配の利用状況） ・ヨーグルトの飲食実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料の飲用状況と白もの牛乳類に対する心理的絆
2006 年度	3,478	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（自宅外での飲用機会） ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・健康や食生活に関する認識

<付録 2>
単純集計結果付き調査票

ご記入にあたって

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に(1つだけ○印)とあれば「1つだけ」、(いくつでも○印)とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)や【 】の指示に従ってお進みください。

白もの牛乳類 (注) についてお聞きします

(注) ここでいう白もの牛乳類とは、普通の牛乳や低脂肪乳(ローファットミルク)や機能強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【すべての方に】(N=3478)

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。(1つだけ○印)

1 毎日飲む	37.7	5 月に2~3日飲む	7.0
2 週に5~6日飲む	9.5	6 それ以下しか飲まない	6.5
3 週に3~4日飲む	13.5	7 全く飲まない	13.7
4 週に1~2日飲む	12.0		

NA -

白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

(それぞれ1つずつ○印)	そのまま飲む							NA
	毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか	全く飲まない	
夏場は →	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	-
冬場は →	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	-
年間平均すると →	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4

【すべての方に】(N=3478)

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

(それぞれ1つずつ○印)	そのまま飲む							NA
	毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか	全く飲まない	
夏場は →	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	-
冬場は →	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	-
年間平均すると →	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5

白もの牛乳類を全く飲まない方(問1で「7」とお答えの方)は、問13にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方(問1で「1〜6」とお答えの方)に】(N=3001)

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分 200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

(それぞれ1つずつ○印)

	1日に白もの牛乳類を飲む量								NA
	50ml未満	50mlくらい	100ml(牛乳ビン半分)	200ml(牛乳ビン1本)	400ml(牛乳ビン2本)	600ml(牛乳ビン3本)	800ml(牛乳ビン4本)	1000ml(牛乳ビン5本)以上	
夏場は →	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3
冬場は →	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5
年間平均すると →	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4

【白もの牛乳類を飲む方(問1で「1〜6」とお答えの方)に】(N=3001)

問5 あなたは、白もの牛乳類を飲む時にどのような飲み方をしますか。

ふだん飲む量を100%とした時、それぞれどのくらいの割合になるかをお知らせください。家庭だけでなく、学校や職場の給食や外食などで飲む量をすべて含めてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	夏場は	冬場は	年間平均すると
a. そのまま飲む(あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方を含む)	65.7%	62.9%	64.1%
b. コーヒー・紅茶・ココアなど他のものと混ぜて飲む	29.4%	33.6%	31.3%
c. シリアル(オートミール、コーンフレーク等)やくだものなどにかける	4.9%	4.2%	4.6%
合計	100%	100%	100%

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=3001)

問6 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。(いくつでも○印)

1 朝起きぬけに	12.1	11 のどがかわいたとき	41.2
2 朝食をとりながら	40.4	12 ちょっとおなかですいたとき	13.8
3 朝食後	13.8	13 勉強や仕事をしながら	4.6
4 朝食がわりに	6.7	14 レジャーやスポーツ時	2.3
5 昼食時	15.0	15 くつろいでいる時	21.4
6 夕食時	6.7	16 乗り物での移動中	2.0
7 おやつや間食時	35.7	17 来客時	2.9
8 夜食時	3.7	18 その他	2.7
9 風呂上がり	26.7		
10 夜寝る前	14.1		
	NA		0.3

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=3001)

問7 あなたは、白もの牛乳類をだいたい月に何回くらい自宅外で買って、または、注文して飲みますか。(1つだけ○印)

1 月に1～2回くらい	15.3	5 月に16～20回くらい	3.0
2 月に3～5回くらい	17.7	6 月に21回以上	3.4
3 月に6～10回くらい	10.6	7 自宅外での飲食のためには 買わない・注文しない	44.8 → 問12へ
4 月に11～15回くらい	4.6		
	NA		0.7

【自宅以外で白もの牛乳類を買ったり注文したりする方（問7で「1～6」とお答えの方）に】(N=1636)

問8 では、あなたは自宅以外のどのようなところで白もの牛乳類を買って、または注文して飲みますか。(いくつでも○印)

1 飲料自動販売機	15.7	6 学校や職場の売店・食堂	6.8
2 パン・菓子店	6.1	7 レストラン・食堂	2.8
3 コンビニエンスストア	37.8	8 喫茶店・コーヒーショップ	7.9
4 スーパーマーケット	69.0	9 その他	6.8
5 駅などの売店・ミルクスタンド	3.8		
	NA		0.6

問8で「1」とお答えの方は、問9にお進みください。

問8で「1」に○がつかなかった方は、問10にお進みください。

【飲料自動販売機で牛乳を購入する方（問8で「1」とお答えの方）に】(N=257)

問9 あなたは、どのような場所にある飲料自動販売機で白もの牛乳類を買ってお飲みになりますか。(いくつでも○印)

1 店頭(街頭)	40.5	4 駅の構内	18.7	7 その他	23.3
2 学校の校内	7.0	5 スポーツ施設	12.5		
3 職場	23.7	6 公共施設 (役所、文化センター等)	14.4	NA	-

→ 問12にお進みください

【飲料自動販売機で牛乳を購入しない方（問8で「1」とお答えでない方）に】(N=1370)

問10 飲料自動販売機で白もの牛乳類を買わない理由は何ですか。(1つだけ○印)

1 自動販売機に牛乳がないから	35.6
2 自動販売機では牛乳以外のものを買いたいと思うから	62.2 → 問12へ
	NA 2.2

【飲料自動販売機に牛乳がないから、とお答えの方（問10で「1」とお答えの方）に】(N=488)

問11 飲料自動販売機に牛乳があれば買いたいと思いますか。(1つだけ○印)

1 買いたいと思う	26.6
2 買いたいと思わない	44.3
3 わからない	28.7
	NA 0.4

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=3001)

問12 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1 おいしいから	27.7	11 骨粗しょう症が心配だから	22.5
2 好きだから	28.1	12 良質のタンパク質があるから	16.1
3 栄養があるから	45.1	13 美容に良いから	3.7
4 カルシウムがあるから	56.8	14 便秘に効果があるから	13.1
5 朝食など食事代わりに	7.9	15 健康によいから	40.5
6 水などの代わりに	14.6	16 ぐっすり眠るために	4.9
7 他のものと混ぜたり、 他のものにかけてたりするため	27.4	17 気持ちをリラックスさせるために	4.9
8 習慣で	19.7	18 背が高くなりたから	3.4
9 いつも家にあるから	23.2	19 医師など医療関係者がすすめるから	2.0
10 家族がすすめるから	6.7	20 他の飲み物に比べて安いから	1.6
		21 その他	3.5

NA 0.7

この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問13 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(1)そのまま飲む場合、(2)混ぜて飲む場合、(3)全体では、それぞれについてお知らせください。

(それぞれ1つずつ○印)	(1)そのまま飲む場合 ↓	(2)混ぜて飲む場合 ↓	(3)全体では ↓
飲む量が非常に増えた	2.3	2.0	1.8
飲む量がやや増えた	6.4	8.9	10.0
変わらない	58.5	58.4	60.4
飲む量がやや減った	8.9	4.7	8.1
飲む量が非常に減った	6.7	4.1	5.3
牛乳はもともと飲まない	15.2	17.9	12.3
NA	2.0	4.1	2.0

【白もの牛乳類を飲む量が全体として減った方(問13の(3)で「4、5」とお答えの方)に】
(N=467)

問14 この1年間に白もの牛乳類を飲む量が減った理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1 もともと嫌いだから	7.5	11 コレステロールが気になるから	10.3
2 味にくせがあるから	3.9	12 家に置いていないから	13.1
3 においが嫌いだから	5.6	13 他の飲み物と比べて高いから	2.1
4 口当たりが悪いから	3.2	14 他の飲み物を飲むので牛乳を飲む機会がないから	39.4
5 飲んだあと口に残るから	9.9	15 牛乳を外で飲んでいると、子供っぽく見られるから	0.6
6 太ると思うから	10.1	16 ダサイと思うから	0.6
7 買いに行くのが面倒だから	6.2	17 強制的に飲まされた悪い思い出があるから	1.5
8 日持ちがしないから	9.4	18 牛乳のイメージがよくないから	2.6
9 お腹がゴロゴロするから	14.3	19 アレルギーがあるから	1.9
10 下痢をすることがあるから	13.7	20 その他	22.9
NA		NA	1.3

【すべての方に】(N=3478)

問15 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問16 では、あなたは、問15でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

	【問15】 ふだんよく飲む ↓	【問16】 最もよく飲む ↓
白もの牛乳類	49.5	11.8
ドリンクヨーグルト	15.4	0.9
乳酸菌飲料(ヤクルトなど)	19.0	1.5
果汁飲料	18.4	1.3
野菜ジュース	23.2	1.5
豆乳	9.9	1.2
炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	15.4	2.4
コーヒー(コーヒー飲料も含む)	61.1	26.5
紅茶(紅茶飲料も含む)	22.5	2.5
無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	72.9	40.2
スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	23.9	2.4
栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)	10.2	1.0
ミネラルウォーター	20.8	5.5
この中にはない	0.6	-
NA	0.1	1.2

白もの牛乳類の購入についてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問17 お宅では、白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。

(1つだけ○印)

1 ほぼ毎日	14.5	4 2週間に1回くらい	5.3	7 わからない	5.4
2 週に2~3回くらい	39.0	5 月に1回以下	4.3		
3 週に1回くらい	22.4	6 ほとんど買わない	8.9		
		NA	0.1		

牛乳を使った料理(デザートやお菓子を含む)についてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問18 あなたは、白もの牛乳類を使って、次のような料理やデザート・お菓子作りをしたことがありますか。(いくつでも○印)

1 シチュー	48.5	7 フレンチトースト	22.1	13 プリン	16.0
2 スープ、ポタージュ	23.5	8 ホットケーキ	38.0	14 ゼリー	5.1
3 グラタン	29.1	9 ケーキ	14.8	15 杏仁豆腐	7.5
4 カレー	19.4	10 パン	7.0	16 その他	3.3
5 オムレツ、オムライス	14.8	11 手作りヨーグルト	12.2	17 白もの牛乳を使って料理をしたことはない	35.7
6 ハンバーグ	20.5	12 牛乳寒天	12.9		
		NA	1.0		

【すべての方に】(N=3478)

問19 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理(デザートやお菓子を含む)をしましたか。(1つだけ○印)

1 した	32.7	2 しなかった	67.2
		NA	0.1

→ 問20へ

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】(N=1137)

問19-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数

4	.3	回
---	----	---

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】(N=1137)

問19-2 それはどんな料理でしたか。次の中から当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1 シチュー	52.0	7 フレンチトースト	15.5	13 プリン	7.2
2 スープ、ポタージュ	22.2	8 ホットケーキ	31.2	14 ゼリー	2.6
3 グラタン	22.1	9 ケーキ	7.0	15 杏仁豆腐	3.7
4 カレー	23.6	10 パン	4.3	16 その他	6.1
5 オムレツ、オムライス	18.6	11 手作りヨーグルト	10.5		
6 ハンバーグ	25.3	12 牛乳寒天	8.9		
		NA	0.4		

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】(N=1137)

問19-3 この1ヶ月間にあなたが料理(デザートやお菓子を含む)に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。(1つだけ○印)

1 小さじ1杯くらい(5ml)	0.1	5 1カップ(200ml)	25.3
2 大さじ1杯(15ml)	2.0	6 2カップ(400ml)	17.9
3 4分の1カップ(50ml)	5.0	7 500ml	17.9
4 2分の1カップ(100ml)	10.5	8 1ℓ以上	20.8
		NA	0.6

ヨーグルトについてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問20 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

1 毎日食べる/飲む	16.3	5 月に2~3日食べる/飲む	17.6
2 週に5~6日食べる/飲む	5.6	6 それ以下しか食べない/飲まない	10.4
3 週に3~4日食べる/飲む	13.1	7 全く食べない/飲まない	17.7→問23へ
4 週に1~2日食べる/飲む	19.1		

NA 0.1

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】(N=2858)

問21 あなたは、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。

(1つだけ○印)

1 50g未満	7.3	5 200gくらい	9.4
2 50gくらい	9.7	6 250gくらい	1.7
3 100gくらい	60.1	7 300gくらい	1.2
4 150gくらい	9.6	8 400g以上	0.8

NA 0.2

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】(N=2858)

問22 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

1 プレーンヨーグルト(無糖)	44.8
2 加糖のヨーグルト	40.5
3 果肉フルーツ入りのヨーグルト	41.1
4 ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	24.4
5 手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	7.7
6 フローズンヨーグルト	1.2
7 その他	1.0

NA 0.3

健康や食生活についてお聞きします

【すべての方に】(N=3478)

問23 あなたは、次にあげる「ことば・用語」をご存じですか。それぞれについてお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)	内容まで知っている	内容は知らないが聞いたことがある	内容も知らないし聞いたことも見たこともない	NA
生活習慣病 →	65.4	30.7	3.5	0.4
体脂肪 →	72.9	23.7	2.9	0.5
BMI指数 →	18.4	31.2	49.4	1.0
メタボリック症候群 →	19.7	32.8	46.9	0.6
食育 →	28.7	36.1	34.4	0.8
食事バランスガイド →	11.5	37.8	49.9	0.8
食品のトレーサビリティ →	4.7	12.4	82.1	0.8
HACCP →	3.2	10.1	85.9	0.7
3-A-Day(スリー・ア・デイ) →	3.7	8.3	87.2	0.8
加工乳 →	49.9	40.8	8.7	0.6
乳飲料 →	59.3	35.3	4.7	0.6
成分調整牛乳 →	45.7	41.2	12.4	0.7
賞味期限 →	86.0	12.4	1.2	0.5
消費期限 →	73.8	20.5	5.2	0.5
牛乳の三次機能 →	2.7	20.4	75.8	1.1
特定保健用食品 →	24.6	45.3	29.2	0.9
骨粗しょう症 →	75.8	20.9	2.8	0.4
骨密度 →	62.4	27.9	9.1	0.6
栄養素密度 →	9.2	37.7	52.4	0.7

【すべての方に】(N=3478)

次の文章をお読みになってから、以下の質問にお答えください。

「3-A-Day」。

これまでの食事に牛乳やヨーグルト、チーズなどをちょっと加える。たったそれだけのことで、これまで不足がちだったいろいろな栄養を少ないエネルギーで補うことができるのです。

ルールは簡単、牛乳・ヨーグルト・チーズの中から1日に3回、または3品、食生活に取り入れるだけ。難しく考える必要はありません。

たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。とにかく1品でも加えれば、それだけで充分効果的です。

毎日3回、または3品、気軽な新習慣。ちょっと続けてみてください。あなたのからだ、きっとよろこびますよ。

問24 上の文章は、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についての説明ですが、あなたは「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についてご存じでしたか。(1つだけ○印)

1 知っている	3.4	2 だいたい知っている	7.4	3 知らない	89.0
					NA 0.1

問25 では、あなたは、広告などで次のようなロゴマークを見たことがありますか。(1つだけ○印)

1 見たことがある	8.4	2 見たことはない	91.5	→ 問27へ	
					NA 0.1



【見たことがある方(問25で「1」とお答えの方)に】(N=292)

問26 あなたは、上のロゴマークを何でご覧になりましたか。(いくつでも○印)

1 テレビ	21.2	4 パンフレット・小冊子	21.2	7 牛乳売場の小型液晶テレビ	7.9	
2 新聞	24.3	5 ホームページ	2.1	8 電車の車内広告	5.8	
3 雑誌	17.5	6 牛乳・乳製品のパッケージ	44.2	9 駅の看板	1.0	
						NA 1.7

【すべての方に】(N=3478)

問27 あなたは、ふだんの食生活で、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を実践していますか。

(1つだけ○印)

1 毎日実践している	9.6	
2 毎日ではないが実践している	30.5	
3 実践していない	59.5	
		NA 0.3

問28 あなたは、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を実践してみようと思いますか。(1つだけ○印)

1 とてもそう思う	18.2	3 あまりそう思わない	22.6	
2 まあそう思う	50.2	4 まったくそう思わない	8.4	
				NA 0.6

【すべての方に】(N=3478)

問29 あなたは、ご自分の健康の維持や体力づくりのために、ふだんどのようになさっていますか。次の中から、主なものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

1 健康や栄養バランスを考えて食事をしている	45.9	
2 市販の薬やサプリメント(栄養補助食品)をよく利用している	7.0	
3 上の1と2の両方をおこなっている(食事と薬・サプリメント)	8.3	
4 特に何もしていない	38.5	
		NA 0.3

あなたご自身のことについてお知らせください。
統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。

【すべての方に】(N=3478)

F1 性別

1 男性 47.8	2 女性 52.2	NA -
-----------	-----------	------

F2 年齢

48	.6	才
----	----	---

F3 あなたは結婚なさっていますか。(1つだけ○印)

1 未婚 24.5	2 既婚 71.8	3 その他 3.5	NA 0.1
-----------	-----------	-----------	--------

F4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1 いる 68.8	2 いない 31.0	NA 0.2
-----------	------------	--------

F5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

【自営・家族従業】		【勤め】		【無職】	
1 農林漁業	3.9	5 管理職	4.6	11 専業主婦	15.8
2 商工サービス業	4.7	6 専門・技術職	11.0	12 中学生	2.9
3 自由業	4.1	7 事務職	7.9	13 高校生	3.7
4 内職	0.4	8 労務職	5.5	14 中高生以外の学生	2.6
		9 販売・サービス職	5.7	15 無職	16.3
		10 パート・アルバイト	10.1		
				NA	0.8

【すべての方に】(N=3478)

F6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1 1人(ひとり暮らし)	7.0	4 4人	22.6	7 7人以上	4.0
2 2人	24.8	5 5人	12.0		
3 3人	22.7	6 6人	6.6		
					NA 0.2

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3226)

F7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1 料理をする	45.0	3 どちらもしていない	46.7	
2 食料品の買物をする	44.5			
				NA 0.2

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3226)

F8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。(1つだけ○印)

1 夫婦2人	20.5		
2 2世代世帯(親と子)	57.8		
3 3世代世帯(親、子、孫)	18.6		
4 その他	2.8	NA	0.3

【F8で「2、3、4」とお答えの方に】(N=2555)

F9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1 乳児・幼児	18.2	4 高校生	18.6	
2 小学生	20.9	5 大学・短大・専門学校生	10.2	
3 中学生	17.2	6 この中にはない	42.0	
				NA 0.4

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

2006年 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査
〔第20回〕

2006年12月発行

発 行 社団法人 日本酪農乳業協会
東京都中央区築地6丁目4番10号
カトキチ築地ビル9階
電話 (03) 6226-6351 (代)

後 援 農 林 水 産 省
独立行政法人 農畜産業振興機構

調査実施機関 株式会社 日本リサーチセンター